改定履歴

| 来歴 | 変更事項 | 変更日 | 担当 |
| --- | --- | --- | --- |
| 0.1 | 初版発行 | 2002/12/11 | 伊佐次 |
| 0.9 | レビューコメントによる見直しの反映 | 2003/01/04 | 伊佐次 |
| 1.00 | 正式公開向け修正 | 2003/01/17 | 伊佐次 |
| 1.01 | * 「3.1.1 要求時の通信手順」の新POSTパラメータに”GBML\_”のPrefixを追加。あわせて、注意事項に、”GBML\_”で始まるPOSTパラメータを入力系テンプレートのパラメータ名に指定しないように加筆。 * 「4.4.2 拡張機能の指定」のextent要素の指定回数を1回以上に変更。 * 「4.4.3 キャッシュの指定」にexpire要素を追加 * 「5.13 テンプレート12」の追加 * 「5.15 サブウィンドウの制御」の修正(03におけるサブウィンドウの現時点での扱いを明記 * 「6. 拡張機能」の複合指定の記載において、即時実行タイプに限り、extent要素を複数記載可能であることを明記。 | 2003/01/23 | 伊佐次 |
| * 「4.4.2 拡張機能の指定」の使用例の誤記修正 * 「4.4.4 走行規制の指定」のタグ名変更(スペル誤り)。runreguration->runregulation * 「5.1 テンプレート0」のtel要素の位置の誤りを修正。他のテンプレートと同様にtel要素はcommand要素の配下に記載するように変更。 * 「5.1 テンプレート0」のfunc要素の要素省略の誤記修正。指定の有無を△から×へ変更。 * 「5.1 テンプレート0」のobject要素内のcolor属性の廃止（誤記修正）。 * 「5.8 テンプレート7」「5.9 テンプレート8」「5.10 テンプレート9」のf\_key要素の省略を不可に変更(誤記の訂正) * 「5.8 テンプレート7」「5.9 テンプレート8」「5.10 テンプレート9」のcolor属性を廃止。「5.14.4 表示文字列の色指定機能」の対象テンプレートを変更(誤記の訂正) * 「5.8 テンプレート7」のmode要素配下の誤記修正。mode要素の指定回数を1回に、style要素の回数を1回以上に修正 * 「5.8 テンプレート7」の使用例を改善 * 「5.12 テンプレート11」のobject/textの廃止(誤記の訂正) * 「5.15 サブウィンドウの制御」の使用例の誤記修正 * 「5.15 サブウィンドウの制御」の表中の必須条件の誤記修正 * 「6. 拡張機能」の拡張機能の複合指定の例の誤記修正 * 「6.5 端末情報の取得」のタグ名変更(スペル誤り)。resouece->resource * 「6.28 音声認識辞書の登録」の使用例の誤記修正。vrec\_con要素は一回のみ登場。 * 「6.39 永続キャッシュ情報の取得」の使用例の誤記修正 * 「6.40 永続キャッシュへの登録」の使用例の誤記修正 * 「6.43 MYリクエスト」の使用例の誤記修正 * 「8 運用定義」を追加 |
| 1.10 | 02Vup機能仕様の追加 | 2003/02/19 | 清水  藤田 |
| 1.11 | * 4.4.2拡張機能の指定   linkによるURL指定を可能に修正   * 4.4.3 キャッシュの指定   車載端末仕様にあわせ、02および02Vupにおけるexpire属性が無視されるように修正   * 4.4.4 走行規制の指定   02および03車載端末におけるmid指定時の動作を規定  注意事項に、テンプレート12/13へのtype=”mid”の指定が不可であることを明示。   * 4.4.6自動電話発呼の指定   タグ構成の指定値の誤記修正"   * 5.12テンプレート12   f\_key/button要素のid=”1”の指定を削除(自動的に制御するように変更)  runregulationの省略時の動作を変更(省略時は、common要素に指定された走行規制の動作に従う)  注意事項に、common要素へのrunregulation指定としてtype=”mid”の指定が不可であることを明示。   * 5.14テンプレート13   新規追加   * 6.22 目的地設定   緯度・経度指定時の注意事項を追加。   * 6.23 Gメモリ地点地図表示   period要素を省略した場合の動作の修正  緯度・経度指定時の注意事項を追加。   * 6.24 Gメモリ地点地図登録   機能変更。03車載端末のGメモリ地点地図登録と同義とする。  poi要素のvoicetype属性をpoint要素の属性に変更   * 6.25 Gメモリ地点地図一括更新   02VupにおけるGメモリ地点登録(一括更新)機能相当として、新規追加。新規追加に伴い、6.26節以降の章立て変更。   * 6.26 Gメモリ地点地図保存   緯度・経度指定時の注意事項を追加。  poi要素のvoicetype属性をpoint要素の属性に変更   * 6.45 動作指定ダイアログオンスクリーン(目的地)   緯度・経度指定時の注意事項を追加。   * 6.47 交通情報地点表示   緯度・経度指定時の注意事項を追加。  【呼び出し時の機能名】の記事追加   * 6.48 周辺施設地点表示   緯度・経度指定時の注意事項を追加。  周辺種別アイコンのアイコンIDを指定する要素名の誤記を修正(diconid要素をiconid要素へ変更)。  phone要素の説明のドキュメントの記載漏を加筆。  【呼び出し時の機能名】の記事追加  使用例の誤記を修正。   * 6.49 キャラクタ情報の取得   【呼び出し時の機能名】の記事追加   * 6.50 永続キャッシュの全データ削除   タグ名の誤記を修正。cachecls -> cacheclr  【呼び出し時の機能名】の記事追加   * 6.51 地図中心付近地の取得   タイトル変更。地図中心付近->地図中心付近地の取得  説明文の「地図中心付近情報はマップコードHRとする。」を削除(G-BOOK ML仕様上は緯度・経度の指定も可能であるため)  【呼び出し時の機能名】の記事追加  使用例の誤記を修正。   * 6.52 地図バージョン情報の取得   タイトル変更。地図バージョン->地図バージョン情報の取得  【呼び出し時の機能名】の記事追加  使用例の誤記を修正。 | 2003/03/14 | 滝川  伊佐次 |
| 1.12 | * 5.15.8 サブウィンドウ制御   調整中事項の記事を廃止し、03車載端末におけるサブウィンドウ指定が無視されることを明記   * 6.27 読み上げ   conv属性の指定に関する注意事項を追加。   * 7. 限定機能   ドキュメント体系変更   * 7.1.2 基本契約画面遷移向けインタフェース   付加されるGETの引数に、携帯接続の場合の引数が記述されていなかったため、追加(Pno,Tid)。   * 7.2 アクセス履歴制御インタフェース   新規追加。   * 7.3 解約処理向けインタフェース   新規追加。 | 2003/04/01 | 堀内  伊佐次 |
| 1.13 | * 5.13 02G-BOOK、PC、ＰＤＡ、携帯、PocketG-BOOK、テンプレート12,13対応 | 2003/04/10 | 堀内 |
| 1.14 | * 5.13 02G-BOOK、PC、ＰＤＡ、携帯、PocketG-BOOK、テンプレート12,13非対応化 * 5全般 03車載画面イメージ更新 * 5.13車載端末部分走行規制非対応化。 * 5.15.2 03車載端末、tel要素/confirm属性の動作制限事項追加。 * 6.50 03車載端末 永続キャッシュ削除対応 | 2003/05/01 | 堀内 |
| 1.15 | * 2.1 表示画面の生成   テンプレート12および13の画像の差し替え   * 3.1.1 要求時の通信手順   パラメータを追加   * 5.1 テンプレート0   テンプレート仕様に基づき、03車載端末におけるサマリ行の文字数を修正。   * 5.2 テンプレート1   テンプレート仕様に基づき、03車載端末におけるボタン上の文字数を修正。   * 5.6 テンプレート5   テンプレート仕様に基づき、03車載端末における画像サイズを修正。   * 5.8 テンプレート7   PC、ケイタイ、M-Mode、Pocket PCでの文字種制限を修正   * 5.9 テンプレート8   テンプレート仕様に基づき、03車載端末におけるボタン上の文字数を修正。   * 5.10 テンプレート9   テンプレート仕様に基づき、03車載端末におけるボタン上の文字数を修正。   * 5.13. テンプレート12   画像の差し替え   * 5.15.4 表示文字列の色指定機能   03での特定色の置き換えについて追加   * 5.15.6 画像の自動選択機能   PCでの03イメージ時の動作を追加   * 6.21 経路地情報の取得   車載仕様書の誤記対応。roadtype要素の設定値nloadを車載仕様に合わせnroadに変更   * 6.22 目的地設定   車載仕様書の誤記対応。roadtype要素の設定値nloadを車載仕様に合わせnroadに変更   * 6.23 Gメモリ地点地図表示   他デバイスでの地図表示のためのタグ追加  pinfo/link/@url属性に関する注意事項を追加   * 6.26 Gメモリ地点地図保存   03車載端末時、デフォルトアイコンが変更される旨、追加   * 6.45 動作指定ダイアログオンスクリーン(目的地)   読み上げの指定(vitem要素を省略可能とする)   * 6.46 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   読み上げの指定(vitem要素を省略可能とする)   * 7.1.1 標準インタフェース   パススルー先のコンテンツとのインタフェースとして、viewパラメータを追加   * 7.2 アクセス履歴制御インタフェース   入力系テンプレートでの指定方法の追記および必須の誤記修正 | 2003/08/31 | 伊佐次 |
| 1.5 | * 4.4.7. 履歴制御の指定   新規追加   * 5.8. テンプレート7   mode要素にkeyhistory属性を追加   * 6.5. 端末情報の取得   terminfo 要素内にtermid、dcminfo、dcminfo/dcmnumber、dcminfo/dcmversion、  hardware/hdd、hardware/hdd/type、hardware/hdd/volume、hardware/hdd/resource、  phone、browser、system、mapinfo、navi、ecuinfo、ecuinfo/@number、ecuinfo/ecu、  framenumber要素を追加   * 6.16. アイコンテーブルの更新   icontbl要素にtype属性を追加   * 6.18. 現在地の取得   point要素内にroutenumber要素を追加   * 6.19. 目的地の取得   point要素内にpassed属性、roadtype、routenumber要素を追加   * 6.21. 経路地情報の取得   point要素内にroutenumber要素を追加、pos要素内にdir要素を追加   * 6.22. 目的地設定   point要素内にpinpoint、underground属性、ritem、ritem/rtext、phone要素を追加、  pos要素内にguide、guide/lat、guide/lon要素を追加  pinfo要素内にptext要素を追加   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   point要素内にguidedir、pinpoint、autovoice、guidezone、underground、simpleinfo属性、ritem、ritem/rtext、disp、disp/opentime、disp/closetime、roadtype、phone要素を追加、  pos要素内にguide、guide/lat、guide/lon、guide/link、guide/link/@url、guide/link/@contentsid、guide/link/func、guide/link/func/@name要素を追加、  period要素にtype属性を追加   * 6.24. Gメモリ地点地図登録   point要素内にguidedir、pinpoint、autovoice、guidezone、underground、simpleinfo属性、ritem、ritem/rtext、disp、disp/opentime、disp/closetime、roadtype、phone要素を追加、  pos要素内にguide、guide/lat、guide/lon、guide/link、guide/link/@url、guide/link/@contentsid、guide/link/func、guide/link/func/@name要素を追加、  period要素にtype属性を追加   * 6.26. Gメモリ地点地図保存   point要素内にpinpoint、underground、simpleinfo属性、ritem、ritem/rtext、roadtype要素を追加、  pos要素内にguide、guide/lat、guide/lon、guide/link、guide/link/@url、guide/link/@contentsid、guide/link/func、guide/link/func/@name要素を追加   * 6.27. 読み上げ   vitem要素内にpriority要素を追加   * 6.29. 音声認識辞書の登録(コンテンツ)   ritem要素内にrname、vitem、vitem/@conv、vitem/vtext要素を追加   * 6.44. MYリクエスト   launcher要素にtype属性を追加   * 6.46. 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   message要素にdisptime属性を追加、  bitem要素内にbname、ritem/rtext、link/brwsaction要素を追加   * 6.55. UDACライセンス情報の設定   新規追加   * 6.60. スケジュールの更新   新規追加   * 6.61. 休日情報の設定   新規追加   * 6.62. ナビ設定車両情報の取得   新規追加   * 6.65. 閲覧履歴の消去   新規追加   * 6.66. メニュー画面ボタンの登録   新規追加   * 6.67. ファイル転送（ダウンロード）   新規追加   * 6.68. ファイル転送（アップロード）   新規追加   * 7.4. 拡張機能インライン指定   新規追加   * 7.4.1. 即時実行指定   新規追加   * 7.4.2. ユーザー操作契機、拡張機能指定   新規追加 | 2003/11/04 | 岡村.岸 |
| 1.51 | * 5.15. テンプレート14   新規追加   * 5.16.9. ヒストリーバック機能   新規追加   * 6.55. UDACライセンス情報の設定   再生期限/期間を示す属性の指定形式を変更  YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ→YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00   * 6.69. サービスの設定   新規追加   * 6.70. サービス設定情報の取得   新規追加 | 2004/1/16 | 岸 |
| 1.52 | * 4.4.3.キャッシュの指定   cache要素にtarget属性を追加   * 5.16.10.フリーレイアウト機能   新規追加 | 2004/2/3 | 岸 |
| 1.60 | * 5.15. テンプレート14   lnumber属性を追加  scroll属性を追加   * 5.16.11.ブラウザ終了機能   新規追加   * 6.5. 端末情報の取得   dcmserial、helptermid要素を追加  dcmversion、hdd、browser、mapinfo要素を削除   * 6.10. エラーログ情報の取得   format/@typeにwgs84を追加   * 6.16. アイコンテーブルの更新   icontbl要素のtype属性の指定値から、schedule、maintenanceを削除  contentname属性の追加  icontbl要素を1回以上に変更   * 6.18. 現在地の取得   format/@typeにwgs84を追加   * 6.19. 目的地の取得   format/@typeにwgs84を追加   * 6.20. 任意地の取得   format/@typeにwgs84を追加   * 6.21. 経路地情報の取得   format/@typeにwgs84を追加   * 6.22. 目的地設定   point要素のunderground属性、ritem要素を削除  format/@typeにwgs84を追加   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   sid要素の指定値を修正  naviparam要素の指定値から、appset、ggenreを削除  naviparam要素省略時の指定値に関する記述を削除  point要素のunderground属性を削除  point要素のguideaccess、guidevoice、guideonetime属性を追加  ritem、disp要素を削除  format/@typeにwgs84を追加   * 6.24. Gメモリ地点地図登録   sid要素の指定値を修正  point要素のautovoice、underground属性を削除  point要素のguideaccess、guidevoice、guideonetime属性を追加  ritem、disp要素を削除  format/@typeにwgs84を追加   * 6.25. Gメモリ地点地図一括更新   point要素にpinpoint属性を追加  point要素にroadtype、phone要素を追加  pos要素にguide要素を追加  format/@typeにwgs84を追加   * 6.26. Gメモリ地点地図保存   sid要素を削除  point要素のunderground属性を削除  ritem要素を削除  format/@typeにwgs84を追加   * 6.44. MYリクエスト   launcher要素にritem要素を追加   * 6.45. 動作指定ダイアログオンスクリーン(目的地)   format/@typeにwgs84を追加   * 6.46. 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   ritem要素省略時の指定値に関する記述を削除   * 6.47. 交通情報地点表示   format/@typeにwgs84を追加   * 6.48. 周辺施設地点表示   format/@typeにwgs84を追加   * 6.51. 地図中心付近地の取得   format/@typeにwgs84を追加   * 6.55. UDACライセンス情報の設定   linfo要素のudacflag属性をudacflags属性に変更  linfo要素にrightsinformation、playcountnum属性を追加  linfo要素にscreenkind要素を追加   * 6.66. メニュー画面ボタンの登録   mbutton\_set要素にlres属性を追加  mbutton\_set要素のposition、number属性を削除  mbutton要素にposition属性を追加  mbutton要素にbimage要素を追加  mbutton要素のrunregulation、contract属性を削除  mbutton要素のbname、message、normal、touched、tonedown要素を削除   * 6.67. ファイル転送（ダウンロード）   file\_download要素にtrans属性を追加  file\_download要素にlink要素を追加   * 6.68. ファイル転送（アップロード）   file\_upload要素にtrans属性を追加  file\_upload要素にlink要素を追加   * 6.69. サービスの設定   sinfo要素にfilename属性を追加  sinfo要素のtype属性指定値よりrmtctrlを削除  sinfo要素のtype属性指定値にautolivekara、autolivebgm、drm、drmlog、traffic、g-search、drgscc、helpnetを追加   * 6.70. サービス設定情報の取得   sinfo要素の指定値にnoneを追加  sinfo要素のtype属性指定値よりrmtctrlを削除  sinfo要素のtype属性指定値にautolivekara、autolivebgm、drm、drmlog、traffic、g-search、drgscc、helpnetを追加   * 6.71. オススメ検索キー情報の設定   新規追加   * 6.72. リモートセキュリティ状態の取得   新規追加   * 6.73. リモートセキュリティ状態の設定   新規追加   * 6.74. 有効期限暗証番号の取得   新規追加   * 6.75. 有効期限暗証番号の取得結果通知   新規追加   * 6.76. 有効期限暗証番号の設定   新規追加   * 6.77. 自宅位置の取得   新規追加   * 6.78. DCM電話番号の消去   新規追加   * 6.79. メニュー画面ボタン情報の取得   新規追加   * 6.80. メニュー画面ボタンの一括更新   新規追加   * 6.81. 共通機能   新規追加   * 6.81.1. 拡張機能タイトルの指定   新規追加 | 2004/3/12 | 岸 |
| 1.70 | * 3.1.1.要求時の通信手順   内部コンテンツプロバイダ向け情報にGBML\_rseを追加   * 6.5. 端末情報の取得   phoneconnect要素を追記  ecuinfo、framenumber要素を削除   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   naviparam要素の指定値を変更  guideonetime属性を削除  roadtype要素を削除   * 6.24. Gメモリ地点地図登録   guideonetime属性を削除  roadtype要素を削除   * 6.25. Gメモリ地点地図一括更新   roadtype要素を削除   * 6.26. Gメモリ地点地図保存   roadtype要素を削除   * 6.27. 読み上げ   type属性を追加   * 6.28. リンク付き読み上げ   type属性を追加、continue属性を追加   * 6.44. MYリクエスト   vitem、vtext要素を追加   * 6.46. 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   ritem、rtext要素を削除  url属性を任意に変更   * 6.66. メニュー画面ボタンの登録   res属性を任意に変更  localres属性を削除  type属性を追加  vreconsmessage、guideonsmessage要素を追加  layout属性を追加   * 6.69. サービスの設定   typeの設定値を変更   * 6.70. サービス設定情報の取得   typeの設定値を変更   * 6.78. DCM電話番号の消去   execute要素の指定値を変更K   * 6.80. メニュー画面ボタンの一括更新   res属性を任意に変更  localres属性を削除  type属性を追加  vreconsmessage、guideonsmessage要素を追加  layout属性を追加   * 6.81. Gメモリ地点地図削除   新規追加 | 2004/6/4 | 岸 |
| 2.00 | 05号口対応   * 3.1.1.要求時の通信手順   内部コンテンツ向け情報に、RSE情報、ブランド情報、車載端末シリアル番号およびDCM電話番号を追加   * 5.15.テンプレート14   02車載端末、02Vup車載端末、PC02、PC03、携帯、PDAおよびPocketG-BOOKに関する記述を追加   * 5.16.11.ブラウザ終了機能   機能を削除   * 5.16.12.隠しボタン機能   新規追加   * 6.23.Gメモリ地点地図表示   autovoice属性を削除  button要素のid属性値を1～3に変更   * 6.24.Gメモリ地点地図登録   autovoice属性を削除   * 6.27.読み上げ   vitem要素のtype属性を削除   * 6.28.リンク付き読み上げ   vitem要素のtype属性を削除、voice\_link要素のcontinue属性を削除   * 6.66.メニュー画面ボタンの登録   vitem要素のtype属性を削除、caption属性の10進数を追記   * 6.69.サービスの設定   sinfo要素のtype属性値に、expdatekeyおよびtraveltimeを追加   * 6.70.サービス設定情報の取得   sinfo要素のtype属性値に、expdatekeyおよびtraveltimeを追加   * 6.78.DCM電話番号の消去   res属性を削除   * 6.80.メニュー画面ボタンの一括更新   vitem要素のtype属性を削除、caption属性の10進数を追記 | 2004/9/9 | 岸 |
| 2.01 | 05号口対応   * 3.1.1.要求時の通信手順   メーカーコードおよびRSE情報の詳細データを追記   * 6.44.MYリクエスト   ritem要素が05車載端末の場合必須であることを追記 | 2005/1/4 | 岸 |
| 2.02 | 05号口対応   * 3.1.1.要求時の通信手順   5．課金コンテンツ向け情報にアプリ連携状態を追記   * 4.3.インフォメーションの指定   appflg要素を新規追加   * 5.15.テンプレート14   05車載端末のみに変更   * 6.66.メニュー画面ボタンの登録   vitem要素のtype属性、image/@typeの指定値を追記  mbutton\_set/link要素を削除時も指定出来るよう変更   * 6.80.メニュー画面ボタンの一括更新   vitem要素のtype属性、image/@typeの指定値を追記  mbutton\_set/link要素を削除時も指定出来るよう変更 | 2005/1/19 | 岸 |
| 2.50 | 05号口対応  正式発行 | 2005/2/15 | 岸 |
| 2.60 | 05G-BOOKビューア対応   * 3.1.1.要求時の通信手順   GBML\_typeをPCの場合も通知することを追記   * 4.4.6.自動電話発呼の指定   confirm属性、url属性を追記   * 5.16.2.phone機能   confirm属性省略時の動作をyes→noに変更   * 6.25.Gメモリ地点地図一括更新   addressinfo要素を追記   * 6.26.Gメモリ地点地図保存   addressinfo要素を追記   * 6.57.メニュー画面ボタンの登録   bimage/caption要素の備考欄に、「addcaption要素がnoの場合は指定しない」を追記   * 6.70.メニュー画面ボタンの一括更新   bimage/caption要素の備考欄に、「addcaption要素がnoの場合は指定しない」を追記 | 2005/2/23 | 岸 |
| 2.65 | 新着情報対応   * 6.32.新着情報通知   新規追加 | 2005/3/24 | 岸 |
| 2.70 | DeviceGW機能拡張   * 4.4.2.拡張機能の指定   inline属性を追記   * 7.4.1.即時実行指定   inline属性および使用例を追記 | 2005/4/18 | 岸 |
| 2.80 | 車載機バージョンPOST情報追加対応   * 3.1.1.要求時の通信手順   GBML\_viewerを追記 | 2005/6/2 | 岸 |
| 2.90 | 車載機バージョンPOST情報追加対応   * 3.1.1.要求時の通信手順   GBML\_viewerをGBML\_versionに変更  GBML\_maker\_secに三菱、マツダを追加 | 2005/6/24 | 岸 |
| 2.91 | マイカーセキュリティ用テンプレート対応   * 5.6.テンプレート5   PC（05イメージ）に、画像表示枠を超えた場合の動作を追記。 | 2005/8/16 | 岸 |
| 2.92 | 新テンプレート追加対応   * 5.16.テンプレート15 | 2005/8/23 | 岡村 |
| 3.00J | 07G-BOOKα向けDevice G/W開発   * 全体   07車載端末を追加   * 3.1.1.要求時の通信手順   GBML\_typeの設定値にG-BOOK.07を追加  GBML\_versionの設定値に700を追加  GBML\_CarSNo16を追加  gbookid07を追加  gbookpw07を追加   * 6.22.目的地設定   poi\_guide/@groute属性を追記、dialog\_info要素配下の要素および属性を追記、voice要素配下の要素および属性を追記   * 6.46.動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   tel要素、tel/@confirm属性を追記   * 6.60.サービスの設定   sinfo/@type属性の指定値にdiagtriggerおよびffdを追記   * 6.61.サービス設定情報の取得   sinfo/@type属性の指定値にdiagtriggerおよびffdを追記   * 6.57.メニュー画面ボタンの登録   vitem要素、ritem要素、vreconsmessage要素、guideonsmessage要素についての注意事項を追記   * 6.70.メニュー画面ボタンの一括更新   vitem要素、ritem要素、vreconsmessage要素、guideonsmessage要素についての注意事項を追記   * 6.72.ESW押下によるサービス起動   新規追加   * 6.73.ヘルプネットの起動   新規追加   * 6.74.ヘルプネット状態の取得   新規追加   * 6.75.地図差分更新ライセンス情報の通知   新規追加   * 6.76.地図差分更新サービス可否結果の通知   新規追加   * 6.77.地図差分更新ライセンス情報の取得   新規追加 | 2005/11/7 | 岸 |
| 3.10J | 07G-BOOKβ向けDevice G/W開発   * 6.19．目的の取得   eta要素を追記   * 6.22.目的地設定   dialog\_info、voice要素削除   * 6.29.音声認識辞書の登録(コンテンツ)   link/@url属性についての注意事項を追記   * 6.44.Myリクエスト   rtext要素の必須を削除   * 6.68.DCM電話番号の消去   res属性を削除   * 6.60.サービスの設定   sinfo/@type属性の指定値にmapupdate、probe、myrequest、gpoiを追記   * 6.61.サービス設定情報の取得   sinfo/@type属性の指定値にmapupdate、probe、myrequest、gpoiを追記   * 6.57.メニュー画面ボタンの登録   vreconsmessage、guideonsmessage要素についての注意事項を追記を追記   * 6.70.メニュー画面ボタンの一括更新   vreconsmessage、guideonsmessage要素についての注意事項を追記を追記   * 6.72.ESW押下によるサービス起動   削除   * 6.5.端末情報の取得   dcmarticle、dcmtype要素を追記   * 6.73.ヘルプネットの起動   herpnet\_set/@type属性の指定値のdispatch、autoinspectを削除   * 6.73.ヘルプネット状態の取得   useful要素のの指定値のon、off、noneの内容を変更、追記   * 6.75.地図差分更新ライセンス情報の通知   削除   * 6.76.地図差分更新サ-ビス可否結果の通知   削除   * 6.77.地図差分更新ライセンス情報の取得   削除   * 6.78.地図配信サービス利用契約(アップロード)   新規追加   * 6.79.地図配信サービス実施判定結果(ダウンロード)   新規追加 | 2006/05/22 | 岡村 |
| 3.11J | * 6.22.目的地設定   point/@type属性を追加 | 2006/7/7 | 岡村 |
| 3.12J | * 6.21.Gメモリ地点地図一括更新   　　　adid要素を追加   * 6.22.Gメモリ地点地図保存   adid要素を追加 | 2006/7/14 | 山田 |
| 3.13J | * 6.45.動作指定ダイアログオンスクリーン(目的地)   point/@type属性を追加 | 2006/8/1 | 岡村 |
| 3.14J | 新テンプレート追加対応   * 5.16.テンプレート16 * 5.16.テンプレート17 | 2006/08/25 | 岡村 |
| 3.15J | 07G-BOOKγ向けDevice G/W開発   * 6.60.サービスの設定   sinfo/@type属性の指定値にdcmosstelcallを追記   * 6.61.サービス設定情報の取得   sinfo/@type属性の指定値にdcmosstelcallを追記   * 6.801.地図配信起動   新規追加 | 2006/10/10 | 岡村 |
| 3.16J | 新テンプレート追加対応   * 5.19.テンプレート18 * 5.20.テンプレート19 | 2006/11/22 | 岡村 |
| 3.17J | 新テンプレート追加対応   * 5.21.テンプレート20   テンプレート0を廃止 | 2007/1/31 | 岡村 |
| 4.00J | 07G-BOOK対応   * 3.1コンテンツ取得用通信   07車載端末用パラメータ追加 | 2007/2/20 | 岡村 |
| 4.11J | 07レクサス車載端末対応 | 2007/09/11 | 岡村 |
| 4.30J | 09開発Device G/W対応   * 全体   09車載機端末を追加   * 6.60.サービスの設定   sinfo/@type属性の指定値にmapupdate、probe、myrequest、gpoiを追記   * 6.61.サービス設定情報の取得   sinfo/@type属性の指定値にmapupdate、probe、myrequest、gpoiを追記 | 2008/02/26 | 岸 |
| 4.40J | Basic認証改善対応 配車型式追加   * 3.1.1.要求時の通信手段   POSTパラメータにGBML\_dpccartypeを追記 | 2008/12/10 | 小久保 |
| 4.50J | 09検証号口開発 DeviceG/W対応   * 3.1.1.要求時の通信手段   POSTパラメータにGBML\_onetch, GBML\_espoを追記 | 2009/01/7 | 小久保 |
| 4.60J | G-BOOK 車載コンテンツの性能改善   * 2.1. 表示画面の生成 * 3.1.1. 要求時の通信手順   コンテンツG/Wに関する記述を追記   * 5. コンテンツ表示機能 * 5.19. テンプレート18 * 5.20. テンプレート19   サービス対象外車載デバイスにて指定された場合の動作を追記   * 5.22. テンプレート21   テンプレート21を追加   * 7.5. 変換制御指定   新規機能を追加 | 2009/10/9 | 丹羽 |
| 4.61J | 誤記修正   * 6.46. 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   disptime指定単位を分→秒に変更 | 2009/12/24 | 山田 |
| 5.00J | 11開発Device G/W対応に反映   * 全体   11車載機端末を追加   * 6.18.現在地の取得   trajectory要素を追加   * 6.19. 目的地の取得   facilityid、guide、pname、disp、etadate要素を追加   * 6.22. 目的地設定   linkline要素を追加   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   roadtype、icon/vitem、disp要素を追加   * 6.24. Gメモリ地点地図登録   roadtype、icon/vitem、disp要素を追加   * 6.27. 読み上げ   vitem/@type要素値recvを11車載端末では無視されるように設定   * 6.28. リンク付き読み上げ   vitem/@type要素値recvを11車載端末では無視されるように設定   * 6.57. メニュー画面ボタンの登録   menu/@type要素値g-bookを11車載端末では無視されるように設定  menu/@type要素値にcategory、recommendを追加  menu/@type要素値topを11車載端末ではトップメニューから「情報G」G-BOOKタブに変更   * 6.60. サービスの設定   sinfo/@type要素値etc、centertelcall、parking、rmtmonitor、rmtdiagreccmdを追加   * 6.61. サービス設定情報の取得   sinfo/@type要素値etc、centertelcall、parking、rmtmonitor、rmtdiagreccmdを追加   * 6.69. メニュー画面ボタン情報の取得   menu/@type要素値g-bookを11車載端末では無視されるように設定  menu/@type要素値にcategory、recommendを追加  menu/@type要素値topを11車載端末ではトップメニューから「情報G」G-BOOKタブに変更   * 6.70. メニュー画面ボタンの一括更新   menu/@type要素値g-bookを11車載端末では無視されるように設定  menu/@type要素値にcategory、recommendを追加  menu/@type要素値topを11車載端末ではトップメニューから「情報G」G-BOOK  タブに変更   * 6.82. リモートモニタリングコマンドの設定   新規追加   * 6.83. ダイアグレコードコマンドの設定   新規追加   * 6.84. 地図メディアバージョンの取得   新規追加   * 6.85. 注意喚起POIの設定   新規追加   * 6.86. センターからのアプリケーション起動通知   新規追加   * 6.87. 汎用通信スケジューラーの設定   新規追加   * 6.88. 車両情報の取得   新規追加  11開発Device G/W対応に反映   * 6.18.現在地の取得   trajectory要素を削除   * 6.19. 目的地の取得   facilityid、guide、disp、etadate要素を削除   * 6.22. 目的地設定   linkline要素を削除   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   roadtype、icon/vitem、disp要素を削除   * 6.24. Gメモリ地点地図登録   roadtype、icon/vitem、disp要素を削除   * 6.57. メニュー画面ボタンの登録   menu/@type要素値g-bookを11車載端末で使用可能に設定  menu/@type要素値からcategory、recommendを削除  menu/@type要素値topを「情報G」G-BOOKタブからトップメニューに変更   * 6.60. サービスの設定   sinfo/@type要素値etc、centertelcall、parking、rmtmonitor、rmtdiagreccmdを削除   * 6.61. サービス設定情報の取得   sinfo/@type要素値etc、centertelcall、parking、rmtmonitor、rmtdiagreccmdを削除   * 6.69. メニュー画面ボタン情報の取得   menu/@type要素値g-bookを11車載端末で使用可能に設定  menu/@type要素値からcategory、recommendを削除  menu/@type要素値topを「情報G」G-BOOKタブからトップメニューに変更   * 6.70. メニュー画面ボタンの一括更新   menu/@type要素値g-bookを11車載端末で使用可能に設定  menu/@type要素値からcategory、recommendを削除  menu/@type要素値topを「情報G」G-BOOKタブからトップメニューに変更   * 6.82. リモートモニタリングコマンドの設定   削除   * 6.83. ダイアグレコードコマンドの設定   削除   * 6.84. 地図メディアバージョンの取得   削除   * 6.85. 注意喚起POIの設定   削除   * 6.86. センターからのアプリケーション起動通知   削除   * 6.87. 汎用通信スケジューラーの設定   削除   * 6.88. 車両情報の取得   削除   * 6.44 MYリクエスト   icon要素を削除   * 6.46 動作指定ダイアログスクリーン(情報取得)   tel/@confirm要素を削除   * 3.1.1 要求時の通信手順   GBML\_freesrvdvsを追加  11CY G-BOOK開発 Device G/W-車載機I/F対応に反映   * 全体   11車載端末の呼び出し元の指定方法可否を追記   * 6.16 アイコンテーブルの更新   11車載端末の場合、icontbl/@type要素値からmyrequestを削除   * 6.23 Gメモリ地点地図表示   starttime要素とendtime要素に設定可能な上限値に関する記述を追加   * 6.24 Gメモリ地点地図登録   starttime要素とendtime要素に設定可能な上限値に関する記述を追加   * 6.60 サービスの設定   11車載端末の場合、sinfo/@type要素値cddbをCDDBからGracenoteサービスに変更  sinfo/@type要素値にetc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfoを追加   * 6.61 サービス設定情報の取得   11車載端末の場合、sinfo/@type要素値cddbをCDDBからGracenoteサービスに変更  sinfo/@type要素値にetc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfoを追加   * 6.86 センターからのアプリケーション起動通知   新規追加   * 6.87 汎用通信スケジューラのダウンロード   新規追加  11CYコンテンツ構築対応に反映   * 5.22. テンプレート21   新規追加   * 7.5. 変換制御指定   新規追加  ローカルサーチ用テンプレート開発に反映   * 2.1. 表示画面の生成   テンプレート22を追加   * 4.4.1. タイトルの指定   テンプレート22のタイトル長追記   * 5. コンテンツ表示機能   テンプレート22を追加   * 5.23. テンプレート22   新規追加  ローカルサーチ用テンプレート開発に反映   * 5.23. テンプレート22   リンクタグをcommand/link[@url]に統一  テキスト表示はobject/textに統一  最大表示可能文字数を変更  11CY G-BOOK CV-R開発 Device G/Wに反映   * 3.1.1. 要求時の通信手順   GBML\_FlatSumPlanを追加   * 6.19. 目的地の取得   point/@type(地点種別)を追記   * 6.21. 経路地情報の取得   point/@validate(有効/無効種別)を追記  point/highway(ハイウェイ対象路線情報)を追記   * point/@type(地点種別)の設定値を追記   11国内検証号口 Device G/W対応   * 要求時の通信手順   GBML\_basetypeを追加 | 2010/11/16 | 笹尾 |
| 5.10J | PCビューワ/CDDB3.0 11G-BOOK対応（PCビューワ対応）   * テンプレート1、4、5、7、8、9、14、15、16、17、18、20、21、22   デバイスPCに11イメージを追加 | 2011/05/09 | 山田 |
| 5.20J | 車載機における個人情報保護対策(G暗証番号の設定)   * 7.4 個人情報保護機能向けインタフェース   新規追加 | 2011/6/20 | 高崎 |
| 5.30J | 12CY G-BOOK SDナビ・EV PHV端末対応   * 3.1.1 要求時の通信手順   GBML\_compositionに設定値を追加  ・”EV” … EV-AVN端末  ・”PHV” … PHV-AVN端末  ・”SDP” … SD-PHV端末   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   poi\_disp/sidの制限事項を追記  poi\_disp/poi/point/icon/@idの制限事項を追記   * 6.89. 汎用通信スケジューラ―(EV情報)の設定 * 6.90. EV情報の取得   新規追加 | 2011/11/30 | 高崎 |
| 6.00J | 13MM 事務4コンテンツ連携機能開発   * 全体   13車載機端末を追加   * 3.1.1 要求時の通信手順   GBML\_typeに設定値　“G-BOOK.13” を追記  GBML\_versionに設定値　“900”、”970” を追記  パラメータ ”GBML\_WiFi” を追記  パラメータ ”GBML\_G\_Station” を追記  パラメータ ”GBML\_InternalDeviceID” を追記  パラメータ ”GBML\_InternalMemberID” を追記   * 5.24.7コンテンツのコマンドボタン指定   指定値“setting”を追記   * 6.22. 目的地設定   目的地の最大地点数を10に変更   * 6.23. Gメモリ地点地図表示   poi/point/courseattを追記  poi/point/courseatt/roadtype(道路種別)を追記  poi/point/courseatt/linkid（道路識別用ID）を追記  poi/point/courseatt/linked/@direction（方向フラグ）を追記  poi/point/courseatt/linked/region（地域コード）を追記  poi/point/courseatt/linked/diff（差分）を追記   * 6.24. Gメモリ地点地図登録   poi/point/courseattを追記  poi/point/courseatt/roadtype(道路種別)を追記  poi/point/courseatt/linkid（道路識別用ID）を追記  poi/point/courseatt/linked/@direction（方向フラグ）を追記  poi/point/courseatt/linked/region（地域コード）を追記  poi/point/courseatt/linked/diff（差分）を追記   * 6.46. 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)   message/@priorityを追記   * 6.57. メニュー画面ボタンの登録   menu/@type（メニュー種別）の必須条件変更  menu/mbutton/@position（追加位置）の必須条件変更  menu/mbutton/bimage/@addcaption（キャプション取得種別）の必須条件変更   * 6.60. サービスの設定   sinfo/@type要素値に browser、centerrouteを追加   * 6.61. サービス設定情報の取得   sinfo/@type要素値に browser、centerrouteを追加   * 6.69. メニュー画面ボタン情報の取得   menu/@type（メニュー種別）の必須条件変更   * 6.70. メニュー画面ボタンの一括更新   menu/@type（メニュー種別）の必須条件変更  menu/mbutton/@position（追加位置）の必須条件変更  menu/mbutton/bimage/@addcaption（キャプション取得種別）の必須条件変更   * 7.5. 課金コンテンツ向けインターフェース   新規追加 | 2012/10/04 | 高崎 |

[1. 概要 22](#_Toc346115139)

[2. 機能概要 23](#_Toc346115140)

[2.1. 表示画面の生成 23](#_Toc346115141)

[2.2. クライアントの動作制御 27](#_Toc346115142)

[3. G-BOOK MLを使用した通信シーケンス 28](#_Toc346115143)

[3.1. コンテンツ取得用通信 29](#_Toc346115144)

[3.1.1. 要求時の通信手順 29](#_Toc346115145)

[3.1.2. レスポンス時の情報 36](#_Toc346115146)

[3.2. イメージ取得用通信 38](#_Toc346115147)

[3.2.1. 要求時の通信手順 38](#_Toc346115148)

[3.2.2. レスポンス時の情報 39](#_Toc346115149)

[4. G-BOOK MLの構成 40](#_Toc346115150)

[4.1. 仕様 40](#_Toc346115151)

[4.2. 基本構成 40](#_Toc346115152)

[4.3. インフォメーションの指定 41](#_Toc346115153)

[4.4. コンテンツ共通情報の指定 42](#_Toc346115154)

[4.4.1. タイトルの指定 42](#_Toc346115155)

[4.4.2. 拡張機能の指定 44](#_Toc346115156)

[4.4.3. キャッシュの指定 46](#_Toc346115157)

[4.4.4. 走行規制の指定 48](#_Toc346115158)

[4.4.5. 再描画の指定 50](#_Toc346115159)

[4.4.6. 自動電話発呼の指定 52](#_Toc346115160)

[4.4.7. 履歴制御の指定 53](#_Toc346115161)

[5. コンテンツ表示機能 54](#_Toc346115162)

[5.1. テンプレート0 56](#_Toc346115163)

[5.2. テンプレート1 57](#_Toc346115164)

[5.3. テンプレート2 61](#_Toc346115165)

[5.4. テンプレート3 62](#_Toc346115166)

[5.5. テンプレート4 65](#_Toc346115167)

[5.6. テンプレート5 68](#_Toc346115168)

[5.7. テンプレート6 71](#_Toc346115169)

[5.8. テンプレート7 72](#_Toc346115170)

[5.9. テンプレート8 78](#_Toc346115171)

[5.10. テンプレート9 82](#_Toc346115172)

[5.11. テンプレート10 86](#_Toc346115173)

[5.12. テンプレート11 89](#_Toc346115174)

[5.13. テンプレート12 92](#_Toc346115175)

[5.14. テンプレート13 97](#_Toc346115176)

[5.15. テンプレート14 100](#_Toc346115177)

[5.16. テンプレート15 105](#_Toc346115178)

[5.17. テンプレート16 109](#_Toc346115179)

[5.18. テンプレート17 112](#_Toc346115180)

[5.19. テンプレート18 116](#_Toc346115181)

[5.20. テンプレート19 120](#_Toc346115182)

[5.21. テンプレート20 123](#_Toc346115183)

[5.22. テンプレート21 126](#_Toc346115184)

[5.23. テンプレート22 131](#_Toc346115185)

[5.24. 共通機能 137](#_Toc346115186)

[5.24.1. Webメール機能 137](#_Toc346115187)

[5.24.2. phone機能 138](#_Toc346115188)

[5.24.3. ボタンスクロール機能 140](#_Toc346115189)

[5.24.4. 表示文字列の色指定機能 141](#_Toc346115190)

[5.24.5. 自動読み上げ機能 143](#_Toc346115191)

[5.24.6. 画像の自動選択機能 144](#_Toc346115192)

[5.24.7. コンテンツのコマンドボタン指定 146](#_Toc346115193)

[5.24.8. サブウィンドウの制御 147](#_Toc346115194)

[5.24.9. フリーレイアウト機能 149](#_Toc346115195)

[5.24.10. 隠しボタン機能 150](#_Toc346115196)

[6. 拡張機能 152](#_Toc346115197)

[6.1. 端末IDの取得 157](#_Toc346115198)

[6.2. ログインユーザ情報の取得 159](#_Toc346115199)

[6.3. 走行距離の取得 161](#_Toc346115200)

[6.4. DCM情報の取得 163](#_Toc346115201)

[6.5. 端末情報の取得 165](#_Toc346115202)

[6.6. HF番号情報の取得 169](#_Toc346115203)

[6.7. ブラウザ情報の取得 171](#_Toc346115204)

[6.8. システムバージョン情報の取得 173](#_Toc346115205)

[6.9. ダイアグ情報の取得 175](#_Toc346115206)

[6.10. エラーログ情報の取得 176](#_Toc346115207)

[6.11. 広告の表示 179](#_Toc346115208)

[6.12. 端末広告情報の取得 179](#_Toc346115209)

[6.13. 広告容量情報の取得 179](#_Toc346115210)

[6.14. 広告の消去 179](#_Toc346115211)

[6.15. 広告の制御 179](#_Toc346115212)

[6.16. アイコンテーブルの更新 180](#_Toc346115213)

[6.17. ジャンルテーブルの更新 183](#_Toc346115214)

[6.18. 現在地の取得 185](#_Toc346115215)

[6.19. 目的地の取得 188](#_Toc346115216)

[6.20. 任意地の取得 192](#_Toc346115217)

[6.21. 経路地情報の取得 195](#_Toc346115218)

[6.22. 目的地設定 200](#_Toc346115219)

[6.23. Gメモリ地点地図表示 204](#_Toc346115220)

[6.24. Gメモリ地点地図登録 212](#_Toc346115221)

[6.25. Gメモリ地点地図一括更新 217](#_Toc346115222)

[6.26. Gメモリ地点地図保存 222](#_Toc346115223)

[6.27. 読み上げ 228](#_Toc346115224)

[6.28. リンク付き読み上げ 230](#_Toc346115225)

[6.29. 音声認識辞書の登録(コンテンツ) 232](#_Toc346115226)

[6.30. 音声認識辞書の登録(音声リクエスト) 235](#_Toc346115227)

[6.31. 新着メール通知 237](#_Toc346115228)

[6.32. 新着情報通知 239](#_Toc346115229)

[6.33. サブウィンドウキャラクタ表示 241](#_Toc346115230)

[6.34. 読み上げ付きサブウィンドウキャラクタ表示 243](#_Toc346115231)

[6.35. サブウィンドウ画像表示 245](#_Toc346115232)

[6.36. 読み上げ付きサブウィンドウ画像表示 247](#_Toc346115233)

[6.37. AUTOLIVE CP情報 249](#_Toc346115234)

[6.38. AUTOLIVE お気に入り曲情報 249](#_Toc346115235)

[6.39. AUTOLIVE ライブチャンネル情報 249](#_Toc346115236)

[6.40. 永続キャッシュ情報の取得 250](#_Toc346115237)

[6.41. 永続キャッシュへの登録 252](#_Toc346115238)

[6.42. CDFのダウンロード 254](#_Toc346115239)

[6.43. 契約フラグの設定 255](#_Toc346115240)

[6.44. MYリクエスト 257](#_Toc346115241)

[6.45. 動作指定ダイアログオンスクリーン(目的地) 259](#_Toc346115242)

[6.46. 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得) 263](#_Toc346115243)

[6.47. 交通情報地点表示 268](#_Toc346115244)

[6.48. 周辺施設地点表示 271](#_Toc346115245)

[6.49. キャラクタ情報の取得 275](#_Toc346115246)

[6.50. 永続キャッシュの全データ削除 277](#_Toc346115247)

[6.51. 地図中心付近地の取得 279](#_Toc346115248)

[6.52. 地図バージョン情報の取得 282](#_Toc346115249)

[6.53. スケジュールの更新 284](#_Toc346115250)

[6.54. 休日情報の設定 286](#_Toc346115251)

[6.55. ナビ設定車両情報の取得 287](#_Toc346115252)

[6.56. 閲覧履歴の消去 290](#_Toc346115253)

[6.57. メニュー画面ボタンの登録 292](#_Toc346115254)

[6.58. ファイル転送（ダウンロード） 296](#_Toc346115255)

[6.59. ファイル転送（アップロード） 299](#_Toc346115256)

[6.60. サービスの設定 302](#_Toc346115257)

[6.61. サービス設定情報の取得 305](#_Toc346115258)

[6.62. リモートセキュリティ状態の取得 309](#_Toc346115259)

[6.63. リモートセキュリティ状態の設定 311](#_Toc346115260)

[6.64. 有効期限暗証番号の取得 314](#_Toc346115261)

[6.65. 有効期限暗証番号の取得結果通知 315](#_Toc346115262)

[6.66. 有効期限暗証番号の設定 317](#_Toc346115263)

[6.67. 自宅位置の取得 319](#_Toc346115264)

[6.68. DCM電話番号の消去 322](#_Toc346115265)

[6.69. メニュー画面ボタン情報の取得 324](#_Toc346115266)

[6.70. メニュー画面ボタンの一括更新 327](#_Toc346115267)

[6.71. Gメモリ地点地図削除 331](#_Toc346115268)

[6.72. ESW押下によるサービス起動 333](#_Toc346115269)

[6.73. ヘルプネットの起動 334](#_Toc346115270)

[6.74. ヘルプネット状態の取得 335](#_Toc346115271)

[6.75. 地図差分更新ライセンス情報の通知 338](#_Toc346115272)

[6.76. 地図差分更新サービス可否結果の通知 338](#_Toc346115273)

[6.77. 地図差分更新ライセンス情報の取得 338](#_Toc346115274)

[6.78. 地図配信サービス利用契約(アップロード) 339](#_Toc346115275)

[6.79. 地図配信サービス実施判定結果(ダウンロード) 342](#_Toc346115276)

[6.80. 地図配信起動(ダウンロード)【市販のみ】 344](#_Toc346115277)

[6.81. 共通機能 347](#_Toc346115278)

[6.81.1. 拡張機能タイトルの指定 347](#_Toc346115279)

[6.82. リモートモニタリングコマンドの設定 349](#_Toc346115280)

[6.83. ダイアグレコードコマンドの設定 349](#_Toc346115281)

[6.84. 地図メディアバージョンの取得 349](#_Toc346115282)

[6.85. 注意喚起POIの設定 349](#_Toc346115283)

[6.86. センターからのアプリケーション起動通知 350](#_Toc346115284)

[6.87. 汎用通信スケジューラーの設定 352](#_Toc346115285)

[6.88. 車両情報の取得 353](#_Toc346115286)

[6.89. 汎用通信スケジューラー(EV情報)の設定 354](#_Toc346115287)

[6.90. EV情報の取得 355](#_Toc346115288)

[7. 限定機能 358](#_Toc346115289)

[7.1. パススルー機能 358](#_Toc346115290)

[7.1.1. 標準インタフェース 359](#_Toc346115291)

[7.1.2. 基本契約画面遷移向けインタフェース 361](#_Toc346115292)

[7.1.3. @Navi機能向けインタフェース 363](#_Toc346115293)

[7.1.4. 音声認識向けインタフェース 365](#_Toc346115294)

[7.2. アクセス履歴制御インターフェース 367](#_Toc346115295)

[7.3. 解約処理向けインターフェース 371](#_Toc346115296)

[7.4. 個人情報保護機能向けインターフェース 372](#_Toc346115297)

[7.5. 課金コンテンツ向けインターフェース 373](#_Toc346115298)

[7.6. 拡張機能インライン指定 374](#_Toc346115299)

[7.6.1. 即時実行指定 375](#_Toc346115300)

[7.6.2. ユーザー操作契機、拡張機能指定 377](#_Toc346115301)

[7.7. 変換制御指定 379](#_Toc346115302)

[7.7.1. 位置情報下位互換指定（アップロード） 379](#_Toc346115303)

[7.7.2. 読み上げチェック指定 381](#_Toc346115304)

[8. 注意事項 382](#_Toc346115305)

[8.1. 禁則処理 382](#_Toc346115306)

[8.1.1. 禁則処理とは 382](#_Toc346115307)

[8.1.2. 禁則処理の対象となる文字 382](#_Toc346115308)

[8.2. 特殊文字の扱い 383](#_Toc346115309)

[9. 運用定義 384](#_Toc346115310)

[9.1. 内部/外部コンテンツ定義 384](#_Toc346115311)

[9.2. 通信タイムアウト/リトライ定義 384](#_Toc346115312)

[9.3. サービスフィルタ定義 384](#_Toc346115313)

[9.4. サイト停止定義 385](#_Toc346115314)

# 概要

本仕様書は、G-BOOKシステムにおけるコンテンツ表現の言語仕様であるG-BOOK MLの機能仕様書です。

本書は、G-BOOKに対してコンテンツを提供するコンテンツ提供者(コンテンツプロバイダ：CP)がG-BOOKセンターに対して、通知するコンテンツ作成時に使用することを目的とします。

# 機能概要

G-BOOKにおけるG-BOOK MLの機能について説明します。

G-BOOK MLは、G-BOOK.comサイトで表示するコンテンツを表現するxml形式のG-BOOK独自言語です。G-BOOK MLはコンテンツ提供者がG-BOOK.comサイトへコンテンツを提供するために記述する言語となります。

G-BOOKにおいては、複数のデバイスに対してシームレスなサービスを提供します。基本的に、コンテンツプロバイダはただ一つのG-BOOK MLを生成することで、G-BOOKセンターにより、要求元のデバイスに適した表現に自動的に変換されます。

G-BOOK MLの機能としては、大きく2つに大別されます。

－ 表示画面の生成

クライアントに対して、表示画面を提供します。表示する画面は、G-BOOKセンターで用意する決められた形式のデザインに当てはめられます。コンテンツプロバイダはG-BOOK ML中で表示したい形式のデザインを指定します。

－ クライアントの動作制御

音声による認識や読み上げなどのクライアントの動作を制御します。クライアントに依存する機能であり、機能を持たないクライアントに対しては、G-BOOK センターにて規定の動作となります。

## 表示画面の生成

コンテンツプロバイダの出力するG-BOOK MLはテンプレートと呼ばれる一定の形式のスタイルで表現されます。使用可能なテンプレートを以下に示します。

| タイプ | 特徴 | 画面イメージ(03車載端末時) |
| --- | --- | --- |
| テンプレート0 | インフォメーション  エラー発生時など、ユーザに情報を表示する際に使用する。 | 廃止  (このテンプレート番号が指定された場合、テンプレート２０が適用される) |
| テンプレート1 | リストボタン  ボタンクリックにより、リンク先への画面遷移などを行うメニュー系画面。 | 説明: template1 |
| テンプレート2 | アイコン付き大ボタン  横長のリストボタンを四角のボタンに置き換えたもの。 | 廃止  (このテンプレート番号が指定された場合、テンプレート１が適用される) |
| テンプレート3 | アイコンなし大ボタン  アイコンつき大ボタンからアイコンをなくし、文字表現力を高めたもの。 | 説明: template3 |
| テンプレート4 | 詳細画面  コンテンツとして、文字による表現を行うための画面。 | 説明: template4 |
| テンプレート5 | イメージ画面  コンテンツとして、画像による表現を行うための画面。 | 説明: template5 |
| テンプレート6 | アイコンつきリストボタン  アイコンなしリストボタンに、アイコンを付加することで、デザイン面の表現力を高めたもの。 | 廃止  (このテンプレート番号が指定された場合、テンプレート１が適用される) |
| テンプレート7 | テキスト入力  入力系の画面として、テキストの入力を可能としたもの。 | 説明: template7 |
| テンプレート8 | チェックボックス  入力系の画面として、チェックボックスによる入力を可能としたもの。 | 説明: template8 |
| テンプレート9 | ラジオボタン  入力系の画面として、ラジオボタンによる入力を可能としたもの。 | 説明: template9 |
| テンプレート10 | スクロール付き詳細画面  コンテンツとして、文字による表現を行うための画面。基本的には、テンプレート4と同等であるが、スクロール機能により長文の表現を可能とする。 | 説明: template10 |
| テンプレート11 | 大テキスト入力  入力系の画面として、テキストの入力を可能としたもの。機能的には、テンプレート7と同じであるが、長文の入力、スクロールが可能となっている。 | 説明: template11 |
| テンプレート12 | クイックモード  クイックモードとして、走行中に1アクションの操作で使用可能なテンプレートを提供する。 |  |
| テンプレート13 | Ｍｙリクエスト、テンプレート12(クイックモード)からの画面遷移を前提としたテンプレート |  |
|  |  |  |
| タイプ | 特徴 | 画面イメージ(05車載端末時) |
| テンプレート14 | スクロール付き詳細リストボタン画面  コンテンツとして、文字による表現を行うと同時にボタンクリックにより、リンク先への画面遷移などを行うメニュー系画面。スクロール機能により長文の表現を可能とする。 | 説明: t14 |
|  |  |  |
| タイプ | 特徴 | 画面イメージ(05車載端末時) |
| テンプレート15 | リスト入れ替え画面  リストボタンを押下することにより、リストボタンの入れ替えを可能とする。 | 説明: t15 |
|  |  |  |
| タイプ | 特徴 | 画面イメージ(07車載端末時) |
| テンプレート16 | 07、09、11天気予報専用テンプレート。07、09、11天気予報にて使用され、今日明日の天気予報表示にのみ使用される | 説明: t16 |
| テンプレート17 | 07、09、11天気予報専用テンプレート。07、09、11天気予報にて使用され、週間天気の天気予報表示にのみ使用される | 説明: t17 |
| テンプレート18 | 画像付リスト画面。  リスト上の左部分に画像が表示される。その他機能については、テンプレート1と同様。 | 説明: t18 |
| テンプレート19 | 画像付詳細画面。  スクロール付詳細画面の右上上部に画像が表示される。その他機能についてはテンプレート10と同様。 | 説明: t19 |
| テンプレート20 | インフォメーション  エラー発生時など、ユーザに情報を表示する際に使用する。 | 説明: 05_t0_新規_v2 |
| テンプレート21 | ラベル付き入力テキスト  入力テキストエリアの左側に文字表示を可能とする。その他機能についてはテンプレート7と同様。 | 説明: 無題 |
| テンプレート22 | ローカルサーチの表示機能を提供するための画面。 | 説明: temp |

## クライアントの動作制御

G-BOOK MLでは画面を表現するとともに、クライアントによる動作（音声読上げや音声認識など）の制御を表現することができます。

使用可能な機能の詳細は、「6拡張機能」を参照のこと。

# G-BOOK MLを使用した通信シーケンス

コンテンツプロバイダは、HTTPプロトコルによりG-BOOKセンターとの通信を行い、センターからのHTTPリクエストに対するレスポンスとしてG-BOOK MLを返します。

G-BOOK MLを使用した通信イメージを以下に示します。



G-BOOK センター



コンテンツ変換



HTTPレスポンス

HTTPリクエスト

HTTPリクエスト

CP

G-BOOK ML

生成

HTTPレスポンス



G-BOOK ML

図 1　G-BOOK MLによる通信イメージ

G-BOOKセンター－コンテンツプロバイダ間は、以下の二種類の通信を行います。

* コンテンツ取得

センターからの要求により、コンテンツプロバイダがレスポンスとしてG-BOOK MLを返すためのHTTP通信。

* 画像取得

G-BOOK MLにより表現したコンテンツのうち、画像を伴う場合に使用する通信であり、センターからの要求により、コンテンツプロバイダがレスポンスとして画像データを返すためのHTTP通信。

## コンテンツ取得用通信

コンテンツ取得用通信は、以下の際に発生します。

* 画面上のボタンクリック(G-BOOK MLのwindow要素内のlink要素の指定）により、次のG-BOOK MLの取得要求が発生した場合
* 即時起動(G-BOOK MLのcommonおよびsub要素内の拡張機能のG-BOOK ML書式の記述)により、拡張機能の取得要求が発生した場合
* 音声認識等により、次のG-BOOK ML取得要求が発生した場合

CP

G-BOOK ML

HTML or

拡張機能

HTML

クリックまたは、

自動的な拡張機能の要求

HTTP POST

G-BOOKセンター

CL

G-BOOK ML要求

コンテンツ変換

HTML or 拡張機能の出力

### 要求時の通信手順

要求発生時のセンター－コンテンツプロバイダ間の通信手順を以下に示します。

【プロトコルとメソッド】

プロトコル ：HTTPまたは、HTTPS

　　　　　　　　　05車載端末、07車載端末、09車載端末、11車載端末、13車載端末のみlocal

メソッド ：POST

HTTPSによる通信は、コンテンツとして出力するG-BOOK ML中に記載するURLとして、”https://”から記載することで、自動的にSSLによる通信が行われます。

なお、SSLによる通信時は、以下の規定に基づいて動作します。

クライアント－センター間：

02、02Vup、03、05、07、09および11車載端末はhttpで通信。それ以外は、SSLによる通信を行う。

センター－コンテンツプロバイダ間：

センター内に配置されるコンテンツについては、httpで通信。外部に配置されるコンテンツについては、SSLによる通信を行う。

localプロトコルによる要求は、コンテンツとして出力するG-BOOK ML中に記載するURLとして、”local://”から記載することで、アプリケーションの呼び出しを可能とします。

コンテンツG/Wを使用する要求は、コンテンツとして出力するG-BOOK ML中に記載するURLとして、”cgw://”から記載することで、アプリケーションの呼び出しを可能とします。

記載例）cgw://g?cpname=Parking&dispid=Parking0003

【リクエストヘッダ】

以下のHTTPヘッダを明示的に付加する。

|  |  |
| --- | --- |
| パラメータ名 | 内容 |
| Content-Type | application/x-www-form-urlencoded; text/xml; charset=UTF-8 |

【リクエストボディ】

POSTによる引数として、以下のパラメータを使用する。

1．一般コンテンツ向け情報

全てのコンテンツに対して、以下の情報を通知する。

| パラメータ名 | 内容 | |
| --- | --- | --- |
| model | クライアントの機種を識別する情報。以下のいずれかが設定される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | GBOOK.02 | 車載端末 | | PC | PC：Internet Explorer | | DoCoMo | 携帯電話：NTT DoCoMo(i-mode) | | UP.Browser | 携帯電話：au(EZWeb) | | J-PHONE | 携帯電話：J-PHONE(J-SKY) | | G-BOOK.PPC | Pocket G-BOOK | | PDA | その他のM-Mode | | |
|  |  | |
| GBML\_type | modelが車載端末の場合の車載端末種別。  以下のいずれかが設定される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | G-BOOK.02 | 02G-BOOK端末 | | G-BOOK.02VUP | 02G-BOOK端末(Versio UP版) | | G-BOOK.03 | 03G-BOOK端末 | | G-BOOK.05 | 05G-BOOK端末 | | G-BOOK.07 | 07G-BOOK端末,09G-BOOK端末 | | G-BOOK.11 | 11G-BOOK端末 | | G-BOOK.13 | 13G-BOOK端末 | | |
|  |  | |
| GBML\_size | modelが03、05、07、09、11および~~11~~13車載端末時のディスプレイのサイズを示す。以下のいずれかが設定される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | EGA | EGAディスプレイ | | VGA | VGAディスプレイ | | |
|  |  | |
| GBML\_module | modelが車載端末時の通信モジュールの種別を示す。以下のいずれかが設定される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | DCM | DCM | | Packet | パケット接続 | | CS | 回線交換 | | |
|  |  | |
| uniqid | ログインユーザを識別する一意なID。 | |
| odometer | 走行距離の取得を行った場合のみ、走行距離が通知される(km)。 | |
| pos | 現在位置の取得を行った場合のみ、現在位置が通知される。  通知される位置情報の形式は取得時の設定により変化し、マップコードまたは、緯度・経度の形式となる。  ≪マップコードの場合≫  マップコードが通知される。複数の場合は、カンマ区切りで通知される。  ≪緯度・経度の場合≫  緯度・経度がカンマ区切りで通知される。複数ある場合は、緯度、経度の順で、カンマ区切りにて順に出現する。 | |
| 任意パラメータ | 入力系のテンプレートにおいて、送信時に指定されたパラメータ名で通知される。 | |
| GBML\_version | | ナビバージョン情報を示す。以下のいずれかが設定される。  ※ナビバージョンの詳細については、『付録A\_ナビバージョン』を参照して下さい。   | 設値 | 意味 | | --- | --- | | 100 | ナビバージョン100 | | 110 | ナビバージョン110 | | 200 | ナビバージョン200 | | 210 | ナビバージョン210 | | 250 | ナビバージョン250 | | 300 | ナビバージョン300 | | 500 | ナビバージョン500 | | 570 | ナビバージョン570 | | 700 | ナビバージョン700 | | 770 | ナビバージョン770 | | 800 | ナビバージョン800 | | 870 | ナビバージョン870 | | 900 | ナビバージョン900 | | 970 | ナビバージョン970 | | |
| GBML\_composition | | 端末の構成タイプを示す。以下のいずれかが設定される。   | 設定値 | 意味 | | --- | --- | | EMV | EMV端末 | | EMVN | EMVN端末 | | AVN | AVN端末 | | HVGA | HVGA端末 | | SD | SD-AVN端末 | | EV | EV-AVN端末 | | PHV | PHV-AVN端末 | | SDP | SD-PHV端末 | | |
| GBML\_option | | 端末のオプションを示す。以下のいずれかが設定される。   | 設定値 | 意味 | | --- | --- | | 0 | MOP(メーカオプション) | | 1 | 用品 | | |
| GBML\_freesrvdvs | | フリーサービス状態であるかどうかを表す。   | 設定値 | 意味 | | --- | --- | | 0 | フリーサービス未契約 | | 1 | フリーサービス契約中 | | |
| GBML\_FlatSumPlan | | カーナビ通信料定額プラン設定状態であるかどうかを表す。   | 設定値 | 意味 | | --- | --- | | 0 | 定額プラン非設定時 | | 1 | 定プラン設定時 | | |
| GBML\_WiFi | | WiFi接続であるかどうかを表す。   | 設定値 | 意味 | | --- | --- | | 0 | WiFi以外による接続 | | 1 | WiFiによる接続 | | |
| GBML\_G\_Station | | G-Station WiFi接続であるかどうかを表す。   | 設定値 | 意味 | | --- | --- | | 0 | G-Station WiFi以外による接続 | | 1 | G-Station WiFiによる接続 | | |
|  | |  | |

2．書き込み完了通知向け情報

アイコンテーブルなど、情報をダウンロード後、その完了通知を受ける

|  |  |
| --- | --- |
| パラメータ名 | 内容 |
| GBML\_download | 完了通知を示す。modelが車載端末時のみ設定される。正常に終了した場合のみ通知され、失敗時は通知されない。  02車載端末の場合：  通知されない  02Vup車載端末の場合：  常に“ok”  03車載端末の場合：  常に”ok”  05車載端末の場合：  常に”ok”  07車載端末の場合：  常に”ok”  09車載端末の場合：  常に”ok”  11車載端末の場合：  常に”ok”  13車載端末の場合：  常に”ok” |

3．内部コンテンツプロバイダ向け情報

G-BOOKセンター内に配置されるコンテンツに対しては、一般コンテンツ向け情報に加えて以下を通知する。

| パラメータ名 | 内容 |
| --- | --- |
| gbookid | G-BOOK会員を示すID番号。modelが車載端末時のみ設定される。  車載端末ごとに以下の情報が通知される。  02車載端末の場合：  DCM番号+ユーザ識別コード(0,1,2のいずれか)  02Vup車載端末の場合：  DCM番号+ユーザ識別コード(0,1,2のいずれか)  03車載端末の場合：  DCM接続時 DCM番号+ユーザ識別コード(常に1)  ケイタイ接続時 携帯番号+ユーザ識別コード(常に1)  05車載端末の場合：  DCM接続時 DCM番号+ユーザ識別コード(常に1)  ケイタイ接続時 携帯番号+ユーザ識別コード(常に1)  07車載端末の場合：  DCM接続時 DCM番号+ユーザ識別コード(常に1)  ケイタイ接続時 携帯番号+ユーザ識別コード(常に1)  09車載端末の場合：  DCM接続時 DCM番号+ユーザ識別コード(常に1)  ケイタイ接続時 携帯番号+ユーザ識別コード(常に1)  11車載端末の場合：  DCM接続時 DCM番号+ユーザ識別コード(常に1)  ケイタイ接続時 携帯番号+ユーザ識別コード(常に1)  13車載端末の場合：  通知されない |
| gbookpw | G-BOOK会員を示すID番号に対応するパスワード。modelが車載端末時のみ設定される。  具体的には、車載端末のシリアル番号のハッシュ値が通知される。  ただし、13車載端末の場合は通知されない。 |
| gazooid | GAZOO会員を示すID番号。modelが車載端末、かつ02、03、05、07、11車載端末の場合は、G-BOOK会員番号に対応するGAZOO会員番号が設定される。13車載端末の場合は内部会員ID(Prefixあり)が設定される。 |
| gazoopw | GAZOO会員を示すID番号に対応するパスワード。modelが車載端末の場合は、G-BOOK会員番号に対応するGAZOO会員番号が設定される。  ただし、13車載端末の場合は通知されない。 |
| auto-ml | 情報取得系の拡張機能を使用した場合に、02車載端末のAUTO-MLが通知される。本パラメータは、互換のために用意されており、新規コンテンツにおいては、gbmlパラメータを使用のこと。 |
| GBML\_gbml | 情報取得系の拡張機能を使用した場合に、車載端末から通知された情報がG-BOOK MLの書式で通知される。具体的な通知内容は、「6拡張機能」の各情報取得の機能を参照されたい。 |
| GBML\_maker | 車載端末メーカーが通知される。modelパラメータがG-BOOK.02の場合に限り、以下のいずれかが設定される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | AW | アイシンAW製 | | DN | DENSO製 | | TN | 富士通テン | | MAT | 松下電器製 | |
|  |  |
| GBML\_youhin | 車載端末の用品区分が通知される。modelパラメータがG-BOOK.02の場合で用品に該当する場合のみ、以下のいずれかが通知される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | AVgN | 03用品 | | AVGn | 03AVGn | |
|  |  |
| GBML\_frame\_sec | フレーム区分が通知される。  13車載端末は、VINを”-“(ハイフン)で分割した前半の値が通知される。 |
| GBML\_frame\_No | フレームNoが通知される。  13車載端末は、VINを”-“(ハイフン)で分割した後半の値が通知される。 |
| GBML\_maker\_sec | メーカを識別する情報。以下のいずれかが設定される。   |  |  | | --- | --- | | 設値 | 意味 | | 00 | レサス | | 01 | トヨタ | | 02 | ダイハツ | | 03 | スバル | | 04 | 三菱 | | 05 | マツダ | |
| GBML\_rse | GBML\_typeパラメータがG-BOOK.05、G-BOOK.07~~および~~、G-BOOK.11およびG-BOOK.13の場合に限り、以下のRSE情報が通知される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | RSE | RSEからのアクセス  （RSE端末のリアよりアクセスされた場合） | |
| GBML\_brand | GBML\_typeパラメータがG-BOOK.05、G-BOOK.07~~および~~、G-BOOK.11およびG-BOOK.13の場合に限り、以下のブランド情報が通知される。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | TOYOTA | トヨタ | | LEXUS | レクサス | | MAZDA | マツダ | | SUBARU | スバル | |
| GBML\_CarSNo | 車載端末の場合に限り、車載端末シリアル番号（下11桁）が通知される。ただし、13車載端末の場合は通知されない。 |
| GBML\_DCM\_No | 車載端末の場合に限り、DCM電話番号が通知される。 |
| GBML\_CarSNo16 | 車載端末の場合に限り、車載端末シリアル番号（16桁）が通知される。 |
| GBML\_dpccartype | 車載端末の場合に限り、配車型式が通知される。 |
| GBML\_basetype | 車載端末の場合に限り、基本型式が通知される。 |
| GBML\_onetch | ワンタッチオペレータ対応車載端末であるかを示す。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | 0 | ワンタッチ非対 | | 1 | ワンタッチ対応 | |
| GBML\_espo | ESPo対応車載端末であるかを示す。   |  |  | | --- | --- | | 設定値 | 意味 | | 0 | ESPo非対応 | | 1 | ESPo対応 | |
| GBML\_InternalDeviceID | 13車載端末の場合に限り、内部デバイスIDが通知される。 |
| GBML\_InternalMemberID | 13車載端末の場合に限り、内部会員ID(Prefixなし)が通知される。 |

4．トップページ向け情報

G-BOOK.comボタン押下後にはじめに表示されるコンテンツ向けに以下の情報を加えて通知する。

| パラメータ名 | 内容 |
| --- | --- |
| Usr | ユーザ情報。車載端末から通知されるUsr引数を通知する。車載端末時のみ通知される。 |
| TCON | 契約情報フラグ。車載端末から通知されるTCON引数を通知する。車載端末時のみ通知される。 |
| gbookid05 | 車載端末形式のG-BOOK ID。05車載端末時のみ通知される。  05車載端末の場合…05車載端末形式の暗号化されたG-BOOK ID |
| gbookpw05 | 車載端末形式のG-BOOK PW。05車載端末時のみ通知される。  05車載端末の場合…05車載端末形式の暗号化されたG-BOOK PW |
| gbookid07 | 車載端末形式のG-BOOK ID。07、09、11、13車載端末時のみ通知される。  07車載端末の場合…07車載端末形式の暗号化されたG-BOOK ID |
| gbookpw07 | 車載端末形式のG-BOOK PW。07、09、11、13車載端末時のみ通知される。  07車載端末の場合…07車載端末形式の暗号化されたG-BOOK PW |

5．課金コンテンツ向け情報

有料コンテンツ取得時に動作する課金コンテンツに対してのみ、以下の情報を加えて通知する。

|  |  |
| --- | --- |
| パラメータ名 | 内容 |
| cpid | 課金チェックを行う対象のコンテンツのコンテンツプロバイダIDを通知する。 |
| contentsid | 課金チェックを行う対象のコンテンツのコンテンツIDを通知する。 |
| ratid | 課金チェックを行う対象のコンテンツの出展者料金IDを通知する。 |
| url | 課金チェックを行う対象のコンテンツのURLを通知する。 |
| GBML\_appflg | 課金チェックを行う対象のコンテンツのアプリ連携状態を通知する。  yes … アプリ連携中  no … アプリ連携以外 |

【注意事項】

* コンテンツ取得においては、HTTPのPOSTメソッドによる通信となります。このため、コンテンツ側は、必ず、Webアプリケーションとして実装する必要があります。G-BOOK ML中のURLとして、G-BOOK MLを記載したファイルを直接、指定することは出来ません。
* Cookieはサポートされません。コンテンツ側で明示的にSet-Cookieを行うことは許可されません。Set-Cookieを使用した場合の動作は保証されません。
* セッションを使用する場合、セッションタイムアウト時の考慮が必要となります。タイムアウト時には、コンテンツのトップ画面を表示する等をコンテンツ側で考慮願います。
* 入力系のテンプレート使用時の任意パラメータとしてパラメータ名を任意に指定することが可能ですが、本節に記載されている固定パラメータと同じパラメータ名を指定することはできません。また、今後の拡張に備え、”GBML\_”で始まるパラメータ名は使用しないでください。
* G-BOOK ML中に記載するURLに対して、GETの引数を付加することが可能です。しかし、GET/POSTのメソッドを意識せずに、情報を取得する場合、本節に記載されている固定パラメータ名と同じパラメータ名は正しく取得できなくなる可能性がありますので、パラメータ名を同じにしないでください。また、今後の拡張に備え、”GBML\_”で始まるパラメータ名は使用しないでください。

### レスポンス時の情報

【レスポンスヘッダ】

以下のレスポンスヘッダを付加する必要がある。

|  |  |
| --- | --- |
| パラメータ名 | 内容 |
| Content-Type | メディアタイプとして、text/xmlを指定する。charsetはUTF-8とする。 |

【レスポンスボディ】

G-BOOK ML(表示形式または、拡張形式)を返す。

拡張機能による情報取得のみを行い、結果の表示が行われない場合のみ空のレスポンスを返すことができる。

ただし、G-BOOK ML のwindow要素内での記述の場合(クライアントのボタン操作による動作)は、必ず、G-BOOK MLによるレスポンスを返すこと。

【ステータスコード】

G-BOOK ML 出力時 ：200 (OK)

空のレスポンス通知時 ：204 (No Content)

リダイレクト時 ：301 (Moved Permanently)

上記、以外のステータスコードが返された場合、エラーが発生したとみなす。エラー発生時は、以下のように振舞う。

画面送出時：

G-BOOK MLのwindow要素による動作時のエラー。エラー画面が表示される。

拡張機能送出時：

G-BOOK MLのcommon要素およびsub要素、その他の制御系機能による動作時のエラー。無視される。

## イメージ取得用通信

イメージ取得用通信は、以下の際に発生します。

* 画像の取得要求(G-BOOK MLのwindow要素内のimage要素の指定)が発生した場合
* アイコンテーブルの取得要求が発生した場合
* ジャンルテーブルの取得要求が発生した場合

CL

CP

イメージデータ

要求

イメージデータ出力

イメージ

データ

HTML

imgタグによる要求

HTTP GET

イメージ

データ

G-BOOK センター

### 要求時の通信手順

【プロトコルとメソッド】

プロトコル ：HTTPまたは、HTTPS

　　　　　　　　　05、07、09、11および~~11~~13車載端末のみlocal

メソッド ：GET

HTTPSによる通信は、コンテンツとして出力するG-BOOK ML中に記載するURLとして、”https://”から記載することで、自動的にSSLによる通信が行われます。

なお、SSLによる通信時は、以下の規定に基づいて動作します。

クライアント－センター間：

02、02Vup、03、05、07、09および11車載端末はhttpで通信。それ以外は、SSLによる通信を行う。

センター－コンテンツプロバイダ間：

センター内に配置されるコンテンツについては、httpで通信。外部に配置されるコンテンツについては、SSLによる通信を行う。

localプロトコルによる要求は、コンテンツとして出力するG-BOOK ML中に記載するURLとして、”local://”から記載することで、アプリケーションの呼び出しを可能とします。

【リクエストヘッダ】

特に無し。

【リクエストボディ】

特に無し。

GETによる引数は付加されない。コンテンツ側で明示的に指定されている場合のみ、そのまま付加される。

### レスポンス時の情報

【レスポンスヘッダ】

以下のレスポンスヘッダを付加する必要がある。

|  |  |
| --- | --- |
| パラメータ名 | 内容 |
| Content-Type | メディアタイプ。image/jpegなど |

【レスポンスボディ】

イメージデータ(画像データ、アイコンテーブルまたは、ジャンルテーブル)

【ステータスコード】

画像データ出力時 ：200 (OK)

上記、以外のステータスコードが返された場合、エラーが発生したとみなす。エラー発生時は、画像の表示は行われない。

# G-BOOK MLの構成

## 仕様

* XML宣言

XML宣言は以下のとおり。

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8” ?> |

## 基本構成

G-BOOK MLはgbml要素をルート要素とし、4つの主要な子要素から構成されます。

以下に基本構成を示す。



* gbml要素

G-BOOK MLのルート要素。G-BOOK MLは必ず、この要素から始まる。

* information要素

gbml要素の子要素。

G-BOOK ML自体を定義する要素。バージョン情報などを含む。

* common要素

gbml要素の子要素。

表示する画面に依存しない、画面全体の情報を含む。ウィンドウタイトルなどを設定。

aspファイルなどで出力された拡張機能のG-BOOK ML書式を指定することで、即時実行型の制御を行うことができる。

* window要素

gbmlの子要素。

表示画面を表現する情報。表示するテンプレートのタイプや含まれるボタン、そのボタンの機能などの情報を含む。aspファイルなどで出力された拡張機能のG-BOOK ML書式へのリンクを指定することで、ユーザ操作型、サブウィンドウ制御型の制御を行うことができる。携帯、M-modeでのサブウィンドウテキスト部分の表示文字列を指定できる。

* extent要素

gbmlの子要素。

拡張機能および制御機能のG-BOOK MLのに関する情報。G-BOOKブラウザを制御する（走行距離の取得や情報即時音声読上げ、地図表示など）。

## インフォメーションの指定

【説明】

G-BOOK ML全体の情報を指定するヘッダ情報は、information要素で記述します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| information |  | インフォメーションを表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| version |  | G-BOOK MLのバージョン情報を指定 | ○ | 1回 | G-BOOK ML 2.0においては2.0を指定する。 |
| cpid |  | コンテンツプロバイダを表す一意な識別子を指定 | ○ | 1回 | コンテンツプロバイダID |
| contentsid |  | コンテンツを表す一意な識別子を指定 | ○ | 1回 | コンテンツID |
| pageid |  | 表示するページを表す一意な識別子を指定 | × | 1回 | コンテンツ内でユニークなID |
| ratid |  | 出店者料金ID | × | 1回 | 出店者料金ID |
| uniqid |  | ユーザを一意に識別するユニークなIDを指定 | ○ | 1回 | センターよりPOSTされる情報をそのまま指定する。 |
| appflg |  | アプリ連携状態を指定 | × | 1回 | yes … アプリ連携中  no … アプリ連携でない |

【注意事項】

* G-BOOK ML 2.0で記載するコンテンツはversion要素に必ず、2.0を指定する必要があります。
* version要素が省略された場合は1.0として扱います。
* cpid要素に指定するコンテンツプロバイダIDは運用者によって割り当てられます。
* contentsid要素に指定するコンテンツIDは運用者によって割り当てられます。
* pageid要素は、コンテンツ内でユニークなIDを各コンテンツプロバイダで割り当てます。
* pageid要素はコンテンツページ一意な値として、内部情報生成に使用されます。省略可能ですが、Gメモリ地点登録を行うコンテンツでは、基本的には指定してください。
* ratid要素に指定する出店者料金IDは運用者によって割り当てられます。有料コンテンツは必ず、ratid要素を指定する必要があります。
* uniqidは、リクエストを受け付けた際に、POSTのパラメータとして渡されます。コンテンツでは、渡されたuniqidをそのまま指定します。
* appflg要素にyesを指定した場合、定期課金CPに対しアプリ連携状態を通知します。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <gbml>  <information>  <version>2.0</version>  <cpid>H001</cpid>  <contentsid>H001-1234</contentsid>  <pageid>05212345678</pageid>  <ratid></ratid>  <uniqid>2972943,key</uniqid>  <appflg>no</appflg>  </information>  <common>...</common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

## コンテンツ共通情報の指定

コンテンツに関する共通情報は、common要素で記述します。コンテンツ共通情報としては、以下の指定を行います。

* タイトルの指定。画面表示時のタイトルとして表示する文字を指定します。
* 拡張機能の指定。画面表示時に即時実行する拡張機能を指定します。
* キャッシュの指定。車載端末固有の永続キャッシュへの登録や、通常のクライアントへのキャッシュ登録を指定します。
* 走行規制の指定。車載端末における走行規制の設定/解除を行います。
* 再描画の指定。自動的な画面の再描画を行います。
* 自動電話発呼の指定。画面表示時に、自動的に電話を掛けます。

### タイトルの指定

【説明】

表示画面に対して、タイトルを指定します。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| title |  | 画面表示の際のタイトル上を指定 | × | 1回 | タイトル表示文字列。省略した場合、タイトルは表示されない。 |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | － | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。 |
| M-Mode | － | 使用可能。 |

【注意事項】

* 指定可能な長さについては、デバイスに依存します。長い場合は、後ろが表示されません。全角で10文字程度での指定を推奨します。
* 03車載端末においては、title要素を省略することで車載端末のリクエスト履歴(ヒストリ)に残さない制御が可能となります。車載端末のリクエスト履歴に残す必要のないコンテンツ(e.g.CDFコンテンツ)は本要素を省略してください。
* テンプレート22においては、タイトルバーに画像が表示されるため、指定可能な長さが異なります。※車載機側に確認後、記述

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### 拡張機能の指定

【説明】

拡張機能を指定します。

common要素内で、拡張機能を指定することにより、即時実行型として指定の拡張機能が動作します。

拡張機能についての詳細および、指定可能な拡張機能については、「6拡張機能」を参照のこと。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

extent要素を用いて直接、拡張機能を指定する方法と、command/link要素を用いて、拡張機能へのURLを指定する方法の両方を可能とします。どちらか一方の指定および、両方の指定が可能です。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | inline | インラインを示す属性 | × | 1回 | yes … インラインする  no … インラインしない  省略時はyes |
| 拡張機能 |  | 拡張機能を示すタグセット | ○ | 1回  以上 | 拡張機能を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回  以上 | なし |
|  | inline | インラインを示す属性 | × | 1回 | yes … インラインする  no … インラインしない  省略時はyes |
|  | url | 拡張機能への遷移先のURL | ○ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定。 |
|  | contentsid |  |  |  |  |
| func |  | 遷移先の機能を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。inline属性は無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。inline属性は無視される。 |
| 03 | 使用可能。inline属性は無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | － | 無視される。inline属性は無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。inline属性は無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。inline属性は無視される。 |

【注意事項】

* extent要素内には、拡張機能を示すG-BOOK MLのタグセットを記述します。個々の機能については、「6拡張機能」を参照してください。
* コンテンツ表示機能として出力するG-BOOK MLに対してのみ指定することが可能あり、拡張機能として出力するG-BOOK MLには指定することはできません。指定された場合、無視されます。
* 組み合わせの指定により、組み合わせ不可の拡張機能を同時に指定する場合は、extent要素を複数記載してください。
* 05車載端末にてインラインしない場合の指定方法は、「7.5.1即時実行指定」を参照してください。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <extent>  <download>  <voice>  <vitem>  <vtitle>ようこそ</vtitle>  <vtext>G-BOOK.comへようこそ。G-BOOK.comでは…</vtext>  </vitem>  </voice>  </download>  </extent>  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### キャッシュの指定

【説明】

クライアントに対するキャッシュの方式を指定します。永続キャッシュと通常キャッシュの指定が可能です。

永続キャッシュの場合、車載端末に対してのみ有効な指定となります。その他のデバイスでは通常キャッシュとみなされます。

通常キャッシュでは、センターで決められた一定期間内でのクライアントキャッシュとなります。また、キャッシュ指定のあるG-BOOK MLからリンクされる画像についても、同様にキャッシュの対象となります。

本要素を省略した場合、クライアントに対するキャッシュは行われません。

コンテンツ表示機能(5章を参照)の指定および、拡張機能 (第6章を参照)のいずれの指定においても使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| cache |  | キャッシュの指定を表す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | キャッシュへの登録を指定。 | ○ | 1回 | perm :永続キャッシュへ登録  normal :通常キャッシュへ登録  省略時はキャッシュへ登録しない |
|  | expire | 通常キャッシュ指定時のキャッシュの有効期間を指定。 | × | 1回 | キャッシュの有効期間を分単位で指定。  省略時は、システムのデフォルトを採用。 |
|  | target | キャッシュ対象を指定 | × | 1回 | all : ページ、AUTO-ML、 スタイルシート、 JavaScript、 イメージがキャッシュ対象  page : ページ、AUTO-MLのみ キャッシュ対象  parts : スタイルシート、 JavaScript、 イメージがキャッシュ対象  省略時はall  type属性がpermの場合のみ有効 |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | expire、target属性は無視されます。 |
| 02Vup | expire、target属性は無視されます。 |
| 03 | target属性は無視されます。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | － | type属性のperm指定はnormal指定と解釈される。  target属性は無視されます。 |
| ケイタイ | － | type属性のperm指定はnormal指定と解釈される。  target属性は無視されます。 |
| M-Mode | － | type属性のperm指定はnormal指定と解釈される。  target属性は無視されます。 |

【注意事項】

* type属性は、cache要素が省略された場合のみ省略可能です。
* 永続キャッシュの使用につきましては、G-BOOKセンター全体での管理が必要となります。十分な配慮の上、ご使用ください。
* expire属性を省略した場合のデフォルト値は、センター運用者によって決定されます。
* target属性は、type属性がpermで指定された場合のみ有効となります。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <cache type=”normal” expire=”60” target=”all” />  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### 走行規制の指定

【説明】

走行規制の設定/解除を行います。

車載端末に対してのみ有効な指定となります。その他のデバイスでは無視されます。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| runregulation |  | 走行規制の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 走行規制の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :走行規制設定  off :走行規制解除  mid :部分走行規制  省略時はon |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| 05 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| 07 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| 09 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| 11 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| 13 | 使用可能。ただし、type属性へのmid指定はon指定と解釈する。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | － | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* type属性は、runregulation要素が省略された場合のみ省略可能です。
* 走行規制の解除につきましては、G-BOOKセンター全体での管理が必要となります。十分な配慮の上、ご使用ください。
* type属性にmidを指定した場合、走行規制時にf\_key部分が見えないようにマスク処理されます。表示されなくなる範囲はテンプレートと密接に関連します。十分な配慮の上、ご使用ください。また、テンプレートの変更が行われた場合は、必ずmidを指定したコンテンツに影響がないか確認をお願いいたします
* テンプレート12/13に対するtype属性へのmid指定は許可されません。必ず、onまたはoffを指定してください。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <runregulation type=”off” />  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### 再描画の指定

【説明】

画面の再描画を行います。現在、表示中の画面または、指定のURLを自動的に表示します。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| refresh |  | 再描画の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | interval | 描画間隔のインターバル値を設定 | ○ | 1回 | インターバル値を半角数字で秒単位で1以上の整数値を指定します。 |
|  | url | 取得先コンテンツのURLを指定 | × | 1回 | 遷移先のURLを指定します。省略時は、表示中の画面を再取得します。 |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | － | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 使用可能。 |

【注意事項】

* 時間のかかるコンテンツにおいて、一旦、レスポンスを返し、再度、該当のコンテンツへのリクエスト(「お待ちください」画面の表示など)が可能となります。ただし、本機能は、デバイスによっては、無視されますので、自動的なリクエストが発生しない場合を考慮し、再描画ボタンの設置などの対応を必ず行ってください。
* url属性に拡張機能へのURLを指定することはできません。
* 拡張機能との併用は推奨されません。interval属性にある程度、余裕のある時間を指定することで、その間に拡張機能が動作する可能性はありますが、通信の状態に依存するため保障されません。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <refresh interval=”10” />  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### 自動電話発呼の指定

【説明】

画面表示と同時に、電話をかけます。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| command |  | 動作を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| tel |  | 電話番号を指定 | △ | 1回 | 発呼先の電話番号を指定します。  電話番号は、半角数字のみで市外局番から指定します。 |
|  | confirm | 電話をかける際の発呼確認の制御 | × | 1回 | yes :確認を行う  no :確認を行わない  省略時はno |
|  | url | 電話発呼時の動作として同時にアップロードするURLを指定 | × | 1回 | 拡張機能のダイアグ情報の取得のG-BOOK MLへのURL |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。ただし、confirm属性にyes”を指定しても、”no”が指定された場合と同じ動作となる。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | － | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>メンテナンスサービス</title>  <command>  <tel>0521234567</tel>  </command>  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### 履歴制御の指定

【説明】

履歴制御の設定/解除を行います。

05車載端末に対してのみ有効な指定となります。その他のデバイスでは無視されます。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| historyctrl |  | 履歴制御を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 履歴制御の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :履歴制御設定  off :履歴制御解除  省略時はoff |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | － | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* type属性は、historyctrl要素が省略された場合のみ省略可能です。
* 履歴保存の対象となったとしても本機能で対象外と指定された場合は本機能を優先します。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <historyctrl type=”on” />  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

# コンテンツ表示機能

G-BOOK MLでは、G-BOOKセンターが提供するテンプレートベースの画面を階層化し表現します。

以下に主要な要素と対応する画面位置のイメージを示します。



図 2　画面と要素の構成(03車載端末の場合)

画面全体をあらわすwindow要素の中に、メインウィンドウを表すmain要素と、サブウィンドウ/サブウィンドウテキストを表すsub要素が存在します。メインウィンドウには、メインウィンドウのテンプレートタイプを表すtemplate属性があり、さらに子要素として主表示域を表すcenter要素とファンクションキーを表すf\_key要素を持ちます。

center要素の中には、メインウィンドウの主表示域中に表示するボタン、詳細情報(文字列)、画像データなどを示すobject要素があります。また、f\_key要素の配下には、機能ボタンを示すbutton要素があります。

階層構造では以下のように表されます。

window

main

template

center

object

f\_key

sub

button

template属性は、画面のテンプレートタイプを表します。属性としてidを持ち、値としてテンプレートのタイプ番号を指定します。テンプレートのid属性により、表示される画面が決定します。

テンプレートのタイプと内容、指定方法を以下に示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| テンプレートタイプ | テンプレートの内容 | 指定方法 |
| テンプレートタイプ0 | 廃止 | － |
| テンプレートタイプ1 | アイコンなしリスト | <template id=”1”> |
| テンプレートタイプ2 | 廃止 | － |
| テンプレートタイプ3 | アイコンなし大ボタン | <template id=”3”> |
| テンプレートタイプ4 | 詳細画面 | <template id=”4”> |
| テンプレートタイプ5 | フルイメージ | <template id=”5”> |
| テンプレートタイプ6 | 廃止 | － |
| テンプレートタイプ7 | テキスト入力 | <template id=”7”> |
| テンプレートタイプ8 | チェックボックス | <template id=”8”> |
| テンプレートタイプ9 | ラジオボタン | <template id=”9”> |
| テンプレートタイプ10 | スクロール付詳細画面 | <template id=”10”> |
| テンプレートタイプ11 | 大テキスト入力 | <template id=”11”> |
| テンプレートタイプ12 | クイックモード画面 | <template id=”12”> |
| テンプレートタイプ13 | 走行規制非対応画面 | <template id=”13”> |
| テンプレートタイプ14 | 詳細リスト画面 | <template id=”14”> |
| テンプレートタイプ15 | リスト入れ替え画面 | <template id=”15”> |
| テンプレートタイプ16 | 今日明日の天気用画面 | <template id=”16”> |
| テンプレートタイプ17 | 週間天気用画面 | <template id=”17”> |
| テンプレートタイプ18 | 画像付リスト画面 | <template id=”18”> |
| テンプレートタイプ19 | 画像付詳細画面 | <template id=”19”> |
| テンプレートタイプ20 | エラー表示画面 | <template id=”20”> |
| テンプレートタイプ21 | ラベル付きテキスト入力 | <template id=”21”> |
| テンプレートタイプ22 | ローカルサーチ表示画面 | <template id=”22”> |

## テンプレート0

テンプレート0は廃止となります。

指定された場合、テンプレート20として扱われます。

## テンプレート1

【説明】

テンプレート1では、リスト画面の表示機能を提供します。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

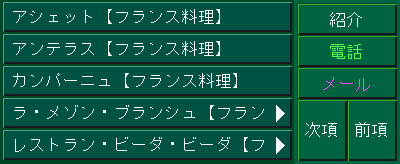


図3　テンプレート1の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”1”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 表示する各文字を表す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定する。 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 02Vup | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 03 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 05 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | objectの表示個数に制限はなく、スクロールバーにてスクロール表示。 |
| PC | 02イメージ | 車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | 車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | 車載端末の05に準拠する。 |
| 07イメージ | 車載端末の07に準拠する。 |
| 11イメージ | 車載端末の11に準拠する。 |
| ケイタイ | － | objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |
| M-Mode | － | objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |

【注意事項】

* object属性は、登場順に表示されます。
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>リスト１</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list1.asp”/>  </command>  </object>  <object>  <text>リスト２</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list2.asp”/>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button1.asp”/>  </command>  </button>  <button id=”5”>  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button5.asp”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート2

G-BOOK ML 2.0では、テンプレート2は廃止となります。

指定された場合、テンプレート1として扱われます。

## テンプレート3

【説明】

テンプレート３では、大ボタン画面の表示機能を提供します。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

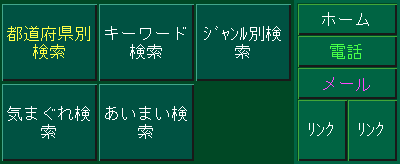


図 4　テンプレート3の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”3”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を全角10文字(1行5文字×2行)、半角20文字(1行10文字×2行）以内で指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定。 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | 共通 | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | テンプレート1と同様のデザインで表示。 |
| M-Mode | － | テンプレート1と同様のデザインで表示。 |

【注意事項】

* objectは一度に6つまで表示可能。以降は無視される
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* ワードラップ、禁則処理により、常に規定の文字数/行数が表示できるとは限りません。また、複数行にわたって表示する場合、禁則処理が行われるので注意が必要です。禁則処理については、「8.1禁則処理」を参照のこと。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id="3">  <center>  <object>  <text>ボタン１</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp”/>  </command>  </object>  <object>  <text>ボタン２</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button2.asp”/>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp”/>  </command>  </button>  <button id="5">  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button5.asp”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート4

【説明】

テンプレート4では、テキストによる詳細画面の表示機能を提供します。詳細画面では、中央の表示部分に文字データの表示を行い、アクションを伴う動作はボタンでのみ行うことが可能となります。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

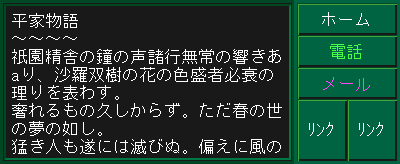


図 5　テンプレート4の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”4”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示する場所を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | 表示する文字列を指定 |
|  | voice | 自動読み上げの動作を指定 | × | 1回 | 5.24.5　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 表示可能文字数は最大全角120文字(1行全角15文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 02Vup | 表示可能文字数は最大全角120文字(1行全角15文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 03 | 表示可能文字数は最大全角128文字(1行全角16文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 05 | 表示可能文字数は最大全角128文字(1行全角16文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 07 | 表示可能文字数は最大全角128文字(1行全角16文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 09 | 表示可能文字数は最大全角128文字(1行全角16文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 11 | 表示可能文字数は最大全角128文字(1行全角16文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| 13 | 表示可能文字数は最大全角128文字(1行全角16文字×8行)。画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| Pocket G-BOOK | － | 画面サイズを超える文字は表示されません。 |
| PC | 02イメージ | 車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | 車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | 車載端末の05に準拠する。 |
| 07イメージ | 車載端末の07に準拠する。 |
| 11イメージ | 車載端末の11に準拠する。 |
| ケイタイ | － | クライアントのスクロール機能により全て表示可能。 |
| M-Mode | － | クライアントのスクロール機能により全て表示可能。 |

【注意事項】

* button/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* ワードラップ、禁則処理により、常に規定の文字数/行数が表示できるとは限りません。また、複数行にわたって表示する場合、禁則処理が行われるので注意が必要です。禁則処理については、「8.1禁則処理」を参照のこと。
* 文字間の間隔を一定に保つため、半角で指定した場合に、必ず全角文字数の倍の文字数を1行には表示できるとは限りません。

【記載例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id="4">  <center>  <object>  <text>詳細画面に表示する文字列</text>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp”/>  </command>  </button>  <button id="5">  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button5.asp”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート5

【説明】

テンプレート5では、中央の表示部分に画像による表示機能を提供します。画像データの表示のみであり、アクションを伴う動作はボタンでのみ行うことが可能となります。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。



図 6　テンプレート5の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”5”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するオブジェクトを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| image |  | 表示する画像 | ○ | 1回以上 | 表示する画像へのURLをフルパスで指定 |
|  | type | 表示画像の形式 | ○ | 1回 | 5.24.6　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。画像出力においては、W280pix X H151pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 02Vup | 使用可能。画像出力においては、W280pix X H151pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 03 | 使用可能。画像出力においては、W283pix X H152pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 05 | 使用可能。画像出力においては、W283pix X H152pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 07 | 使用可能。画像出力においては、W283pix X H152pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 09 | 使用可能。画像出力においては、W283pix X H152pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 11 | 使用可能。画像出力においては、W283pix X H152pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 13 | 使用可能。画像出力においては、W283pix X H152pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | 02イメージ | 車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | 車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | 車載端末の05に準拠する。画像出力において、画面幅を超える場合は、縦スクロールバーが表示される。横方向はセンタリングされて表示。 |
| 07イメージ | 車載端末の07に準拠する。画像出力において、画面幅を超える場合は、縦スクロールバーが表示される。横方向はセンタリングされて表示。 |
|  | 11イメージ | 車載端末の11に準拠する。画像出力において、画面幅を超える場合は、縦スクロールバーが表示される。横方向はセンタリングされて表示。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。 |
| M-Mode | － | 使用可能。 |

【注意事項】

* 表示可能な画像種別は、「5.24.6画像の自動選択機能」を参照のこと
* button/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <template id="5">  <center>  <object>  <image　type=”swf”>http://\*\*\*/contents/flash.swf</image>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp”/>  </command>  </button>  <button id="5">  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button5.asp”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート6

G-BOOK ML 2.0では本テンプレートは廃止となります。

テンプレート1として表示されます。

## テンプレート7

【説明】

テンプレート7では、テキスト入力の画面を提供します。入力した情報は、POSTメソッドにより、指定されたURLに対して送信されます。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。



図 7　テンプレート7の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”7”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| input |  | 入力フィールドを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| name |  | POST情報受信時の変数名 | ○ | 1回 | 変数名を指定 |
| value |  | 初期値 | × | 1回 | 変数名に対する初期値を指定 |
| mode |  | 入力モードを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | password | パスワード文字を示す指定 | × | 1回 | off :表示する  on :非表示とする  省略時はoff |
|  | length | 入力可能な長さの指定 | × | 1回 | 長さを指定  省略時は、長さによるチェックは行わない。 |
|  | keyhistory | ソフトウエアキーボードの入力履歴制御を示す属性 | × | 1回 | yes :入力履歴に残す  no :入力履歴に残さない  省略時はno  password属性にonが指定された場合、この属性値は無視されnoが指定された扱いとなる |
| style |  | 入力可能文字の指定 | × | 1回  以上 | JPの場合  double :全角文字  kana :半角カナ  alpha :半角英字/記号  numeric :半角数字  省略時はすべて入力可能。また、先頭に記載された情報をデフォルトの入力として採用する。 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | ○ | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | submit :送信操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | reset :取り消し操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | mode要素は無視。  objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角18文字、半角32文字としが、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 02Vup | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角18文字、半角32文字としが、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 03 | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角32文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 05 | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角32文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角32文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角32文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角32文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | objectは一度に3つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角32文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | mode/style属性は無視される。  objectの表示個数に制限はなく、スクロールバーでスクロール表示。 |
| PC | 02イメージ | mode/style要素は、指定値が、”double”または”kana”の場合に倍角入力を許可し、”alpha”または”numeric”の場合に、倍角入力を抑止する。  objectの数、文字数については、車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | mode/style要素は、指定値が、”double”または”kana”の場合に倍角入力を許可し、”alpha”または”numeric”の場合に、倍角入力を抑止する。  objectの数、文字数については、車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | mode/style要素は、指定値が、”double”または”kana”の場合に倍角入力を許可し、”alpha”または”numeric”の場合に、倍角入力を抑止する。  objectの数、文字数については、車載端末の05に準拠する。 |
| 07イメージ | mode/style要素は、指定値が、”double”または”kana”の場合に倍角入力を許可し、”alpha”または”numeric”の場合に、倍角入力を抑止する。  objectの数、文字数については、車載端末の07に準拠する。 |
| 11イメージ | mode/style要素は、指定値が、”double”または”kana”の場合に倍角入力を許可し、”alpha”または”numeric”の場合に、倍角入力を抑止する。  objectの数、文字数については、車載端末の11に準拠する。 |
| ケイタイ | － | mode/@length属性は一律、2倍として扱われる。また、mode/style要素は、入力モードの初期値とし、モードの切り替えを抑止しません。  objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |
| M-Mode | － | mode/@length属性は一律、2倍として扱われる。また、mode/style属性は無視される。  objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |

【注意事項】

* button要素の動作として、必ずcommand/action/@typeにsubmitをひとつ指定すること
* その他のボタンに対して、他のテンプレートと同様の操作を指定することが可能
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* name要素に指定するパラメータ名は、「3.1.1要求時の通信手順」で示した固定パラメータ名と重複しない文字列を指定する必要があります。

【使用例】

|  |
| --- |
| <template id="7">  <center>  <object>  <text>お名前</text>  <command>  <input>  <name>name</name>  <mode>  <style>double</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>ﾌﾘｶﾞﾅ</text>  <command>  <input>  <name>name</name>  <mode>  <style>kana</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>年齢</text>  <command>  <input>  <name>age</name>  <mode>  <style>numeric</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>パスワード</text>  <command>  <input>  <name>pass</name>  <mode password=”on” length=”10”>  <style>alpha</style>  <style>numeric</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>ご感想</text>  <command>  <input>  <name>comments</name>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://*domain\_name*/send.asp” type="submit" />  </command>  </button>  <button id="2">  <text>クリア</text>  <command>  <action type="reset"/>  </command>  </button>  <button id="4">  <text>prev</text>  <command>  <scroll type="prev"/>  </command>  </button>  <button id="5">  <text>next</text>  <command>  <scroll type="next"/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート8

【説明】

テンプレート8では、チェックボックスの画面を提供します。入力した情報は、POSTにメソッドにより指定されたURLへ通知されます。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

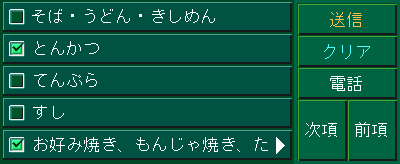


図 8　テンプレート8の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”8”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| input |  | 入力フィールドを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | check | 初期設定値 | × | 1回 | on :チェック  off :未チェック  省略時はoff |
| name |  | POST情報受信時の変数名 | ○ | 1回 | 変数名を指定 |
| value |  | POST時の送信値 | ○ | 1回 | 送信される値を指定 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | ○ | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | submit :送信操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 |  |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | reset :取り消し操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角29文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 02Vup | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角29文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 03 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 05 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | objectの表示個数に制限はなく、スクロールバーにてスクロール表示。 |
| PC | 02イメージ | 車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | 車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | 車載端末の05に準拠する。 |
| 07イメージ | 車載端末の07に準拠する。 |
| 11イメージ | 車載端末の11に準拠する。 |
| ケイタイ | － | objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |
| M-Mode | － | objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |

【注意事項】

* button要素の動作として、必ずcommand/action/@typeにsubmitをひとつ指定すること
* その他のボタンに対して、他のテンプレートと同様の操作を指定することが可能
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* name要素に指定するパラメータ名は、「3.1.1要求時の通信手順」で示した固定パラメータ名と重複しない文字列を指定する必要があります。

【使用例】

|  |
| --- |
| <template id="8">  <center>  <object>  <text>チェックボックス１</text>  <command>  <input check="off">  <name>checkbox1</name>  <value>on</value>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>チェックボックス２</text>  <command>  <input check="off">  <name>checkbox2</name>  <value>on</value>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://\*\*\*/contents/send.asp” type="submit" />  </command>  </button>  <button id="5">  <text>クリア</text>  <command>  <action type="reset"/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート9

【説明】

テンプレート9では、ラジオボタンの画面を提供します。入力した情報は、POSTメソッドにより指定のURLへ送信されます。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

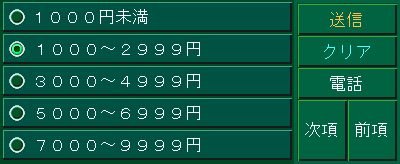


図 9　テンプレート9の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”9”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| input |  | 入力フィールドを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | check | 初期設定値 | × | 1回 | on :選択  off :非選択  省略時はoff |
| name |  | POST情報受信時の変数名 | ○ | 1回 | 変数名を指定 |
| value |  | POST時の送信値 | ○ | 1回 | 送信される値を指定。 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | ○ | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | submit :送信操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 |  |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | reset :取り消し操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角29文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 02Vup | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角16文字、半角29文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 03 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 05 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、最大全角15文字、半角28文字とし、越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | objectの表示個数に制限はなく、スクロールバーにてスクロール表示。 |
| PC | 02イメージ | 車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | 車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | 車載端末の05に準拠する。 |
| 07イメージ | 車載端末の07に準拠する。 |
| 11イメージ | 車載端末の11に準拠する。 |
| ケイタイ | － | objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |
| M-Mode | － | objectの表示個数に制限はなく、ブラウザのスクロール機能にてスクロール表示。 |

【注意事項】

* button要素の動作として、必ずcommand/action/@typeにsubmitをひとつ指定すること
* その他のボタンに対して、他のテンプレートと同様の操作を指定することが可能
* check属性のon指定は、各object要素内で一度のみ指定可能
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* name要素に指定するパラメータ名は、「3.1.1要求時の通信手順」で示した固定パラメータ名と重複しない文字列を指定する必要があります。

【使用例】

|  |
| --- |
| <template id="9">  <center>  <object>  <text>ラジオボタン１</text>  <command>  <input check="on">  <name>radiobutton1</name>  <value>on</value>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>ラジオボタン２</text>  <command>  <input check="off">  <name>radiobutton2</name>  <value>on</value>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://\*\*\*/contents/send.asp” type="submit"/>  </command>  </button>  <button id="5">  <text>クリア</text>  <command>  <action type="reset"/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート10

【説明】

テンプレート10では、テキストによる詳細画面の表示機能を提供します。詳細画面では、中央の表示部分に文字データの表示を行い、アクションを伴う動作はボタンでのみ行うことが可能となります。

同様にテキストによる詳細画面を表示するテンプレート４との相違点は、表示文字数の制限値になります。テンプレート10では、画面を越える文字はスクロールして表示することが可能です。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

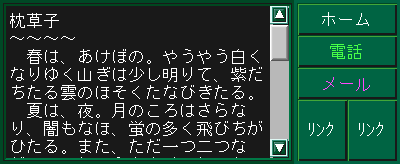


図 10　テンプレート10の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”10”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示する場所を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | 表示する文字列を指定 |
|  | voice | 自動読み上げの動作を指定 | × | 1回 | 5.24.5　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | 共通 | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。 |
| M-Mode | － | 使用可能。 |

【注意事項】

* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* button/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【記載例】

|  |
| --- |
| <template id="10">  <center>  <object>  <text>○○様  ○×商事の××でございます。お世話になります。  先日は、お忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。….</text>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp” />  </command>  </button>  <button id="5">  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp” />  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート11

【説明】

テンプレート11では、大テキスト入力の画面を提供します。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

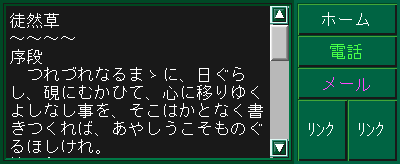


図 11　テンプレート１１の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”11”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| input |  | 入力フィールドを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| name |  | POST情報受信時の変数名 | ○ | 1回 | 変数名を指定 |
| value |  | 初期値 | × | 1回 | 変数名に対する初期値を指定 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | ○ | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | submit :送信操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | reset :取り消し操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | 共通 | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。 |
| M-Mode | － | 使用可能。 |

【注意事項】

* button要素の動作として、必ずcommand/action/@typeにsubmitをひとつ指定すること
* その他のボタンに対して、他のテンプレートと同様の操作を指定することが可能
* button/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* name要素に指定するパラメータ名は、「3.1.1要求時の通信手順」で示した固定パラメータ名と重複しない文字列を指定する必要があります。

【使用例】

|  |
| --- |
| <template id="11">  <center>  <object>  <command>  <input>  <name>text1</name>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://\*\*\*/contents/send.asp” type="submit" />  </command>  </button>  <button id="5">  <text>クリア</text>  <command>  <action type="reset"/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート12

【説明】

テンプレート12では、コンテンツのトップとして使用されるページ(クイックモード)専用の表示機能を提供します。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

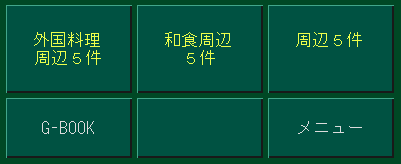


図 12　テンプレート12の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

テンプレート12では、画面上位の3つのボタンを、center/object要素で表現し、画面下位の3つのボタンをf\_key/button要素で表現します。

画面下位の左、中央、右の3つのボタンのうち、左側のボタンに関する指定はありません。自動的に制御されます。本ボタンは、「G-BOOK」と表現され、マイメニューへの遷移を行うボタンとなります。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”12”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| runregulation |  | 該当オブジェクトの走行規制の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし  要素省略時は、common要素で指定された走行規制の設定に従う |
|  | type | 走行規制の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :走行規制設定  off :走行規制解除 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | “2”を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| runregulation |  | 該当ボタンの走行規制の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし  要素省略時は、common要素で指定された走行規制の設定に従う |
|  | type | 走行規制の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :走行規制設定  off :走行規制解除 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | “3”を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | × | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定。省略時は「メニュー」を表示。 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | ○ | 1回 | コンテンツTOPへのURLをフルパスで指定 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| runregulation |  | 該当ボタンの走行規制の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし  要素省略時は、common要素で指定された走行規制の設定に従う |
|  | type | 走行規制の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :走行規制設定  off :走行規制解除 |

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 02Vup | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 03 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 05 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 07 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 09 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 11 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| 13 | runregulation要素を省略した場合、または、type属性にonを指定しない場合、表示中の文字色が変化するのみであり、走行規制の制御は無効となります。common要素でのみ走行規制の設定を行うことが可能です。  サブウィンドウは使用できません。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 共通 | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* objectは一度に3つまで表示可能。以降は無視されます。
* ボタン内に表示される文字には、改行は使用できません。
* common要素内の走行規制の指定として、type=”mid”の指定は許可されません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common>  <runregulation type=”off” />  </common>  <window>  <main>  <template id="12">  <center>  <object>  <text>周辺5件</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp”/>  </command>  </object>  <object>  <text>リスト20件</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button2.asp”/>  </command>  <runregulation type=”on” />  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="3">  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/menu.asp”/>  </command>  <runregulation type=”on” />  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート13

【説明】

テンプレート13では、走行中でも表示可能な画面の表示機能を提供します。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージはテンプレート12と同じになります。テンプレート12を参照してください。

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

テンプレート13では、画面上位の3つのボタンを、center/object要素で表現し、画面下位の3つのボタンをf\_key/button要素で表現します。

基本的には、テンプレート12と同様ですが、ボタンの内容を自由に指定できるようになります。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”13”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| runregulation |  | 該当オブジェクトの走行規制の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし  要素省略時は、common要素で指定された走行規制の設定に従う |
|  | type | 走行規制の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :走行規制設定  off :走行規制解除 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | “1”,”2”または”3”を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| runregulation |  | 該当ボタンの走行規制の設定を示す親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時は、common要素で指定された走行規制の設定に従う。 |
|  | type | 走行規制の設定/解除の指定 | ○ | 1回 | on :走行規制設定  off :走行規制解除 |

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | テンプレート12を参照のこと。 |
| 02Vup | テンプレート12を参照のこと。 |
| 03 | テンプレート12を参照のこと。 |
| 05 | テンプレート12を参照のこと。 |
| 07 | テンプレート12を参照のこと。 |
| 09 | テンプレート12を参照のこと。 |
| 11 | テンプレート12を参照のこと。 |
| 13 | テンプレート12を参照のこと。 |
| Pocket G-BOOK | － | テンプレート12を参照のこと。 |
| PC | 共通 | テンプレート12を参照のこと。 |
| ケイタイ | － | テンプレート12を参照のこと。 |
| M-Mode | － | テンプレート12を参照のこと。 |

【注意事項】

* 本テンプレートを使用したコンテンツ作成につきましては、コンテンツの作成指針に従ってご使用ください。
* その他の注意事項はテンプレート12を参照のこと。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common>  <extent>  <download>  <vrec\_con>  <ritem>  <link url=”http://domain\_name/daiichi\_hotel.asp” />  <rtext>ｼｮｳｻｲ</rtext>  </ritem>  </vrec\_con>  <vrec\_con>  <ritem>  <link url=”http://domain\_name/daiichi\_hotel\_map.asp” >  　　　　　 　　　　　<func name=”poi\_disp”>  </link>  <rtext>ﾁｽﾞ</rtext>  </ritem>  </vrec\_con>  </download>  </extent>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/poi\_disp.asp”>  <func name=”poi\_disp”>  </link>  </command>  　</common>  <window>  <main>  <template id="13">  <center>  <object>  <text>マイメニュー</text>  <command>  <link page="mymenu"/>  </command>  </object>  <object>  <text>トップ</text>  <command>  <link url="http://*domain\_name*/contents/top.asp"/>  </command>  </object>  <object>  <text>地図</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/poi\_disp.asp”>  　　　　　 <func name=”poi\_disp”>  　　　</link>  </command>  </object>  </center>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート14

【説明】

テンプレート14では、テキストによる詳細画面とリスト画面の表示機能を提供します。

詳細画面を越える文字はスクロールして表示することが可能です。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

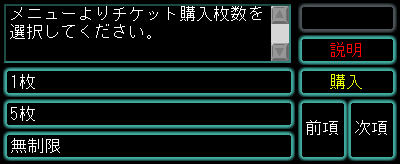


図13　テンプレート14の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | | 本テンプレートでは”14”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | | なし |
|  | lnumber | リストボタン数を示す属性 | × | 1回 | 1～4を指定。  省略時は、3 | |
|  | scroll | スクロールバーの有無を示す属性 | × | 1回 | on … スクロールバーあり  off … スクロールバーなし  省略時は、on | |
| object |  | 中央画面に表示する場所を示す親要素 | ○ | 1回 | object要素の1番目は、中央画面に表示する情報を示す。 | |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | 表示する文字列を指定 | |
|  | voice | 自動読み上げの動作を指定 | × | 1回 | 5.24.5　節を参照 | |
| object |  | 表示する各文字を表す親要素 | ○ | 1回  以上 | | object要素の2番目以降は、リストボタンに表示する情報を示す。 |
| text |  | 表示文字を指定する。 | ○ | 1回 | | ボタン上に表示する文字を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | | 0　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | | 5.24.7　節を参照 |
|  | historyback | ヒストリーバックを指定 | △ | 1回 | | 5.24 節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 使用不可。 |
| 05 | 詳細表示部分に表示可能な文字数は、最大全角64文字(1行全角16文字×1～4行)。  表示可能文字列を超える文字は、スクロールバーあり指定の場合のみスクロールバーにより表示。  リストボタン部分のobjectは一度に1つ～4つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | 詳細表示部分に表示可能な文字数は、最大全角64文字(1行全角16文字×1～4行)。  表示可能文字列を超える文字は、スクロールバーあり指定の場合のみスクロールバーにより表示。  リストボタン部分のobjectは一度に1つ～4つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | 詳細表示部分に表示可能な文字数は、最大全角64文字(1行全角16文字×1～4行)。  表示可能文字列を超える文字は、スクロールバーあり指定の場合のみスクロールバーにより表示。  リストボタン部分のobjectは一度に1つ～4つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | 詳細表示部分に表示可能な文字数は、最大全角64文字(1行全角16文字×1～4行)。  表示可能文字列を超える文字は、スクロールバーあり指定の場合のみスクロールバーにより表示。  リストボタン部分のobjectは一度に1つ～4つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | 詳細表示部分に表示可能な文字数は、最大全角64文字(1行全角16文字×1～4行)。  表示可能文字列を超える文字は、スクロールバーあり指定の場合のみスクロールバーにより表示。  リストボタン部分のobjectは一度に1つ～4つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角16文字、半角30文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 使用不可。 |
| 03イメージ | 使用不可。 |
| 05イメージ | 使用不可。 |
| 07イメージ | 使用不可。 |
| 11イメージ | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* リストボタン部分のobject属性は、登場順に表示されます。
* リストボタン部分のobject/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”14”>  <center>  <object>  <text>○○様  ○×商事の××でございます。お世話になります。  先日は、お忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。….</text>  </object>  <object>  <text>リスト１</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list1.asp”/>  </command>  </object>  <object>  <text>リスト２</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list2.asp”/>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button1.asp”/>  </command>  </button>  <button id=”3”>  <text>３</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button3.asp”/>  </command>  </button>  <button id=”4”>  <text>４</text>  <command>  <scroll type="prev" />  </command>  </button>  <button id=”5”>  <text>５</text>  <command>  <scroll type="next" />  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート15

【説明】

テンプレート15では、リスト画面の表示機能と、リスト画面の表示順入れ替え機能を提供します。表示入れ替え操作は以下となります。

1.移動させたいリストボタン押下

2.移動させたい場所のリストボタン押下

上記操作後に、1で選択したリストボタンが、2で選択されたリストボタンの上に挿入されます。

操作後は、textタグで指定された文字列、valueタグで指定された送信値が移動し、送信ボタン押下時の表示順の情報がPOSTメソッドにより、指定されたURLに対して送信されます。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。



図14　テンプレート15の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | | 必須 | | 回数 | | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | | ○ | | 1回 | | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | | ○ | | 1回 | | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | | ○ | | 1回 | | 本テンプレートでは”15”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | | ○ | | 1回 | | なし |
| object |  | 表示する各文字を表す親要素 | | ○ | | 1回  以上 | | なし |
| text |  | 表示文字を指定する。 | | ○ | | 1回 | | ボタン上に表示する文字を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | | × | | 1回 | | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | | | なし |
| input |  | | 入力フィールドを示す親要素 | ○ | 1回 | | | なし |
| name |  | | POST情報受信時の変数名 | ○ | 1回 | | | 変数名を指定 |
| value |  | | POST時の送信値 | ○ | 1回 | | | 送信される値を指定。 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | | ○ | | | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | | ○ | | | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | | ○ | | | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | | × | | | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | | ○ | | | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | | ○ | | | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | | ○ | | | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | | ○ | | | 1回 | submit :送信操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | | × | | | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | | ○ | | | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | | ○ | | | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | | × | | | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | | ○ | | | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | | △ | | | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | | △ | | | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | | △ | | | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | | × | | | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | | × | | | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | | ○ | | | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | | △ | | | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | | △ | | | 1回 | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | | △ | | | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 02Vup | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 03 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 05 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角18文字、半角32文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 車載端末の02に準拠する。 |
| 03イメージ | 車載端末の03に準拠する。 |
| 05イメージ | 車載端末の05に準拠する。 |
| 07イメージ | 車載端末の07に準拠する。 |
| 11イメージ | 車載端末の11に準拠する。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* object属性は、登場順に表示されます。
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”15”>  <center>  <object>  <text>リスト１</text>  <command>  <input>  <name>list1</name>  <value>1</value>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>リスト２</text>  <command>  <input>  <name>list2</name>  <value>2</value>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>リスト３</text>  <command>  <input>  <name>list3</name>  <value>3</value>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://\*\*\*/contents/send.asp” type="submit"/>  </command>  </button>  <button id=”3”>  <text>３</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button3.asp”/>  </command>  </button>  <button id=”4”>  <text>４</text>  <command>  <scroll type="prev" />  </command>  </button>  <button id=”5”>  <text>５</text>  <command>  <scroll type="next" />  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート16

【説明】

テンプレート16では、Gウェザーコンテンツ(天気予報:今日明日)表示機能と、天気情報テキストのスクロール機能を提供します。スクロールについては常に表示する事とし、走行時はトーンダウンされます。天気情報テキスト箇所については、走行中は表示されず、その他の表示域については走行中であった場合でも表示されます。

本テンプレートは07、09、11車載端末専用であり、Gウェザーコンテンツ専用テンプレートとなります。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

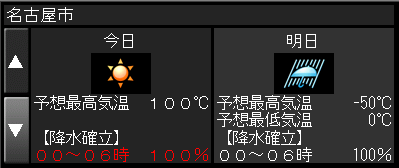


図15　テンプレート16の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | | 1回 | 本テンプレートでは”16”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面最上部に表示する各文字を表す親要素 | ○ | | 1回 | object要素の1番目は、中央画面最上部に表示する情報を示す。 |
| body |  | 中央画面最上部に表示する親要素 | ○ | | 1回 | なし |
|  | bgcolor | 背景色の指定 | × | | 1回 | #RRGGBB形式または、色名称による指定 |
| text |  | 表示する地域名を指定 | ○ | | 1回 | object要素の1番目は、地域名を1回のみ指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| object |  | 中央画面に表示するオブジェクトを示す親要素 | ○ | | 2回 | 必ず2回指定し、object要素の2番目は、画面左側部分の今日の天気情報となり、object要素の3番目は画面右側部分の明日の天気情報を指定 |
| body |  | 中央画面に表示する親要素 | ○ | | 1回 | なし |
|  | bgcolor | 背景色の指定 | × | | 1回 | #RRGGBB形式または、色名称による指定 |
| image |  | 表示する画像 | ○ | 1回 | | 表示する画像のファイル名を記述 |
|  | type | 表示画像の形式 | ○ | 1回 | | 5.24.6　節を参照 |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回以上 | | object要素の2番目以降は0～n回表示文字を指定  何も表示しない行がある場合でも、空タグを指定する事 |
|  | linenum | 表示する行番号を指定 | ○ | 1回 | | 表示行番号を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | | 5.24.4　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 使用不可。 |
| 05 | 使用不可。 |
| 07 | objectは必ず3つ指定、object[2] ,[3]/body/textは同数指定。  object/body/text要素に指定する文字は、全角11文字、半角22文字とする。 |
| 09 | objectは必ず3つ指定、object[2] ,[3]/body/textは同数指定。  object/body/text要素に指定する文字は、全角11文字、半角22文字とする。 |
| 11 | objectは必ず3つ指定、object[2] ,[3]/body/textは同数指定。  object/body/text要素に指定する文字は、全角11文字、半角22文字とする。 |
| 13 | objectは必ず3つ指定、object[2] ,[3]/body/textは同数指定。  object/body/text要素に指定する文字は、全角11文字、半角22文字とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 使用可能。 |
| 03イメージ | 使用可能。 |
| 05イメージ | 使用可能。 |
| 07イメージ | 使用可能。 |
| 11イメージ | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* object属性は、登場順に表示されます。
* 要素への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”16”>  <center>  <object>  <body bgcolor =””>  <text color="#FFFFFF">名古屋市</text>  </body>  </object>  <object>  <body bgcolor =””>  <image>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="red">予想最高気温 30℃</text>  <text linenum=”2”/>  <text linenum=”3” color="#FFFFFF"> 【降水確率】</text>  <text linenum=”4” color="#FFFFFF"> 00～06時 30％</text>  <text linenum=”5” color="blue"> 06～12時 100％</text>  <text linenum=”6” color="#FFFFFF"> 12～18時 90％</text>  <text linenum=”7” color="#FFFFFF"> 18～24時 0％</text>  <body>  </object>  <object>  <body bgcolor =””>  <image>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">予想最高気温 10℃</text>  <text linenum=”2” color="#FFFFFF">予想最低気温 0℃</text>  <text linenum=”3” color="#FFFFFF"> 【降水確率】</text>  <text linenum=”4” color="blue"> 00～06時 100％</text>  <text linenum=”5” color="#FFFFFF"> 06～12時 50％</text>  <text linenum=”6” color="#FFFFFF"> 12～18時 20％</text>  <text linenum=”7” color="#FFFFFF"> 18～24時 10％</text>  <body>  </object>  </center>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート17

【説明】

テンプレート17では、Gウェザーコンテンツ(天気予報:週間天気)表示機能を提供します。天気情報テキスト箇所については、走行中は表示されず、その他の表示域については走行中であった場合でも表示されます。

本テンプレートは07、09、11車載端末専用であり、Gウェザーコンテンツ専用テンプレートとなります。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

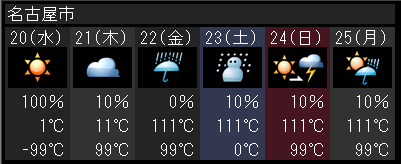


図16　テンプレート17の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | | 1回 | 本テンプレートでは”17”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面最上部に表示する各文字を表す親要素 | ○ | | 1回 | object要素の1番目は、中央画面最上部に表示する情報を示す。 |
| body |  | 中央画面最上部に表示する親要素 | ○ | | 1回 | なし |
|  | bgcolor | 背景色の指定 | × | | 1回 | #RRGGBB形式または、色名称による指定  省略時は : #### or #### |
| text |  | 表示する地域名を指定 | ○ | | 1回 | object要素の1番目は、地域名を1回のみ指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| object |  | 表示する各文字を表す親要素 | ○ | | 6回 | 必ず6回指定する |
| body |  | 表示する各文字を表す親要素 | ○ | | 1回 | なし |
|  | color | 背景色の指定 | × | | 1回 | #RRGGBB形式または、色名称による指定 |
| date |  | 日付を指定 | ○ | | 1回 | 表示する日付を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| image |  | 表示する画像 | ○ | 1回 | | 表示する画像のファイル名を記述 |
|  | type | 表示画像の形式 | ○ | 1回 | | 5.24.6　節を参照 |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 3回まで | | object要素の2番目以降は、3回まで表示文字を指定可能 |
|  | linenum | 表示する行番号を指定 | ○ | 1回 | | 表示行番号を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | | 5.24.4　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 使用不可。 |
| 05 | 使用不可。 |
| 07 | objectは必ず7つ指定。  object/body/text要素に指定する文字は、半角数値および「％」「℃」のみを許可し、全角2文字、半角5文字までとする。 |
| 09 | objectは必ず7つ指定。  object/body/text要素に指定する文字は、半角数値および「％」「℃」のみを許可し、全角2文字、半角5文字までとする。 |
| 11 | objectは必ず7つ指定。  object/body/text要素に指定する文字は、半角数値および「％」「℃」のみを許可し、全角2文字、半角5文字までとする。 |
| 13 | objectは必ず7つ指定。  object/body/text要素に指定する文字は、半角数値および「％」「℃」のみを許可し、全角2文字、半角5文字までとする。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 使用可能。 |
| 03イメージ | 使用可能。 |
| 05イメージ | 使用可能。 |
| 07イメージ | 使用可能。 |
| 11イメージ | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* object属性は、登場順に表示されます。
* 要素への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”17”>  <center>  <object>  <body bgcolor =””>  <text color="#FFFFFF">名古屋市</text>  </body>  </object>  <object>  <body color=”#FFFFFF” >  <date color="">30(水)</date>  <image type=”gif”>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">10％</text>  <text linenum=”2” color="red ">30℃</text>  <text linenum=”3” color="#FFFFFF">20℃</text>  </body>  </object>  <object>  <body color=”#FFFFFF” >  <date color="">31(木)</date>  <image type=”gif”>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">50％</text>  <text linenum=”2” color="#FFFFFF">10℃</text>  <text linenum=”3” color="#FFFFFF">5℃</text>  </body>  </object>  <object>  <body color=”#FFFFFF” >  <date color="">1(金)</date>  <image type=”gif”>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">40％</text>  <text linenum=”2” color="#FFFFFF">2℃</text>  <text linenum=”3” color="blue ">-1℃</text>  </body>  </object>  <object>  <body color=”blue” >  <date color="">2(土)</date>  <image type=”gif”>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">30％</text>  <text linenum=”2” color="#FFFFFF">5℃</text>  <text linenum=”3” color="blue ">-10℃</text>  </body>  </object>  <object>  <body color=”red” >  <date color="">3(日)</date>  <image type=”gif”>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">100％</text>  <text linenum=”2” color="#FFFFFF">30℃</text>  <text linenum=”3” color="blue ">10℃</text>  </body>  </object>  <object>  <body color=”#FFFFFF” >  <date color="">4(月)</date>  <image type=”gif”>http://domain/… </image>  <text linenum=”1” color="#FFFFFF">2％</text>  <text linenum=”2” color="#FFFFFF">0℃</text>  <text linenum=”3” color="blue ">0℃</text>  </body>  </object>  </center>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート18

【説明】

テンプレート18では、画像付リスト画面の表示機能を提供します。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。



図17　テンプレート18の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”18”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 表示する各文字を表す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| icon |  | 表示するアイコン | ○ | 1回 | 表示する画像のファイル名を記述 |
| text |  | 表示文字を指定する。 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 現在未提供。 |
| 02Vup | 現在未提供。 |
| 03 | 現在未提供。 |
| 05 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角10文字、半角20文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 07 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角10文字、半角20文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 09 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角10文字、半角20文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 11 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角10文字、半角20文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| 13 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示。  object/text要素に指定する文字は、全角10文字、半角20文字とし、画面サイズを越える場合は横スクロールにより表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | 現在未提供。 |
| PC | 02イメージ | 現在未提供。 |
| 03イメージ | 現在未提供。 |
| 05イメージ | 現在未提供。 |
| 07イメージ | 現在未提供。 |
| 11イメージ | 現在未提供。 |
| ケイタイ | － | 現在未提供。 |
| M-Mode | － | 現在未提供。 |

【注意事項】

* object属性は、登場順に表示されます。
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* 表示させる画像については、プリインストールされていますが、管理するのはコンテンツ側となります。
* サービス対象外の車載端末系デバイスにて本テンプレートが指定された場合、テンプレート1にて画面を出力します（アイコンに該当する置換文字列の情報が存在する場合、表示文字列の前に、アイコン置換文字列を追加します）

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”18”>  <center>  <object>  <icon>http://uidomain/dgw/･･･</icon>  <text>リスト１</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list1.asp”/>  </command>  </object>  <object>  <icon>http://uidomain/dgw/･･･</icon>  <text>リスト２</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list2.asp”/>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button1.asp”/>  </command>  </button>  <button id=”5”>  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button5.asp”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート19

【説明】

テンプレート19では、画面上部に画像の表示を行い、テキストによる詳細画面の表示機能を提供します。詳細画面では、中央の表示部分に文字データの表示を行い、アクションを伴う動作はボタンでのみ行うことが可能となります。

また、テンプレート19では、詳細画面部分の画面を越える文字はスクロールして表示することが可能です。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

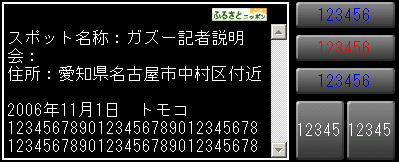


図 18　テンプレート19の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”19”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示する場所を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| icon |  | 表示するアイコン | ○ | 1回 | 表示する画像のファイル名を記述 |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | 表示する文字列を指定 |
|  | voice | 自動読み上げの動作を指定 | × | 1回 | 5.24.5　節を参照 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 現在未提供。 |
| 02Vup | 現在未提供。 |
| 03 | 現在未提供。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 現在未提供。 |
| PC | 共通 | 現在未提供。 |
| ケイタイ | － | 現在未提供。 |
| M-Mode | － | 現在未提供。 |

【注意事項】

* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* button/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* 表示させる画像については、プリインストールされていますが、管理するのはコンテンツ側となります。
* サービス対象外の車載端末系デバイスにて本テンプレートが指定された場合、テンプレート10にて画面を出力します（アイコンタグの情報は無視します）

【記載例】

|  |
| --- |
| <template id="19">  <center>  <object>  <icon>http://uidomain/dgw/･･･</icon>  <text>○○様  ○×商事の××でございます。お世話になります。  先日は、お忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。….</text>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp” />  </command>  </button>  <button id="5">  <text>５</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp” />  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート20

【説明】

テンプレート0の廃止に伴い、テンプレート20にてエラー時のエラーメッセージの表示機能を提供します。

本テンプレートでは、車載端末に対してエラー詳細情報(日時、エラーコード、その他エラー情報)への隠しリンク機能を提供します。(イメージ内赤点線丸箇所押下でエラー詳細情報表示用画面へのリンクする)

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

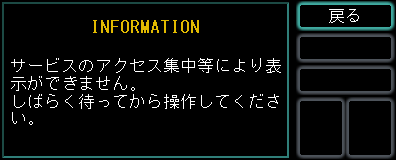


図 19　テンプレート20の画面構成

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| window |  | テンプレート表示機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”20”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 表示する各文字を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| text |  | 表示文字を指定する。 | ○ | 1回 | エラー情報 |
| errinfo |  | エラーに関する詳細情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
| errdate |  | エラー発生日時 | △ | 1回 | 日時  YYYY/MM/DD hh:mm:ss形式とする。  省略時は現在日時が入る。 |
| errcode |  | エラーコード | △ | 1回 | エラーコード  省略時は「指定なし」と固定文言が入る。 |
| errdesc |  | エラー詳細情報 | △ | 1回 | 詳細情報  省略時は「詳細情報はありません。」と固定文言が入る。 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | 個々のボタンを示す親要素 | × | 1回以上 | なし |
|  | id | ボタンの番号を指定 | ○ | 1回 | 1から5の整数値を指定。 |
| text |  | ボタン上に表示するテキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先に関する情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 0　節を参照 |

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。  表示可能文字数は全角75文字(1行全角15文字×5行)。 |
| 02Vup | 使用可能。  表示可能文字数は全角75文字(1行全角15文字×5行)。 |
| 03 | 使用可能。  表示可能文字数は全角80文字(1行全角16文字×5行)。 |
| 05 | 使用可能。  表示可能文字数は全角80文字(1行全角16文字×5行)。 |
| 07 | 使用可能。  表示可能文字数は全角80文字(1行全角16文字×5行)。 |
| 09 | 使用可能。  表示可能文字数は全角80文字(1行全角16文字×5行)。 |
| 11 | 使用可能。  表示可能文字数は全角80文字(1行全角16文字×5行)。 |
| 13 | 使用可能。  表示可能文字数は全角80文字(1行全角16文字×5行)。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 使用可能。表示可能文字数は、車載端末の02と同じとする。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
| 03イメージ | 使用可能。表示可能文字数は、車載端末の03と同じとする。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
| 05イメージ | 使用可能。表示可能文字数は、車載端末の05と同じとする。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
| 07イメージ | 使用可能。表示可能文字数は、車載端末の07と同じとする。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
|  | 11イメージ | 使用可能。表示可能文字数は、車載端末の07と同じとする。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用可能。  ただし、エラー詳細表示機能は使用不可。 |

【注意事項】

* エラー詳細表示を行うタグcenter/errinfoについては固定画面へのリンク先(表示される画面はテンプレート10を使用したスクロールあり詳細画面)となり、errinfo/date、errinfo/code、errinfo/descの情報のみを表示します。
* 表示する文言については、半角文字、制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* button/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <gbml>  <information>...</information>  <common>...</common>  <window>  <main>  <template id="20">  <center>  <object>  <text>サービスのアクセス集中等により表示できません。  しばらく待ってから操作してください。</text>  <errinfo>  <errdate>2007/01/31</errdate>  <errcode>11864-404</errcode>  <errdesc>通信先なし</errdesc>  </errinfo>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>戻る</text>  <command>  <link url=”http://auto.g-book.com/contents/input.asp”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## テンプレート21

【説明】

テンプレート21では、テキスト入力の画面を提供します。入力した情報は、POSTメソッドにより、指定されたURLに対して送信されます。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

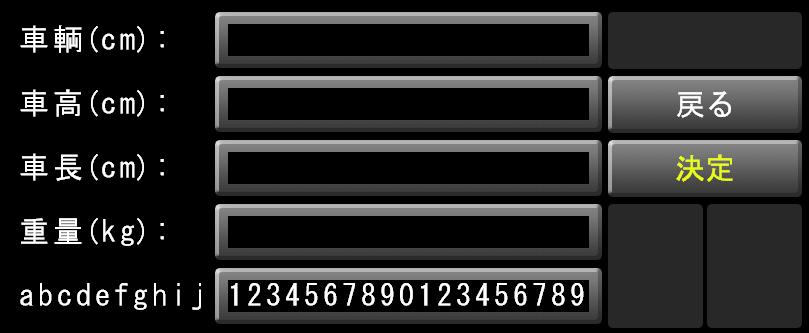


図 20　テンプレート21の画面イメージ

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本テンプレートでは”21”を指定する |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示するボタンを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | ボタン上に表示する文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| input |  | 入力フィールドを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| name |  | POST情報受信時の変数名 | ○ | 1回 | 変数名を指定 |
| value |  | 初期値 | × | 1回 | 変数名に対する初期値を指定 |
| mode |  | 入力モードを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | password | パスワード文字を示す指定 | × | 1回 | off :表示する  on :非表示とする  省略時はoff |
|  | length | 入力可能な長さの指定 | × | 1回 | 長さを指定  省略時は、長さによるチェックは行わない |
|  | keyhistory | ソフトウエアキーボードの入力履歴制御を示す属性 | × | 1回 | yes :入力履歴に残す  no :入力履歴に残さない  省略時はno  password属性にonが指定された場合、この属性値は無視されnoが指定された扱いとなる |
| style |  | 入力可能文字の指定 | × | 1回  以上 | JPの場合  double :全角文字  kana :半角カナ  alpha :半角英字/記号  numeric :半角数字  省略時はすべて入力可能。また、先頭に記載された情報をデフォルトの入力として採用する |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | ○ | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | submit :送信操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 入力後の動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | reset :取り消し操作 |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～5の間の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| mailto |  | メール送信時のメールアドレス | △ | 1回 | 5.24.1 節を参照 |
| tel |  | 電話をかける際の電話番号 | △ | 1回 | 5.24.2　節を参照 |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | 5.24.3　節を参照 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | mode要素は無視。  objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 02Vup | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 03 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 05 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 07 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 09 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 11 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| 13 | objectは一度に5つまで表示可能。以降は、スクロール機能で表示  object/text要素に指定する文字は、最大全角5文字、半角10文字とし、超過した文字は表示されない。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 使用可能。 |
| 03イメージ | 使用可能。 |
| 05イメージ | 使用可能。 |
| 07イメージ | 使用可能。 |
| 11イメージ | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* button要素の動作として、必ずcommand/action/@typeにsubmitをひとつ指定すること
* その他のボタンに対して、他のテンプレートと同様の操作を指定することが可能
* object/text要素およびbutton/text要素中への制御文字(CR･LF, TABなど)の表示は認めません
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます　該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、ボタンは非表示になります
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、ボタンは非表示となります
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます
* name要素に指定するパラメータ名は、「3.1.1要求時の通信手順」で示した固定パラメータ名と重複しない文字列を指定する必要があります

【使用例】

|  |
| --- |
| <template id="21">  <center>  <object>  <text>お名前</text>  <command>  <input>  <name>name</name>  <mode>  <style>double</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>ﾌﾘｶﾞﾅ</text>  <command>  <input>  <name>name</name>  <mode>  <style>kana</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>年齢</text>  <command>  <input>  <name>age</name>  <mode>  <style>numeric</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>パスワード</text>  <command>  <input>  <name>pass</name>  <mode password=”on” length=”10”>  <style>alpha</style>  <style>numeric</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  <object>  <text>ご感想</text>  <command>  <input>  <name>comments</name>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://*domain\_name*/send.asp” type="submit" />  </command>  </button>  <button id="2">  <text>クリア</text>  <command>  <action type="reset"/>  </command>  </button>  <button id="4">  <text>prev</text>  <command>  <scroll type="prev"/>  </command>  </button>  <button id="5">  <text>next</text>  <command>  <scroll type="next"/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template> |

## テンプレート22

【説明】

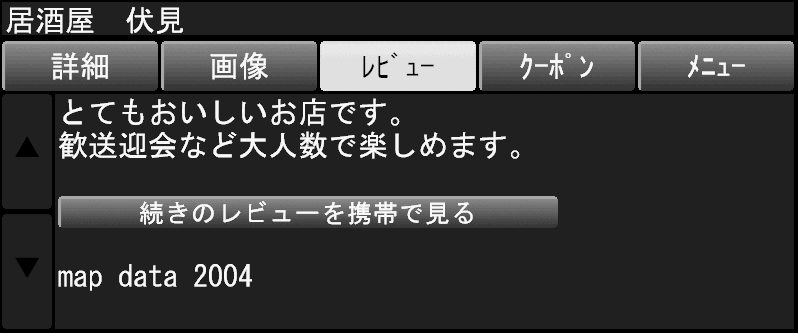
テンプレート22では、ローカルサーチ表示機能を提供します。

本テンプレートは11車載端末専用であり、ローカルサーチ専用テンプレートとなります。

【画面構成】

本テンプレートでの画面イメージは以下のようになります。

POI名称エリア



テキストタイプ(LegalNotice 情報)

リンクボタンタイプ

テキストタイプ

本文エリア

機能ボタンエリア

図21　テンプレート22の画面イメージ（画像以外）



イメージ(画像)タイプ

図 22　テンプレート22の画面イメージ（画像）

【タグ構成】

テンプレート表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | | | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | | | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | | | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | | | 本テンプレートでは”22”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | | | なし |
| object |  | POI名称エリアに表示する文字を表す親要素 | ○ | 1回 | | | areaがpoiの時、POI名称エリアの情報を示す。 |
|  | area | エリアの種類を指定 | ○ | 1回 | | | “poi” |
| text |  | POI名称エリアに表示する文字を指定 | ○ | 1回 | | | 文字を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | | | 5.24.4　節を参照 |
| object |  | 機能ボタンエリアに表示するボタンを示す親要素 | ○ | 5回まで | | | areaがkbの時、機能ボタンエリアに表示する情報を示す。  5回まで指定が可能。 |
|  | area | エリアの種類を指定 | ○ | 1回 | | | “kb” |
|  | check | 選択/未選択状態を設定 | × | 1回 | | true：選択状態  false：未選択状態  本文エリアに表示させる機能は、ボタンを選択状態とすること。  ※省略時はfalse | |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | | | 表示文字を指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | △ | 1回 | | | checkがfalseの場合必須 |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | | | checkがfalseの場合必須 |
|  | url | リンク先のパスを指定 | ○ | 1回 | | | URLをフルパスで設定  checkがfalseの場合必須 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | | | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | | | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| object |  | 本文エリアに表示するオブジェクトを示す親要素 | ○ | | 1回  以上 | | ・areaがmainの時、本文エリアに表示する情報を示す。  ・type=”text”、”link”は行単位に指定  （1画面に最大6行）  ・type=”image”は列単位に指定  （1画面に最大2列）  ・何も表示しない行がある場合はtype=”text”で空タグを指定すること。  ・type=”image”はLegalNotice情報とのみ組み合わせること。  ・LegalNotice情報はtype=”ｔext”で指定。  ・type=”image”を利用する場合は必ず最後に設定を行う。（6行まで）  ・画像枚数（総サイズ）は車載機制限に合わせて各コンテンツ側にて制御すること。 |
|  | area | エリアの種類を指定 | ○ | | 1回 | | “main” |
|  | type | 表示行のタイプを指定 | × | | 1回 | | “text”：テキスト  “link”：リンクボタン  “image”：画像  ※省略時はtext |
| image |  | 表示する画像 | △ | | 1回以上 | | 表示する画像へのURLをフルパスで指定  typeがimageの場合必須 |
|  | type | 表示画像の形式 | △ | | 1回 | | 5.24.6　節を参照  typeがimageの場合必須 |
| text |  | 表示文字を指定 | ○ | 1回 | | | 表示文字を指定 |
|  | color | 文字色の指定 | × | 1回 | | | 5.24.4　節を参照 |
| command |  | 動作を示す親要素 | △ | 1回 | | | typeがlinkの場合必須 |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | | | typeがlinkの場合必須 |
|  | url | リンク先のパスを指定 | △ | 1回 | | | URLをフルパスで設定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | | | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | | | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |

表中の△は同一階層内で排他を示す。

【デバイスごとの差】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 使用不可。 |
| 05 | 使用不可。 |
| 07 | 使用不可。 |
| 09 | 使用不可。 |
| 11 | object[@area=”poi”]/text要素に指定する文字は、最大全角26文字、半角50文字とする。  object[@area=”kb”]/text要素属性に指定する文字は、最大全角4文字、半角8文字とする。  object[@area=”main”]/text要素に指定する文字は、type別に以下とする。  ・type=”text” 最大全角24文字、半角47文字  ・type=”link”　最大全角19文字、半角37文字  ・type=”image”　最大全角11文字、半角22文字  画像出力においては、W300pix X H170pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| 13 | object[@area=”poi”]/text要素に指定する文字は、最大全角26文字、半角50文字とする。  object[@area=”kb”]/text要素属性に指定する文字は、最大全角4文字、半角8文字とする。  object[@area=”main”]/text要素に指定する文字は、type別に以下とする。  ・type=”text” 最大全角24文字、半角47文字  ・type=”link”　最大全角19文字、半角37文字  ・type=”image”　最大全角11文字、半角22文字  画像出力においては、W300pix X H170pixとし、gif画像、jpeg画像については、画面幅を超える場合は、はみ出した部分は表示されない。小さい場合は、縦/横でセンタリングされて表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | 02イメージ | 使用可能。 |
| 03イメージ | 使用可能。 |
| 05イメージ | 使用可能。 |
| 07イメージ | 使用可能。 |
| 11イメージ | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* object[@type]が”image”の場合、1画面に2つまで表示可能であり、登場順に左から表示されます
* object[@type]が”link”以外の場合、1画面に7つまで表示可能であり、登場順に上から表示されます

【使用例 （本文がテキスト＆リンクボタンを含むパターン）】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”22”>  <center>  <object area="poi"><text>居酒屋　伏見</text></object>  <object area="kb">  <text>詳細</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="kb">  <text>画像</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="kb" check=”true”><text>ﾚﾋﾞｭｰ</text></object>  <object area="kb">  <text>ｸｰﾎﾟﾝ</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="kb">  <text>ﾒﾆｭｰ</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="main"><text>とてもおいしいお店です。</text></object>  <object area="main"><text>歓送迎会など大人数で楽しめます</text></object>  <object area="main"></object>  <object area="main" type = “link”>  <text>続きのレビューを携帯で見る</text>  <command>  <link url=”http://domain/…"/>  </command>  </object>  <object area="main"></object>  <object area="main"><text>map data 2004</text></object>  </center>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

【使用例 （本文が画像のパターン）】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”22”>  <center>  <object area="poi"><text>居酒屋　伏見</text></object>  <object area="kb" check=”false”>  <text>詳細</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="kb" check=”true”><text>画像</text></object>  <object area="kb" check=”false”>  <text>ﾚﾋﾞｭｰ</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="kb" check=”false”>  <text>ｸｰﾎﾟﾝ</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="kb" check=”false”>  <text>ﾒﾆｭｰ</text>  <command>  <link url=“http://domain/…”/>  </command>  </object>  <object area="main" type=”image”>  <text>画像の説明文１</text>  <image>http://domain/…</image>  </object>  <object area="main" type=”image”>  <text>画像の説明文２</text>  <image>http://domain/…</image>  </object>  <object area="main" type=”image”>  <text>画像の説明文１</text>  <image>http://domain/…</image>  </object>  <object area="main" type=”text”><text> LegalNotice情報　１行目</text></object>  <object area="main" type=”text”><text> LegalNotice情報　２行目</text></object>  </center>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

## 共通機能

### Webメール機能

【説明】

ボタンに対して、Webメールへのリンクを割り当てることを可能とします。

本機能の指定により、G-BOOK標準のWebメールコンテンツのメール送信画面が表示されます。

【タグ構成】

object要素内およびbutton要素内の各command要素内で以下の指定を行います。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| mailto |  | Webメールを示す。 | △ | 1回 | 送信先のメールアドレスを指定 |

【対象テンプレート】

全テンプレート

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | 共通 | 使用可能。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。 |
| M-Mode | － | 使用可能。 |

【注意事項】

* mailto要素を使用した場合、常にG-BOOKのWebメール機能が動作します。クライアントのメールソフトは起動されません。
* command要素内の他の要素とは排他となります。詳細は、各テンプレートの説明を参照のこと。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <center>  <object>  <text>管理者へメール</text>  <command>  <mailto>admin@domain\_name.co.jp</mailto>  </command>  </object> ・・・  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>メール</text>  <command>  <mailto>admin@domain\_name.co.jp</mailto>  </command>  </button>  ・・・  </gbml> |

### phone機能

【説明】

指定した電話番号に対して電話をかけます。

【タグ構成】

object要素内およびbutton要素内の各command要素内で以下の指定を行います。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| tel |  | 電話をかける | △ | 1回 | 電話番号 |
|  | confirm | 電話をかける際の発呼確認の制御 | × | 1回 | yes :確認を行う  no :確認を行わない  省略時はno |
|  | url | 電話発呼時の動作として同時にアップロードするURLを指定 | × | 1回 | 拡張機能のダイアグ情報の取得のG-BOOK MLへのURL |

【対象テンプレート】

全テンプレート

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、属性は無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。ただし、confirm属性にyes”を指定しても、”no”が指定された場合と同じ動作となる。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 該当ボタンが非表示。 |
| PC | 共通 | 該当ボタンが非表示。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。ただし、属性は無視される。 |
| M-Mode | － | 該当ボタンが非表示。 |

【注意事項】

* url属性に指定できるURLは、拡張機能のダイアグ情報の取得のみです。その他の機能を指定することはできません。ダイアグ情報の取得については、「6.9ダイアグ情報の取得」を参照のこと。
* command要素内の他の要素とは排他となります。詳細は、各テンプレートの説明を参照のこと。

【使用例】

* 電話をかける例

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>お店へ電話</text>  <command>  <tel>052-1234-5678</tel>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

* 確認画面の非表示と同時アップ

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <window>  <main>  ・・・  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>電話</text>  <command>  <tel confirm=”no” url=”http://*domain\_name*/diagup.asp”>052-1234-5678</tel>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

### ボタンスクロール機能

【説明】

リスト系のテンプレートにおいて、ボタン数が画面の規定の個数を超える場合にスクロールを可能にします。表示中の位置は、以下の形式でタイトル行に表示されます。

|  |
| --- |
| タイトル文字列(*表示中のページ番号*/*全体ページ数*) |

【タグ構成】

button/command要素内で以下の指定を行います。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| scroll |  | リストボタンのスクロール時に指定 | △ | 1回 | なし |
|  | type | スクロール方向を指定 | ○ | 1回 | prev :前スクロール  next :次スクロール |

【対象テンプレート】

テンプレート1、7、8、9および14

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視。スクロールバーにて代替。 |
| PC | 共通 | 指定可能。 |
| ケイタイ | － | 無視。ブラウザのスクロール機能にて代替。 |
| M-Mode | － | 無視。ブラウザのスクロール機能にて代替。 |

【注意事項】

* 表示するボタン数が、各テンプレートの規定の数以下の場合、スクロールボタンとして指定されたボタンは表示されません。また、タイトル行の文字も変更されません。
* command要素内の他の要素とは排他となります。詳細は、各テンプレートの説明を参照のこと。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml> ・・・  <button id=”1”>  <text>前へ</text>  <command>  <scroll type=”prev” />  </command>  </button>  <button id=”2”>  <text>次へ</text>  <command>  <scroll type=”next” />  </command>  </button>  ・・・  </gbml> |

### 表示文字列の色指定機能

【説明】

画面に表示する文字に対して、色指定を可能とすることで視覚的な強調効果をつけることを可能とします。

指定は、HTML記述に準拠し、RGによる指定(#RRGGBB)または、色名称で指定します。

【タグ構成】

object/text要素および、button/text要素に対して、属性により指定します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| text |  |  |  |  |  |
|  | color | 色を指定 | × | 1回 | #RRGGBB形式または、色名称による指定 |

【対象テンプレート】

object要素内のtextでは、テンプレート1、3および14のリストボタン部分

button要素内のtextでは全テンプレート

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。ただし、以下の値が指定された場合、#EAFF04に置き換えられる。  #F4A460、#FF8400、#FFA500、orange、SandyBrown |
| 05 | 指定可能。ただし、以下の値が指定された場合、#EAFF04に置き換えられる。  #F4A460、#FF8400、#FFA500、orange、SandyBrown |
| 07 | 指定可能。ただし、以下の値が指定された場合、#EAFF04に置き換えられる。  #F4A460、#FF8400、#FFA500、orange、SandyBrown |
| 09 | 指定可能。ただし、以下の値が指定された場合、#EAFF04に置き換えられる。  #F4A460、#FF8400、#FFA500、orange、SandyBrown |
| 11 | 指定可能。ただし、以下の値が指定された場合、#EAFF04に置き換えられる。  #F4A460、#FF8400、#FFA500、orange、SandyBrown |
| 13 | 指定可能。ただし、以下の値が指定された場合、#EAFF04に置き換えられる。  #F4A460、#FF8400、#FFA500、orange、SandyBrown |
| Pocket G-BOOK | － | 指定可能。 |
| PC | 共通 | 指定可能。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <f\_key>  <button id=”1”>  <text color=”red”>ﾒﾆｭｰ</text>  <command>  <link menu=”gmenu” />  </command>  </button>  <button id=”2”>  <text>次へ</text>  <command>  <scroll type=”next” />  </command>  </button>  </f\_key>  ・・・  </gbml> |

### 自動読み上げ機能

【説明】

テキストとして表示した文字に対して、自動的な読み上げを可能とします。

【タグ構成】

object/text要素に対して、属性により指定します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| text |  |  | ○ | 1回 | 表示/読み上げ文字列 |
|  | voice | 自動読み上げの可否を指定 | × | 1回 | yes :読み上げる  no :読み上げない  省略時はno |

【対象テンプレート】

テンプレート4および10

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 指定可能。 |
| PC | 共通 | 無視。 |
| ケイタイ | － | 無視。 |
| M-Mode | － | 無視。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <window>  ・・・  <template id=”4”>  <center>  <object>  <text voice=”yes”>東海地方の明日の天気  愛知県　晴れ  岐阜県　晴れ時々曇り  三重県　晴れ時々曇り</text>  </object>  </center>  ・・・  </template>  </window>  </gbml> |

### 画像の自動選択機能

【説明】

機種依存の画像表示のため、複数の画像中から適切な画像を自動選択し表示します。

複数の画像が指定された場合、以下の表にしたがって画像を選択します。表中の番号は、優先順位を示します。

たとえば、02車戴端末でフラッシュファイル、jpegファイル、gifファイルの三つの指定がされた場合、Flashファイルが選択され、jpegファイル、gifファイルが指定された場合、jpegファイルが選択されます。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| デバイス種別 | | 画像種別 | | |
| 大分類 | モデル | jpegファイル | gifファイル | Flashファイル |
| 車載端末 | 02 | 2 | 3 | 1(\*) |
| 02Vup | 2 | 3 | 1(\*) |
| 03 | 1 | 2 | － |
| 05 | 1 | 2 | － |
| 07 | 1 | 2 | － |
| 09 | 1 | 2 | － |
| 11 | 1 | 2 | － |
| Pocket G-BOOK | － | 2 | 3 | 1(\*) |
| PC | 02イメージ | 2 | 3 | 1(\*) |
| 03イメージ | 1 | 2 | － |
| 携帯電話 | i-mode | 2 | 1 | － |
|  | KDDI | 1 | 2 | － |
|  | J-Phone | 1 | 2 | － |
| M-Mode | － | 1 | 2 | － |

(\*)Flashファイルについては、テンプレートタイプ5(フル画像画面)でのみ使用可能。

【タグ構成】

object/image要素に対して、属性により指定します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| image |  | 画像を指定 | ○ | 1回以上 | 画像へのURLをフルパスで指定 |
|  | type | 画像種別を指定 | ○ | 1回 | gif :gif形式  jpeg :jpeg形式  swf :swf形式  省略時はgif/jpeg形式 |

【対象テンプレート】

テンプレート5

【対象デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| 05 | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| 07 | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| 09 | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| 11 | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| 13 | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| Pocket G-BOOK | － | 指定可能。 |
| PC | 02イメージ | 指定可能。 |
| 03イメージ | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| 05イメージ | 指定可能。ただし、swf画像は表示されない。 |
| ケイタイ | － | 指定可能。 |
| M-Mode | － | 指定可能。 |

【注意事項】

* フラッシュファイルにつきましては、車載端末の種類によっては扱えないことがあります。必ず、フラッシュファイル以外の画像も用意してください。

【使用例】

例：　テンプレート5ですべてのデバイスでの画像表示を可能とする場合

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <gbml>  ...  <window>  <main>  <template id="5">  <center>  <object>  <image type="jpeg">http://auto.g-book.com/contents/image.jpg</image>  <image type="gif">http://auto.g-book.com/contents/image.gif</image>  <image type="swf">http://auto.g-book.com/contents/image.swf</image>  </object>  </center>  ・・・  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

### コンテンツのコマンドボタン指定

【説明】

特定のキーワードの指定により、以下のメニュー画面への遷移を可能とします。

* Gメニュー
* ~~マイメニュー~~ ユーザ設定
* Gメニュー/ライブナビゲーション
* Gメニュー/インフォメーション
* Gメニュー/エンターテイメント
* Gメニュー/コミュニケーション
* Gメニュー/Eコマース
* Gメニュー/セーフティ＆セキュリティ

【タグ構成】

center要素およびf\_key要素配下のcommand/link要素に対して、属性により指定します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| link |  | リンク先を指定 | ○ | 1回 | なし |
|  | page | 画像種別を指定 | △ | 1回 | 以下のいずれかを指定  gmenu :Gメニュー  setting :ユーザ設定  genre1 :ライブナビゲーション  genre2 :インフォメーション  genre3 :エンターテイメント  genre4 :コミュニケーション  genre5 :Eコマース  genre6 :セーフティ&セキュリティ |

【対象テンプレート】

全テンプレート

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 指定可能。 |
| PC | 共通 | 指定可能。 |
| ケイタイ | － | 指定可能。 |
| M-Mode | － | 指定可能。 |

【注意事項】

* command要素内の他の要素とは排他となります。詳細は、各テンプレートの説明を参照のこと。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・ <button id="1">  <text>Gﾒﾆｭｰ</text>  <command>  <link page=”gmenu” />  </command>  </button> ・・・  </gbml> |

### サブウィンドウの制御

【説明】

サブウィンドウを制御します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| window |  | テンプレート表示機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sub |  | サブウィンドウ制御を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| 拡張機能 |  | サブウィンドウに関する拡張機能を示すタグセット | ○ | 1回 | 6.33～6.36節を参照。 |
| text |  | サブウィンドウテキストを指定。 | × | 1回 | 表示中コンテンツを示す文字列を指定する。省略時は、以下のテキストを表示  Welcome G-BOOK |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | text要素は無視される。 |
| 02Vup | text要素は無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。ただし、text要素は無視。 |
| PC | 02イメージ | text要素は無視される。 |
| 03イメージ | 無視される。 |
| 05イメージ | 無視される。 |
| 07イメージ | 無視される。 |
| ケイタイ | － | extent要素は無視される。 |
| M-Mode | － | extent要素は無視される。 |

【注意事項】

* extent要素内には、サブウィンドウに関する拡張機能を示すG-BOOK MLのタグセットを記述します。個々の機能については、6.33～6.36節を参照してください。
* gbml/common要素中に指定するextent要素との同時指定が可能です。ただし、機能によって、指定可能/不可の組み合わせがあります。詳細については、添付資料を参照してください。
* extent要素を省略した場合のみ、拡張機能のタグセットの省略が可能です。
* sub要素を使用する場合は、extent要素または、text要素のいずれか(または両方)を必ず指定する必要があります。

【使用例】

* サブウィンドウに任意の画像を表示する場合

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common> ・・・ </common>  </common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center> ・・・ </center>  </template>  </main>  <sub>  <extent>  <download>  <sub\_img>  <image type=”swf”>http://*domain\_name*/character.swf</image>  <image type=”jpeg”>http://*domain\_name*/character.jpeg</image>  </sub\_img>  </download>  </extent>  </sub>  </window>  </gbml> |

* サブウィンドウのキャラクタは制御せず、サブウィンドウタイトルのみ表示する場合

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common> ・・・ </common>  </common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center> ・・・ </center>  <sub>  <text>ラーメン天国</text>  </sub>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

### フリーレイアウト機能

【説明】

テンプレートを使用しない画面の表示を可能とします。

G-BOOK ML内にXHTMLを記述することができ、自由なレイアウトの画面が表示可能となります。

【タグ構成】

表示機能を示すwindow要素配下に、以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| html |  | XHTMLを示す要素 | × | 1回 | なし |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* main要素内のhtml要素とtemplate要素は、排他となります。
* html要素内の構成については、チェックを行いません。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  XHTML部分  <information>  ・・・  </information>  <common>  ・・・  </common>  <window>  <main>  <html>  <head>  <link rel="stylesheet" href="http://localhost/sheet.css"/>  <script src="http://localhost/script.js"></script>  ・・・  </head>  <body>  <a href="http://localhost/xxx.asp">…</a><br/>  <img src="http://localhost/image.jpg"/><br/>  ・・・  </body>  </html>  </main>  </window>  </gbml> |

### 隠しボタン機能

【説明】

隠しボタンをテキストの先頭文字に表示します。

【タグ構成】

center/object要素に対して、属性により指定します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| main |  | メイン画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| template |  | テンプレート種別を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | テンプレートの番号を指定 | ○ | 1回 | 本機能では”4”または”10”を指定する。 |
| center |  | メインとなる画面を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| object |  | 中央画面に表示する場所を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | ○ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | hidden | 隠しボタンの指定 | × | 1回 | yes … 隠しボタンを表示 |

【対象テンプレート】

テンプレート4および10

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 隠しボタン要素は、1回のみ指定出来ます。2回目以降の要素は破棄されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <window>  ・・・  <template id=”4”>  <center>  <object>  <text>隠しボタン表示画面  この画面の先頭文字上に、  隠しボタンが表示されます。</text>  <command>  <link url=”http://\*\*\*/contents/button1.asp” hidden=”yes”/>  </command>  </object>  </center>  ・・・  </template>  </window>  </gbml> |

# 拡張機能

地図画像の表示や読み上げなど、クライアントの制御を行うための拡張機能について説明します。

* 拡張機能の書式

拡張機能は、extent要素を親要素として表します。extent要素直下に情報の取得を表すupload要素または、情報の通知/設定を表すdownload要素を記載し、その配下に各機能および、その機能の詳細情報を表すタグセットを記載します。

ツリー構造では、以下のように表されます。

extent

upload

機能名

機能詳細

download

機能名

機能詳細

* 拡張機能の起動形式

拡張機能は以下の5種類の動作形式があります。

－ 即時実行タイプ

－ ユーザ操作タイプ

－　リクエストタイプ

－ CDFスケジュールタイプ

－ SMS起動タイプ

なお、機能ごとに使用可能な起動形式は異なります。それぞれの機能において使用可能な形式を用いる必要があります。それぞれの機能で使用可能な起動形式については、各機能説明の【呼び出し元の指定方法】をご参照ください。

【即時実行タイプ】

即時実行タイプは、コンテンツ表示機能のG-BOOK MLのダウンロード後、即座に機能します。このタイプは、コンテンツ表示機能のG-BOOK MLのcommon要素およびsub要素内に拡張機能のG-BOOK ML書式を含めることで動作します。

－ commonおよびsub要素での記載方法

コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでcommon要素やsub要素により使用する場合、本章で記載する拡張機能のG-BOOK ML書式をコンテンツ表示機能のG-BOOK MLのcommon要素およびsub要素内に直接、記載します。

|  |
| --- |
| コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記述  <gbml>  …  <common>  <title>お知らせ</title>  <extent>  <download>  <voice>  <vitem>  <vtitle>松坂屋からのお知らせ</vtitle>  <vtext>松坂屋では、ただいまバーゲンセール実施中です。</vtext>  </vitem>  </voice>  </download>  </extent>  </common>  <window>  <template id=”5">  <center>  …  </window>  </gbml> |

【ユーザ操作タイプ】

ユーザ操作タイプは、コンテンツ表示機能のG-BOOK MLをダウンロードした後、画面中のボタンクリックや音声認識コマンドにより機能します。このタイプは、コンテンツ表示機能のG-BOOK MLのwindow要素内に拡張機能のG-BOOK MLへのリンクを持たせることにより、クリック操作により動作します。

－ window要素内での記載方法

コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでwindow要素内により使用する場合、本章で記載する拡張機能のG-BOOK MLへのリンクとして記載します。

|  |
| --- |
| コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記述  <gbml>  …  <button id=”5”>  <title>目的地</title>  <link url=”http://*domain\_name*/destination.asp” contentsid=”ABC-001”>  <func name=”poi\_guide”/>  </link>  …  </common> |

|  |
| --- |
| 拡張機能のG-BOOK ML(リンク先)での記載  <gbml>  …  <extent>  <download>  <poi\_guide>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  </point>  </poi>  </poi\_guide>  </download>  </extent>  …  </gbml> |

【リクエストタイプ】

リクエストタイプは、MYリクエスト機能により登録することで、そのURLが呼び出され動作します。MYリクエスト機能による登録方法は「6.44MYリクエスト」を参照のこと。

【CDFスケジュールタイプ】

CDFによる、スケジュール起動により機能します。このタイプは、CDF機能への事前登録により実現します。詳細については、「G-BOOK ML 2.0 機能仕様書 ～ 制御機能編」を参照のこと。

【SMS呼び出しタイプ】

SMS経由でのクライアントからのリクエストにより機能します。このタイプは、SMS機能への事前登録により実現します。詳細については、「G-BOOK ML 2.0 機能仕様書 ～ 制御機能編」を参照のこと。

* 拡張機能の動作フロー

拡張機能は、以下の二つの種類に大別されます。

－ 情報の取得

－ 情報の通知/設定

【情報の取得】

クライアントから、情報を取得します。たとえば、現在地を取得し、その位置情報に基づいた情報の提供が可能になります。拡張機能の書式としては、upload要素を用います。情報の取得時は、以下の動作になります。

－ common要素およびsub要素による情報の取得

情報の通知

通知情報

204 No Content

拡張機能

G-BOOK ML

表示機能

G-BOOK ML

HTML

CP

Device G/W

CL

G-BOOK ML取得要求

コンテンツ変換

HTMLの出力

受信した情報の通知と

G-BOOK ML取得要求

レスポンス出力

200 OK

－ window要素内での情報の取得

CL

Device G/W

CP

HTML

情報の通知

制御情報

通知情報

HTML

拡張機能

G-BOOK ML

通知用

G-BOOK ML

表示機能

G-BOOK ML

表示機能

G-BOOK ML

G-BOOK ML取得要求

コンテンツ変換

HTMLの出力

受信した情報の通知と

G-BOOK ML取得要求

クリック

コンテンツ変換

HTMLの出力

拡張G-BOOK ML取得要求

コンテンツ変換

制御情報の出力

【情報の通知/設定】

クライアントへ情報を通知し、クライアントの制御を行います。たとえば、音声による読み上げなどが可能になります。拡張機能の書式としては、download要素を用います。情報の通知/設定時は、以下の動作になります。

－ common要素およびsub要素による情報の通知

制御情報

HTML

表示機能

G-BOOK ML

CL

CP

Device G/W

G-BOOK ML取得

LINKタグへの変換

HTMLの出力

表示用G-BOOK MLから拡張機能を生成

－ window要素内での情報の通知

CL

Device G/W

CP

拡張機能

G-BOOK ML

表示機能

G-BOOK ML

HTML

制御情報

情報通知

G-BOOK ML取得

Aタグへの変換

HTMLの出力

引数からCPへG-BOOK MLを要求

クリック

* 拡張機能の複合指定

拡張機能は、複数の機能を複合して指定することが出来ます。複合して指定する場合は、upload要素およびdownload要素ごとにまとめて指定します。

ただし、それぞれの機能ごとに組み合わせ可能な機能が決められており、すべての機能に対して複合指定を行うことはできません。組み合わせが可能な機能一覧は別表の「G-BOOK ML 2.0 拡張機能マトリックス」を参照してください。なお、組み合わせ指定が不可の機能については、即時実行タイプの場合(common要素内での記載)に限り、extent要素を複数記載することで指定することが可能になります。

以下に複合指定の指定例を示します。

－ 例.読み上げと音声認識辞書の登録(コンテンツ)の複合指定

|  |
| --- |
| <extent>  音声認識辞書の登録(コンテンツ)のタグセット  読み上げ機能のタグセット  <download>  <voice>  <vitem conv=”off”>  <vtitle>第一ホテル</vtitle>  <vtext>xxﾓﾄﾏｯﾀｺﾉｱﾙﾒｲｼｭｸ,ｸﾂﾛｷﾞﾉｸｳｶﾝｦ,ｴﾝｼｭﾂｼﾏｽ</vtext>  </vitem>  </voice>  <vrec\_con>  <ritem>  <link url=”http://*domain\_name*/daiichi.asp” />  <rtext>ｼｮｳｻｲ</rtext>  </ritem>  <ritem>  <link url=”http://*domain\_name*/daiichi\_hotel\_map.asp” />  <rtext>ﾁｽﾞ</rtext>  </ritem>  </vrec\_con>  </download>  </extent> |

－ 例.走行距離の取得と現在地の取得の複合指定

|  |
| --- |
| <extent>  現在地の取得のタグセット  走行距離の取得のタグセット  <upload ref=”http://*domain\_name*/getcarinfo.asp”>  <odometer />  <loc\_cur />  </upload>  </extent> |

## 端末IDの取得

【説明】

クライアントの端末IDを取得します。端末IDを要求するタグをアプリケーションからHTTPレスポンスとして返すことにより、指定されたURLに端末IDが通知されます。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| termid |  | 端末IDの取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| termid |  | 端末ID | ○ | 1回 | 端末ID |

【呼び出し時の機能名】

termid

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/termid.asp” >  <func name=”termid” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | × | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素では、該当ボタンが非表示。リクエスト登録は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素では、該当ボタンが非表示。リクエスト登録は無視。 |
| M-Mode | － | window要素では、該当ボタンが非表示。リクエスト登録は無視。 |

【注意事項】

* 端末IDが取得できない場合、termid要素のデータは空になります。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common> ・・・ </common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>端末IDの取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/termid.asp” >  <func name=”termid” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  <button id=”1”>  <command>  <text>端末ID</text>  <link url=”http://*domain\_name*/termid.asp” >  <func name=”termid” />  </link>  </command>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getterminfo.asp>  <termid />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <termid>XYZ-0001-001</termed>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## ログインユーザ情報の取得

【説明】

クライアントのログインユーザ情報を取得します。ユーザ情報を要求するタグをアプリケーションからHTTPレスポンスとして返すことにより、指定されたURLにユーザ情報が通知されます。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| termlogin |  | ログインユーザ情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| termlogin |  | ログインユーザ情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loginid |  | ログイン中のユーザ名 | ○ | 1回 | ユーザ名 |
| loginpw |  | ログイン中のユーザのパスワード | ○ | 1回 | パスワード文字列 |

【呼び出し時の機能名】

termlogin

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/termlogin.asp”>  <func name=”termlogin” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| 05 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| 07 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| 09 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| 11 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| 13 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では該当ボタンが非表示。CDFでは無視。 |

【注意事項】

* ログインユーザ情報が取得できない場合、termlogin要素のデータは空になります。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>ログイン情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/get\_login.asp”>  <func name=”termlogin” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getterminfo.asp”>  <termlogin />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <termlogin>  <loginid>*ログイン中のユーザのユーザ名*</loginid>  <loginpw>*ログイン中のユーザのパスワード*</loginpw>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 走行距離の取得

【説明】

クライアントの走行距離を取得します。走行距離を要求するタグをアプリケーションからHTTPレスポンスとして返すことにより、指定されたURLに走行距離が通知されます。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| odometer |  | 走行距離の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| odometer |  | 走行距離 | ○ | 1回 | 走行距離が設定 |

【呼び出し時の機能名】

odometer

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/odometer.asp” >  <func name=”odometer” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、common要素内、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、common要素内、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合は、該当の要素が空で通知されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>走行距離の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/get\_odometer.asp” >  <func name=”odometer” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getodometer.asp”>  <odometer />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <odometer>25345</odometer>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## DCM情報の取得

【説明】

クライアントのDCM情報を取得します。DCM情報を要求するタグをアプリケーションからHTTPレスポンスとして返すことにより、指定されたURLにDCM情報が通知されます。

DCM情報としては、以下を取得することができます。

* 通信モジュールの自局番号
* 通信モジュールのバージョン番号

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| dcminfo |  | DCM情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| dcminfo |  | DCM情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| dcmnumber |  | 通信モジュールの自局番号 | ○ | 1回 | 通信モジュールの自局番号 |
| dcmversion |  | 通信モジュールのバージョン情報 | ○ | 1回 | 通信モジュールのバージョン番号 |

【呼び出し時の機能名】

dcminfo

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/dcminfo.asp” >  <func name=”dcminfo” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 05 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 07 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 09 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 11 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 13 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* DCM未装着などにより、DCM情報が取得できない場合、dcmnumberおよびdcmversion要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>DCM情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/get\_dcm.asp”>  <func name=”dcminfo” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getdcm.asp”>  <dcminfo />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <dcminfo>  <dcmnumber>09012345678</dcmnumber>  <dcmversion>1.00</dcmversion>  </dcminfo>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 端末情報の取得

【説明】

クライアントの端末情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| terminfo |  | 端末情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| terminfo |  | 端末情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| termid |  | 端末ID | × | 1回 | 端末ID |
| dcminfo |  | DCM情報の通知を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| dcmnumber |  | 通信モジュールの自局番号 | ○ | 1回 | 通信モジュールの自局番号 |
| dcmserial |  | DCM製造番号情報 | ○ | 1回 | DCM製造番号 |
| dcmarticle |  | DCM品番情報 | × | 1回 | DCM品番 |
| dcmtype |  | DCMタイプ情報 | × | 1回 | DCMタイプ  02…標準DCM(タイプ2)  03…高機能DCM(タイプ3) |
| hardware |  | ハードウェア情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| cpu |  | CPU情報 | ○ | 1回 | CPU情報 |
| sram |  | SRAM情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| volume |  | 実装容量 | ○ | 1回 | 実装容量 |
| resource |  | 残容量 | ○ | 1回 | 残容量 |
| dram |  | DRAM情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| volume |  | 実装容量 | ○ | 1回 | 実装容量 |
| resource |  | 残容量 | ○ | 1回 | 残容量 |
| disk |  | ストレージメディア情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| volume |  | 実装容量 | ○ | 1回 | 実装容量 |
| resource |  | 残容量 | ○ | 1回 | 残容量 |
| display |  | ディスプレイ情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| resolution |  | 表示解像度 | ○ | 1回 | 表示解像度 |
| color |  | 最大表示色 | ○ | 1回 | 最大表示色 |
| os |  | OS情報 | ○ | 1回 | OS情報 |
| phone |  | HF番号情報の通知を示す要素 | × | 1回 | 携帯電話の自局番号 |
| browser |  | ブラウザ情報の通知を示す要素 | × | 1回 | G-Browser/1.0:  02ブラウザ  G-Browser/1.01:  02Vupブラウザ  03G-Browser/1.0:  03ブラウザ |
| system |  | システムバージョン情報の通知を示す要素 | × | 1回 | バージョン情報 |
| mapinfo |  | 地図バージョンを示す親要素 | × | 1回 | 地図バージョン |
| phoneconnect |  | 携帯電話の接続状態の通知を示す要素 | × | 1回 | yes … 接続  no … 未接続 |
| helptermid |  | ヘルプネット車載機IDの通知を示す要素 | × | 1回 |  |

【呼び出し時の機能名】

terminfo

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/terminfo.asp”>  <func name=”terminfo” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。  termid、dcminfo、phone、system、navi、ecuinfo、framenumber、phoneconnect、dcmarticle、dcmtypeは省略されて通知される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。  termid、dcminfo、phone、system、navi、ecuinfo、framenumber、phoneconnect、dcmarticle、dcmtypeは省略されて通知される。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  termid、dcminfo、phone、system、navi、ecuinfo、framenumber、phoneconnect、dcmarticle、dcmtypeは省略されて通知される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  hardware、os、browser、system、mapinfo、dcmarticle、dcmtypeは省略されて通知される。 |
| 07 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  hardware、os、browser、system、mapinfoは省略されて通知される。 |
| 09 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  hardware、os、browser、system、mapinfoは省略されて通知される。 |
| 11 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  hardware、os、browser、system、mapinfoは省略されて通知される。  呼び出し元として、common要素内、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  hardware、os、browser、system、mapinfoは省略されて通知される。  呼び出し元として、common要素内、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 該当ボタンが非表示。 |
| ケイタイ | － | 該当ボタンが非表示。 |
| M-Mode | － | 該当ボタンが非表示。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>端末情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/terminfo.asp”>  <func name=”terminfo” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getterminfo.asp”>  <terminfo />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <terminfo>  <hardware>  <cpu>core1</cpu>  <sram>  <volume>0</volume>  <resource></resource>  </sram>  <dram>  <volume>33554432</volume>  <resource></resource>  </dram>  <disk>  <volume>0</volume>  <resource></resource>  </disk>  <display>  <resolution>400 234</resolution >  <color>16</color>  </display>  </hardware>  <os>ITRON</os>  </terminfo>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## HF番号情報の取得

【説明】

クライアントに装着されているHF番号(ハンズフリー番号：携帯電話の自局番号)を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| phone |  | HF番号情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| phone |  | HF番号情報の通知を示す要素 | ○ | 1回 | 携帯電話の自局番号 |

【呼び出し時の機能名】

phone

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/phone.asp”>  <func name=”phone” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | window要素では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、common要素内の記述とリクエスト登録は  無視。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 05 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 07 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 09 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 11 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 13 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素では該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getHFnum.asp>  <phone />  </upload>  </extent>  </common> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>センターにHF番号を送信</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/phone.asp“ >  <func name=”phone” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getHFnum.asp>  <phone />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <phone>090xxxxxxxx</phone>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## ブラウザ情報の取得

【説明】

クライアントのブラウザ情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| browser |  | ブラウザ情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| browser |  | ブラウザ情報の通知を示す要素 | ○ | 1回 | G-Browser/1.0 :02ブラウザ  G-Browser/1.01　:02Vupブラウザ  03G-Browser/1.0 :03ブラウザ |

【呼び出し時の機能名】

browser

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/browser.asp” >  <func name=”browser” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 03 | 使用可能。ただしCDF登録は無視。 |
| 05 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 07 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 09 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 11 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 13 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>センターに情報を送信</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/terminfo.asp”>  <func name=”browser” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getBrowserInfo.asp”>  <browser />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <browser>03G-Browser/1.0</browser>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## システムバージョン情報の取得

【説明】

クライアントのブラウザ情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| system |  | システムバージョン情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| system |  | システムバージョン情報の通知を示す要素 | ○ | 1回 | バージョン情報 |

【呼び出し時の機能名】

system

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/system.asp” >  <func name=”system” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 05 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 07 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 09 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 11 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 13 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>センターに情報を送信</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/terminfo.asp”>  <func name=”system” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getsysversion.asp”>  <system />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <system>03NAVI-AW1.0</system>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## ダイアグ情報の取得

【説明】

クライアントのダイアグ情報を取得します。

ダイアグ情報の取得の詳細に関しては、「G-BOOK ML 2.0 機能仕様書 ～ 制御機能編」を参照のこと。

## エラーログ情報の取得

【説明】

クライアントのエラーログ情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| errorlog |  | エラーログ情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 書式の指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| termid |  | 端末ID | ○ | 1回 | 端末ID |
| errorlog |  | エラーログ情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | number | エラー件数を示す | ○ | 1回 | エラーの件数を通知 |
| format |  | 取得した情報の書式を通知する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 書式の通知 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| log |  | 個々のログの通知を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| date |  | 日時 | ○ | 1回 | 日時 |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコードの場合のみ、マップコード。それ以外はなし。 |
| lat |  | 緯度の通知 | × | 1回 | 緯度を通知 |
| lon |  | 経度の通知 | × | 1回 | 経度を通知 |
| errorid |  | エラーID | ○ | 1回 | エラーID |
| errorinfo |  | エラー内容 | ○ | 1回 | エラー内容 |

【呼び出し時の機能名】

errorlog

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/errorlog.asp” >  <func name=”errorlog” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。  errorid属性には、アプリケーション名が通知される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。  errorid属性には、アプリケーション名が通知される。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  errorid属性には、エラーIDが通知される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  errorid属性には、エラーIDが通知される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>端末情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/errorlog.asp” >  <func name=”errorlog” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/errorlog.asp”>  <errorlog />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <termid>XYZ-0001-001</termid>  <errorlog number=”1”>  <format type=”mc” />  <log>  <date>2002.10.29T07:35:00+9:00</date>  <pos>12345678\*99</pos>  <errorid>001</errorid>  <errorinfo>*エラー内容*</errorinfo>  </log>  </errorlog>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 広告の表示

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## 端末広告情報の取得

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## 広告容量情報の取得

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## 広告の消去

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## 広告の制御

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## アイコンテーブルの更新

【説明】

クライアントで保持するアイコンテーブルを指定したアイコンテーブルで更新します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| icontbl |  | アイコンテーブルの更新を示す要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
|  | type | アイコンテーブルの種別を示す属性 | × | 1回 | poi :Gメモリ地点アイコン  myrequest :Myリクエストアイコン  traffic :渋滞予測表示アイコン  省略時はpoi |
|  | contentname | アイコンテーブルのファイル名を示す属性 | × | 1回 | アイコンテーブルのファイル名を指定  省略時は、type属性の値+”.itb” |
|  | res | アイコンテーブルの更新完了時の通知先 | × | 1回 | 更新完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| flink |  | アイコンテーブルを指定 | ○ | 1回 | アイコンテーブルへのURLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

icontbl

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/icontbl.asp” >  <func name=”icontbl” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、common要素内での記述は無視される。  また、アイコンテーブルの更新に成功してもres属性に指定した  URLへの通知は行わない。  type、contentname属性は無視される。  icontbl要素は1回のみとする。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、common要素内での記述は無視される。  type、contentname属性は無視される。  icontbl要素は1回のみとする。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。  type、contentname属性は無視される。  icontbl要素は1回のみとする。 |
| 05 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 07 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 09 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、CDF登録は無視。  icontbl/@type属性の指定値にmyrequestを指定した場合は無視される。  呼び出し元として、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、CDF登録は無視。  icontbl/@type属性の指定値にmyrequestを指定した場合は無視される。  呼び出し元として、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* アイコンテーブルの更新に失敗した場合、クライアントの保有するデフォルトのアイコンが使用されます。
* アイコンテーブルの拡張子は、.itbとする必要があります。
* res属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <icontbl >  <flink>http://domain\_name/icon.tbl</flink>  </icontbl >  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>アイコンテーブルの更新</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/icontbl.asp” >  <func name=”icontbl” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <icontbl >  <flink>http://*domain\_name*/icon.itb</flink>  </icontbl >  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：更新完了の通知を受けとる場合の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <download>  <icontbl res=”http://*domain\_name*/res.asp”>  <flink>http://*domain\_name*/icon.itb</flink>  </icontbl>  <icontbl type=”poi” contentname=”icon\_a.itb”>  <flink>http://*domain\_name*/icon2.itb</flink>  </icontbl>  </download>  </extent>  </gbml> |

## ジャンルテーブルの更新

【説明】

クライアントで保持するジャンルテーブルを更新します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| genretbl |  | ジャンルテーブルの更新を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | ジャンルテーブルの更新完了時の通知先 | × | 1回 | 更新完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| flink |  | ジャンルテーブルを指定 | ○ | 1回 | ジャンルテーブルへのURLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

genretbl

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/genretbl.asp” >  <func name=”genretbl” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、ジャンルテーブルの更新に成功しても  res属性に指定したURLへの通知は行わない。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 05 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 07 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 09 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 11 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| 13 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンが非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* ジャンルテーブルのサイズは最大100KBとします。
* ジャンルテーブルの拡張子は、gtbとする必要があります。
* ジャンルテーブルの更新に失敗した場合、ジャンルテーブルは更新されません。
* res属性については、将来の拡張に備え用意されています。現時点においては使用されません。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>ジャンルテーブルの更新</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/genretbl.asp” >  <func name=”genretbl” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <genretbl >  <flink>http://domain\_name/gentbl.gtb</flink>  </genretbl >  </download>  </extent>  </gbml> |

## 現在地の取得

【説明】

クライアントの現在地を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| loc\_cur |  | 現在地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 書式の指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loc\_cur |  | 現在地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得した情報の書式を通知する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 書式の通知 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコードの場合のみ、マップコード。それ以外はなし。 |
| lat |  | 緯度の通知 | × | 1回 | 緯度を通知 |
| lon |  | 経度の通知 | × | 1回 | 経度を通知 |
| herror |  | 平面誤差の通知 | × | 1回 | 平面誤差を通知 |
| dir |  | 方向の通知 | × | 1回 | 方向を通知 |
| roadtype |  | 道路種別の通知 | × | 1回 | eway1 :都市間高速  eway2 :都市高速  troad :一般有料道路  nload :国道  pway :県道  groad :他の一般道 |
| routenumber |  | 路線番号の通知 | × | 1回 | 路線番号を通知 |

【呼び出し時の機能名】

loc\_cur

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/loc\_cur.asp” >  <func name=”loc\_cur” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、common要素内の記述、リクエスト登録、SMS登録は無視される。  herror、dir、roadtype、routenumberは省略されて通知される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、common要素内の記述、リクエスト登録、SMS登録は無視される。  herror、dir、roadtype、routenumberは省略されて通知される。 |
| 03 | 使用可能。  routenumberは省略されて通知される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内の指定に限り、マイエリアの指定により使用可能。herror、dir、roadtypeは省略されて通知される。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内の指定に限り、マイエリアの指定により使用可能。herror、dir、roadtypeは省略されて通知される。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内の指定に限り、マイエリアの指定により使用可能。herror、dir、roadtypeは省略されて通知される。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getcur\_location.asp”>  <loc\_cur />  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>近くの20軒</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/loc\_cur.asp” >  <func name=”loc\_cur” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getHFnum.asp”>  <loc\_cur />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_cur>  <format type=”mc”/>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99  <herror>20</herror>  <dir>45</dir>  </pos>  <roadtype>eway1</roadtype>  <routenumber>176</routenumber>  </point>  </poi>  </loc\_cur>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 目的地の取得

【説明】

クライアントの目的地を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| loc\_dst |  | 目的地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 書式の指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loc\_dst |  | 目的地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得した情報の書式を通知する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 書式の通知 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | number | ポイントの数 | ○ | 1回 | ポイントの数を通知 |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
|  | passed | 通過状態を  示す属性 | × | 1回 | yes :通過済み  no :未通過 |
|  | type | 地点種別を示す属性 | × | 1回 | gldst :案内不要目的地  gdst :通常案内目的地 |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定の場合のみ設定。 |
| lat |  | 緯度の通知 | × | 1回 | 緯度を通知 |
| lon |  | 経度の通知 | × | 1回 | 経度を通知 |
| pname |  | 施設名称 | × | 1回 | 施設名称を通知 |
| roadtype |  | 道路種別の通知 | × | 1回 | eway1 :都市間高速  eway2 :都市高速  troad :一般有料道路  nload :国道  pway :県道  groad :他の一般道 |
| routenumber |  | 路線番号の通知 | × | 1回 | 路線番号を通知 |
| eta |  | 到着予想時刻 | × | 1回 | 時刻を指定。以下の形式とする。  JPでは以下とする。  Thh:mm:ss+09:00 |

【呼び出し時の機能名】

loc\_dst

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/loc\_dst.asp” >  <func name=”loc\_dst” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、common要素内での記述、リクエスト登録は無視。  passed 、roadtype、routenumber、eta、point/@typeは省略されて通知される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、common要素内での記述、リクエスト登録は無視。  passed 、roadtype、routenumber、eta、point/@typeは省略されて通知される。 |
| 03 | 使用可能。  passed 、roadtype、routenumber、eta、point/@typeは省略されて通知される。 |
| 05 | 使用可能。  eta、point/@typeは省略されて通知される。 |
| 07 | 使用可能。  point/@typeは省略されて通知される。 |
| 09 | 使用可能。  point/@typeは省略されて通知される。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getdst\_location.asp”>  <loc\_dst />  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>目的地をアップロード</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/loc\_dst.asp” >  <func name=”loc\_dst” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getdst\_location.asp”>  <loc\_dst />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_dst>  <format type=”mc”/>  <poi number=”3”>  <point passed=”yes” type=”gldst”>  <pos>12345678\*00</pos>  <roadtype>eway1</roadtype>  <routenumber>176</routenumber>  </point>  <point passed=”yes” type=”gdst”>  <pos>12345678\*01</pos>  <roadtype>eway1</roadtype>  <routenumber>176</routenumber>  </point>  <point passed=”no”>  <pos>12345678\*02</pos>  <roadtype>eway1</roadtype>  </point>  </poi>  </loc\_dst>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 任意地の取得

【説明】

クライアントから任意の地点情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| loc\_app |  | 任意地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 書式の指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loc\_app |  | 目的地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得した情報の書式を通知する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 書式の通知 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコードの場合のみ、マップコード。それ以外はなし。 |
| lat |  | 緯度の通知 | × | 1回 | 緯度を通知 |
| lon |  | 経度の通知 | × | 1回 | 経度を通知 |

【呼び出し時の機能名】

loc\_app

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/loc\_app.asp” >  <func name=”loc\_app” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただしcommon要素内での記述は無視。 |
| 02Vup | 使用可能。ただしcommon要素内での記述は無視。 |
| 03 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 05 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 07 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 09 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 11 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| 13 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getapp\_location.asp”>  <loc\_app />  </upload>  </extent>  </common> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>任意地の検索</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/loc\_app.asp”>  <func name=”loc\_app”/>  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getapp\_location.asp”>  <loc\_app />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_app>  <format type=”mc”/>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  </point>  </poi>  </loc\_app>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 経路地情報の取得

【説明】

クライアントの経路地を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| loc\_route |  | 任意地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 書式の指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loc\_route |  | 経路地の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得した情報の書式を通知する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 書式の通知 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | number | 含まれるポイント数 | ○ | 1回 | ポイントの数を通知 |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | 最大50回まで指定可 |
|  | type | 経路中の地点の種別の通知 | ○ | 1回 | cur :現在地  rcchg :中継地点  dst :目的地  middst :中間目的地  tollgate :料金所 |
|  | turn | 地点の順序 | ○ | 1回 | 地点の順序を通知 |
|  | validate | 有効／無効の種別 | × | 1回 | valid :有効  invalid :無効  省略時はvalid |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコードの場合のみ、マップコード。それ以外はなし。 |
| lat |  | 緯度の通知 | × | 1回 | 緯度を通知 |
| lon |  | 経度の通知 | × | 1回 | 経度を通知 |
| dir |  | 方向の通知 | × | 1回 | 方向を通知 |
| roadtype |  | 道路種別の指定 | × | 1回 | eway1 :都市間高速  eway2 :都市高速  troad :一般有料道路  nroad :国道  pway :県道  groad :他の一般道 |
| routenumber |  | 路線番号の通知 | × | 1回 | 路線番号を通知 |
| highway |  | ハイウェイ対象路線情報を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| name |  | 地点名称の通知 | × | 1回 | 地点名称の通知 |
| icnumber |  | IC番号の通知 | × | 1回 | IC番号の通知 |

【呼び出し時の機能名】

loc\_route

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/dcminfo.asp” >  <func name=”loc\_route” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。  dir、routenumber、point/@validate、highwayは省略されて通知される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただしcommon要素内の記述、リクエスト登録は無視。  dir、routenumber、point/@validate、highwayは省略されて通知される。 |
| 03 | 使用可能。  dir、routenumber、point/@validate、highwayは省略されて通知される。 |
| 05 | 使用可能。  point/@validate、highwayは省略されて通知される。 |
| 07 | 使用可能。  point/@validate、highwayは省略されて通知される。 |
| 09 | 使用可能。  point/@validate、highwayは省略されて通知される。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |
| ケイタイ | － | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |
| M-Mode | － | window要素内では、該当ボタンは非表示。その他は無視。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります
* point要素は最大で50個通知されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getroute\_location.asp”>  <loc\_route />  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>この経路をアップロード</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/loc\_route.asp” >  <func name=”loc\_route” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getroute\_location.asp”>  <loc\_route />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_route>  <format type=”mc”/>  <poi number=”3”>  <point type=”cur” turn=”1” validate=”valid”>  <pos>12345600\*00</pos>  <roadtype>eway1</roadtype>  <routenumber>176</routenumber>  <highway>  <name>東名高速 ○○IC</name>  <icnumber>0000</icnumber>  </highway>  </point>  <point type=”rcchg” turn=”2”>  <pos>12345650\*50</pos>  </point>  <point type=”dst” turn=”3”>  <pos>12345699\*99</pos>  <roadtype>eway1</roadtype>  <routenumber>176</routenumber>  <highway>  <name>東名高速 ○○IC</name>  <icnumber>0001</icnumber>  </highway>  </point>  </poi>  </loc\_route>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 目的地設定

【説明】

位置情報を送信することで、クライアントでの目的地の設定を可能とします。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_guide |  | 目的地設定を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | groute | Gルート探索を示す属性 | × | 1回 | on :Gルート探索する  off :Gルート探索しない  省略時はoff |
| format |  | 位置情報の指定形式 | × | 1回 | なし |
|  | type | 位置情報の指定形式の選択 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | 最大5回まで指定可 |
|  | type | 目的地の地点種別 | × | 1回 | gdst:案内あり目的地  gldst:案内なし目的地  省略時はgdst |
|  | pinpoint | 座標精度を示す属性 | × | 1回 | on :ピンポイントの座標精度  off :ピンポイントではない  省略時は、off |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| guide |  | 案内位置を示す親要素 | × | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称を示す文字列を指定  JPでは全角35文字以内 |
| priority |  | 経路の検索条件の指定 | × | 1回 | toll :有料道路優先  free :一般道優先  recommend :推奨ルート  省略時はrecommend |
| roadtype |  | 道路種別の指定 | × | 1回 | eway1 :都市間高速  eway2 :都市高速  troad :一般有料道路  nroad :国道  pway :県道  groad :他の一般道  省略時はgroad |
| pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報の情報表示に関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 地点情報文字列 | × | 1回 | 地点情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| phone |  | 電話番号を示す要素 | × | 1回 | 電話番号を指定 |

【呼び出し時の機能名】

poi\_guide

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/poi\_guide.asp” >  <func name=”poi\_guide” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、地点情報に関するURLの指定および、地点名称文字列、priority, roadtype、pinpoint、underground、guide、ritem、phone、poi\_guide/@groute、point/@typeは無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、地点情報に関するURLの指定および、priority, roadtype、pinpoint、underground、guide、ritem、phone、poi\_guide/@groute、point/@typeは無視される。 |
| 03 | 使用可能。  pinpoint、underground、guide、ritem、phone、poi\_guide/@grouteは無視される。 |
| 05 | 使用可能。  ただし、pinfo、poi\_guide/@grouteは無視される。 |
| 07 | 使用可能。  ただし、pinfoは無視される。 |
| 09 | 使用可能。  目的地設定最大５、案内不要目的地設定最大２とする。但し、目的地設定は最低１以上設定する。 |
| 11 | 使用可能。  目的地設定最大５、案内不要目的地設定最大２とする。但し、目的地設定は最低１以上設定する。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  目的地設定最大１０、案内不要目的地設定最大２とする。但し、目的地設定は最低１以上設定する。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 該当ボタンが非表示。 |
| ケイタイ | － | 該当ボタンが非表示。 |
| M-Mode | － | 該当ボタンが非表示。 |

【注意事項】

* format/@typeはformat要素省略時のみ省略可能。また、pinfo/link要素は、親要素省略時のみ省略可能
* pos要素に対してデータを省略した場合(緯度・経度の指定)は、latおよびlonの各要素は省略不可
* 位置の指定(point要素)は、最大~~5つ~~10まで指定可能。それ以上は無視。緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、pinfo要素は無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* poi\_guide/dialog\_info要素とpoi\_guide/voice要素は同時に指定出来ない。
* poi\_guide/dialog\_info/button/bitem/link要素とpoi\_guide/dialog\_info/button/bitem/tel要素は同時に指定出来ない。
* 地点種別の案内なし目的地は、最大2地点のみ設定できます
* 地点種別の案内なし目的地は、最終地点には設定できません

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  …  <object>  <text>目的地に設定</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/poi\_guide.asp” >  <func name=”poi\_guide” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_guide>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  </point>  </poi>  </poi\_guide>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：緯度・経度および地点情報URL指定の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_guide>  <format type=”ltln” />  <poi>  <point>  <pos>  <lat>31.34.02.00</lat>  <lon>23.46.75.55</lon>  </pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <link url=” http://*domain\_name*/matsuzakaya.asp” />  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_guide>  </download>  </extent>  </gbml> |

## Gメモリ地点地図表示

【説明】

位置情報を送信することで、クライアントに対して地図を表示します。

車載端末においては、車載端末により地図画像が表示されます。その他のデバイスについては、テンプレート5により地図画像が表示されます。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_disp |  | 地図表示を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sid |  | サービスID（POIカテゴリ識別用ID） | × | 1回 | 0000～9999  省略時は0000 |
| format |  | 位置情報の指定形式 | × | 1回 | なし |
|  | type | 位置情報の指定形式の選択 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | 最大32回まで指定可 |
|  | guidedir | 近接案内方向を示す属性 | × | 1回 | 0を北として時計回りに32分割の値（0～31） |
|  | pinpoint | 座標精度を示す属性 | × | 1回 | on :ピンポイントの座標精度  off :ピンポイントではない  省略時は、off |
|  | guidezone | 近接案内距離を指定する属性 | × | 1回 | 10m単位で指定する。  最大：655350m、最小：10m |
|  | simpleinfo | 簡易情報画面表示を指定する属性 | × | 1回 | on :表示する  off :表示しない  省略時はoff |
|  | voicetype | 読み上げテキストの選択 | × | 1回 | name :地点名称読み上げ  info :地点情報読み上げ  省略時、読み上げは行わない |
|  | guideaccess | 近接案内URL自動アクセスフラグを指定する属性 | × | 1回 | on :自動アクセスする  off :自動アクセスしない  省略時はoff |
|  | guidevoice | 近接案内読上げフラグを指定する属性 | × | 1回 | on :自動読上げする  off :自動読上げしない  省略時はoff |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| guide |  | 案内位置を示す親要素 | × | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| link |  | 案内位置情報へのURL | × | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 案内位置情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| courseatt |  | 経路属性を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| roadtype |  | 道路種別を指定 | × | 1回 | eway1 :都市間高速道路  eway2 :都市高速道路  troad :有料道  nroad :国道  pway :県道  groad :一般道 |
| linkid |  | 道路識別用IDを指定 | × | 1回 | 道路識別用ID |
|  | direction | 方向フラグを指定 | × | 1回 | forward :順方向  backward :逆方向  省略時は順方向とする |
| region |  | 地域コードを指定 | × | 1回 | 16進数表記  最小値 :00  最大値 :FF  省略時はFFとする |
| diff |  | 差分を指定 | × | 1回 | 16進数表記  最小値 :00  最大値 :FF  省略時は00とする |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称を示す文字列を指定  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点名称の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=off時は、読み上げ可能文字列を半角カナ256文字以内 |
| icon |  | アイコンを示す要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | アイコンのid | ○ | 1回 | ポイントに表示するアイコンIDを指定。icon要素省略時は、デフォルトのアイコンを表示 |
| period |  | 有効期間を指定する親要素 | × | 1回 | AUTO-MLの動作に従い、有効期限無し(無期限)とする。 |
|  | type | 表示有効期限の種別を示す属性 | × | 1回 | accoff:ACC-OFF時に消去  period:表示有効期限後に消去  省略時はperiod  accoff指定の場合、  starttime、endtime要素を  無視する |
| starttime |  | 表示有効期限の開始日時を指定 | ○ | 1回 | 日時を指定。以下の形式とする。  JPでは以下の形式とする。  YYYY-MM-DDThhmmss+09:00  11車載端末では、2061/12/31　23:59まで指定可能。 |
| endtime |  | 表示有効期限の終了日時を指定 | ○ | 1回 | 日時を指定。以下の形式とする。  JPでは以下の形式とする。  YYYY-MM-DDThhmmss+09:00  11車載端末では、2061/12/31　23:59まで指定可能。 |
| pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報へのURL | × | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 地点情報文字列 | ○ | 1回 | 地点情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点情報の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=off時は、読み上げ可能文字列を半角カナ256文字以内 |
| phone |  | 電話番号を示す要素 | × | 1回 | 電話番号を指定 |
| f\_key |  | ボタン全体を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| button |  | ボタンを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | id | 表示位置を示すID | ○ | 1回 | 1～3の番号を指定 |
| text |  | ボタン上の表示テキスト | ○ | 1回 | ボタン上に表示するテキストを指定 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

poi\_disp

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/poi\_disp.asp” >  <func name=”poi\_disp” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、common要素内での記載は無視。  また、period要素及び配下要素、f\_key要素及び配下要素は無視される。  naviparam、guidedir、pinpoint、guidezone、underground、  simpleinfo、guide、ritem、period/@type、disp、phone、courseattは無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、common要素内での記載は無視。  また、period要素及び配下要素、f\_key要素及び配下要素は無視される。  naviparam、guidedir、pinpoint、guidezone、underground、  simpleinfo、guide、ritem、period/@type、disp、phone、courseattは無視される。 |
| 03 | 使用可能、ただし、f\_key要素及び配下要素は無視される。  naviparam、guidedir、pinpoint、guidezone、underground、  simpleinfo、guide、ritem、period/@type、disp、phone、courseattは無視される。 |
| 05 | 使用可能、ただし、f\_key要素及び配下要素、courseattは無視される。 |
| 07 | 使用可能、ただし、f\_key要素及び配下要素、naviparam、courseattは無視される。 |
| 09 | 使用可能、ただし、f\_key要素及び配下要素、naviparam、courseattは無視される。 |
| 11 | 使用可能、ただし、f\_key要素及び配下要素、naviparam、courseattは無視される。  呼び出し元として、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能、ただし、f\_key要素及び配下要素、naviparamは無視される。  呼び出し元として、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 使用可能。ただし、common要素内での記載は無視。  f\_key要素配下の指定に従い、表示した地図画面にボタンが配置される。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。ただし、common要素内での記載は無視。  f\_key要素配下の指定に従い、表示した地図画面にボタンが配置される。 |
| M-Mode | － | 使用可能。ただし、common要素内での記載は無視。  f\_key要素配下の指定に従い、表示した地図画面にボタンが配置される。 |

【注意事項】

* format/@typeおよび、icon/@idは各要素省略時のみ省略可能。また、pinfo/link要素は、親要素省略時のみ省略可能
* pos要素に対してデータを省略した場合(緯度・経度の指定)は、latおよびlonの各要素は省略不可
* 位置の指定(point要素)は、最大16まで指定可能。それ以上は無視。
* 車載端末、Pocket G-BOOK以外のデバイスでは、画像表示用テンプレートを用いた地図画像表示が行われます。
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* pinfo/link/@url属性を指定しない場合、車載端末の仕様によっては簡易情報画面へのボタンが表示されません。簡易情報画面へのボタンを表示する場合は、pinfo/ptext要素を指定すると共にpinfo/link/@url属性を指定してください。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、link要素は無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* poi\_disp/poi/point/icon/@idに指定するIDの値16777376～16777455は充電ステーション専用のため他のコンテンツは指定不可です。
* poi\_disp/sidに指定するIDの値1000～1999は充電ステーション専用のため他のコンテンツは指定不可です。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <poi\_disp>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  <f\_key>  <button id="1">  <text>ﾄｯﾌﾟ<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/shopsearch.asp” />  </command>  </button>  <button id="2">  <text>戻る<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/matuzakaya.asp" />  </command>  </button>  </f\_key>  </poi\_disp>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  …  <object>  <text>地図</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/poi\_disp.asp” >  <func name=”poi\_disp” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_disp>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  <f\_key>  <button id="1">  <text>ﾄｯﾌﾟ<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/shopsearch.asp” />  </command>  </button>  <button id="2">  <text>戻る<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/matuzakaya.asp" />  </command>  </button>  </f\_key>  </poi\_disp>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：緯度・経度および地点情報URL指定の時の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_disp>  <format type=”ltln” />  <poi>  <point>  <pos>  <lat>+35.12.34.56</lat>  <lon>+135.12.34.56</lon>  </pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <link url=”http://*domain\_name*/matsuzakaya.asp” />  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  <f\_key>  <button id="1">  <text>ﾄｯﾌﾟ<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/shopsearch.asp” />  </command>  </button>  <button id="2">  <text>戻る<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/matuzakaya.asp" />  </command>  </button>  </f\_key>  </poi\_disp>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：マップコードによる複数指定の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_disp>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  <point>  <pos>12345679\*01</pos>  <pname>高島屋</pname>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  <f\_key>  <button id="1">  <text>ﾄｯﾌﾟ<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/shopsearch.asp” />  </command>  </button>  <button id="2">  <text>戻る<text>  <command>  <link url="http://*Domain\_name*/contents/matuzakaya.asp" />  </command>  </button>  </f\_key>  </poi\_disp>  </download>  </extent>  </gbml> |

## Gメモリ地点地図登録

【説明】

Gメモリ地点情報を車載端末に登録します。画面は変化しません。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_reg |  | 地図登録を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sid |  | サービスID（POIカテゴリ識別用ID） | × | 1回 | JPでは0000～9999  省略時は0000 |
| format |  | 位置情報の指定形式 | × | 1回 | なし |
|  | type | 位置情報の指定形式の選択 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | 最大32回まで指定可 |
|  | guidedir | 近接案内方向を示す属性 | × | 1回 | 0を北として時計回りに32分割の値（0～31） |
|  | pinpoint | 座標精度を示す属性 | × | 1回 | on :ピンポイントの座標精度  off :ピンポイントではない  省略時は、off |
|  | guidezone | 近接案内距離を指定する属性 | × | 1回 | 10m単位で指定する。  最大：655350m、最小：10m |
|  | simpleinfo | 簡易情報画面表示を指定する属性 | × | 1回 | on :表示する  off :表示しない  省略時はoff |
|  | voicetype | 読み上げテキストの選択 | × | 1回 | name :地点名称読み上げ  info :地点情報読み上げ  省略時は読み上げは行わない |
|  | guideaccess | 近接案内URL自動アクセスフラグを指定する属性 | × | 1回 | on :自動アクセスする  off :自動アクセスしない  省略時はoff |
|  | guidevoice | 近接案内読上げフラグを指定する属性 | × | 1回 | on :自動読上げする  off :自動読上げしない  省略時はoff |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| guide |  | 案内位置を示す親要素 | × | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| link |  | 案内位置情報へのURL | × | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 案内位置情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| courseatt |  | 経路属性を示す親要素 | × | 1回 | なし |
| roadtype |  | 道路種別を指定 | × | 1回 | eway1 :都市間高速道路  eway2 :都市高速道路  troad :有料道  nroad :国道  pway :県道  groad :一般道 |
| linkid |  | 道路識別用IDを指定 | × | 1回 | 道路識別用ID |
|  | direction | 方向フラグを指定 | × | 1回 | forward :順方向  backward :逆方向  省略時は順方向とする |
| region |  | 地域コードを指定 | × | 1回 | 16進数表記  最小値 :00  最大値 :FF  省略時はFFとする |
| diff |  | 差分を指定 | × | 1回 | 16進数表記  最小値 :00  最大値 :FF  省略時は00とする |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称を示す文字列を指定  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点名称の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=”off”時は、読み上げ可能文字列を半角カナ256文字以内 |
| icon |  | アイコンを示す要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | アイコンのid | ○ | 1回 | ポイントに表示するアイコンIDを指定。icon要素省略時は、デフォルトのアイコンを表示 |
| period |  | 有効期間を指定する親要素 | × | 1回 | AUTO-MLの動作に従い、有効期限無し(無期限)とする。 |
|  | type | 表示有効期限の種別を示す属性 | × | 1回 | accoff:ACC-OFF時に消去  period:表示有効期限後に消去  省略時はperiod  accoff指定の場合、  starttime、endtime要素を無視する |
| starttime |  | 表示有効期限の開始日時を指定 | ○ | 1回 | 日時を指定。以下の形式とする。  JPでは以下の形式とする。  YYYY-MM-DDThhmmss+09:00  11車載端末では、2061/12/31　23:59まで指定可能。 |
| endtime |  | 表示有効期限の終了日時を指定 | ○ | 1回 | 日時を指定。以下の形式とする。  JPでは以下の形式とする。  YYYY-MM-DDThhmmss+09:00  11車載端末では、2061/12/31　23:59まで指定可能。 |
| pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報へのURL | × | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 地点情報文字列 | ○ | 1回 | 地点情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点情報の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=off時は、読み上げ可能文字列を半角カナ256文字以内 |
| phone |  | 電話番号を示す要素 | × | 1回 | 電話番号を指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | × | ○ | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 使用可能。  naviparam、guidedir、pinpoint、guidezone、underground、  simpleinfo、guide、ritem、period/@type、disp、phone、courseattは無視される。 |
| 05 | 使用可能。  courseattは無視される。 |
| 07 | 使用可能。  courseattは無視される。 |
| 09 | 使用可能。  courseattは無視される。 |
| 11 | 使用可能。  courseattは無視される。  呼び出し元として、window要素内、CDF登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、window要素内、CDF登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* format/@typeおよび、icon/@idは各要素省略時のみ省略可能。また、pinfo/link要素は、親要素省略時のみ省略可能
* pos要素に対してデータを省略した場合(緯度・経度の指定)は、latおよびlonの各要素は省略不可
* 位置の指定(point要素)の指定数は、最大で32個とする。
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、link要素は無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <poi\_reg>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  <point>  <pos>12345679\*01</pos>  <pname>高島屋</pname>  <pinfo>  <ptext>新春特売開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_reg>  </download>  </extent>  </common> |

## Gメモリ地点地図一括更新

【説明】

センターに保存されている地図情報を送信することで、クライアントに対して一括した地図登録を行います。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_update |  | 地図一括更新を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 位置情報の指定形式 | × | 1回 | なし |
|  | type | 位置情報の指定形式の選択 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | × | 1回  以上 | なし。  要素省略時は、全ての地点情報の削除として解釈する。 |
|  | simpleinfo | 簡易情報画面表示を指定する属性 | × | 1回 | on :表示する  off :表示しない  省略時はoff |
|  | pinpoint | 座標精度を示す属性 | × | 1回 | on :ピンポイントの座標精度  off :ピンポイントではない  省略時は、off |
|  | voicetype | 読み上げテキストの選択 | × | 1回 | name :地点名称読み上げ  info :地点情報読み上げ  省略時は読み上げは行わない |
| adid |  | ユニークID | × | 1回 | adid値を指定 |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| guide |  | 案内位置を示す親要素 | × | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| link |  | 案内位置情報へのURL | × | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 案内位置情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称を示す文字列を指定  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点名称の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=”off”時は、読み上げ可能文字列を半角カナで指定 |
| icon |  | アイコンを示す要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | アイコンのid | ○ | 1回 | ポイントに表示するアイコンIDを指定。icon要素省略時は、デフォルトのアイコンを表示 |
| genre |  | ジャンルを示す要素 | × | 1回 | なし。要素省略時は、デフォルト(その他)とする |
| big |  | 大ジャンルを示す要素 | ○ | 1回 | 大ジャンルのジャンルID |
| middle |  | 中ジャンルを示す要素 | ○ | 1回 | 中ジャンルのジャンルID |
| small |  | 小ジャンルを示す要素 | ○ | 1回 | 小ジャンルのジャンルID |
| pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報へのURL | × | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 地点情報文字列 | ○ | 1回 | 地点情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| addressinfo |  | 地点の住所を示す要素 | × | 1回 | 住所情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点情報の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=off時は、読み上げ可能文字列を半角カナで指定 |
| phone |  | 電話番号を示す要素 | × | 1回 | 電話番号を指定 |

【呼び出し時の機能名】

poi\_update

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/poi\_update.asp” >  <func name=”poi\_update” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 該当ボタンを非表示。ただし、adid要素は無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、addressinfo、adid要素は無視される。 |
| 03 | 該当ボタンを非表示。 |
| 05 | 使用可能。  ただし、genre、ptext要素は無視される。 |
| 07 | 使用可能。  ただし、genre、ptext要素は無視される。 |
| 09 | 使用可能。  ただし、genre、ptext要素は無視される。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、genre、ptext要素は無視される。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、genre、ptext要素は無視される。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 該当ボタンを非表示。 |
| ケイタイ | － | 該当ボタンを非表示。 |
| M-Mode | － | 該当ボタンを非表示。 |

【注意事項】

* format/@typeおよび、icon/@idは各要素省略時のみ省略可能。また、pinfo/link要素、genre/big要素、genre/middle要素および、genre/small要素は、親要素省略時のみ省略可能
* pos要素に対してデータを省略した場合(緯度・経度の指定)は、latおよびlonの各要素は省略不可
* 位置の指定(point要素)の指定数は、最大で100個とする。
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、link要素は無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* ptext要素は必須だが、05、07~~および09~~、09および11車載端末の場合は指定しても無視されます。
* 05、07~~および09~~、09および11車載端末で住所を指定したい場合、addressinfo要素を指定します。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>Gメモリ地点を登録！！</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/poi\_update.asp”>  <func name=”poi\_update” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  ・・・  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_update>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  <genre>  <big>1</big>  <middle>2</middle>  <small>4</small>  </genre>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  <point>  <pos>12345679\*01</pos>  <pname>高島屋</pname>  <genre>  <big>1</big>  <middle>2</middle>  <small>4</small>  </genre>  <pinfo>  <ptext>新春特売開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_update>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：緯度・経度および地点情報URL指定の時例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_update>  <format type=”ltln” />  <poi>  <point>  <pos>  <lat>+35.12.34.56</lat>  <lon>+135.12.34.56</lon>  </pos>  <pname>松坂屋</pname>  <genre>  <big>1</big>  <middle>2</middle>  <small>4</small>  </genre>  <pinfo>  <link url=”http://*domain\_name*/matsuzakaya.asp” />  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_update>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：一括した削除の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_update>  <poi />  </poi\_update>  </download>  </extent>  </gbml> |

## Gメモリ地点地図保存

【説明】

コンテンツより地点情報を送信することで、クライアントまたは、センターに地点情報を保存します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_mem |  | 地図保存を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 位置情報の指定形式 | × | 1回 | なし |
|  | type | 位置情報の指定形式の選択 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | pinpoint | 座標精度を示す属性 | × | 1回 | on :ピンポイントの座標精度  off :ピンポイントではない  省略時は、off |
|  | simpleinfo | 簡易情報画面表示を指定する属性 | × | 1回 | on :表示する  off :表示しない  省略時はoff |
|  | voicetype | 読み上げテキストの選択 | × | 1回 | name :地点名称読み上げ  info :地点情報読み上げ  省略時は読み上げは行わない |
| adid |  | ユニークID | × | 1回 | adid値を指定 |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| guide |  | 案内位置を示す親要素 | × | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| link |  | 案内位置情報へのURL | × | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 案内位置情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 案内位置情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称を示す文字列を指定  JPでは全角35文字以内 |
| Vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点名称の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=”off”時は、読上げ可能文字列を半角カナで指定 |
| Icon |  | アイコンを示す要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | アイコンのid | ○ | 1回 | ポイントに表示するアイコンIDを指定。icon要素省略時は、デフォルトのアイコンを表示 |
| Pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報へのURL | × | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 地点情報文字列 | ○ | 1回 | 地点情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| Addressinfo |  | 地点の住所を示す要素 | × | 1回 | 住所情報の文字列  JPでは全角35文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点情報の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=off時は、読み上げ可能文字列を半角カナで指定 |
| phone |  | 電話番号を示す要素 | × | 1回 | 電話番号を指定 |

【呼び出し時の機能名】

poi\_mem

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/poi\_mem.asp” >  <func name=”poi\_mem” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、phone、pinpoint、underground、simpleinfo、guide、ritem、addressinfo、adid要素は無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、phone、pinpoint、underground、simpleinfo、guide、ritem、addressinfo、adid要素は無視される。 |
| 03 | 使用可能。  icon/@id属性省略時および、明示的にデフォルト値(16777471)が指定された場合、属性値として16777248が採用される。  pinpoint、underground、simpleinfo、guide、ritem、addressinfoは無視される。 |
| 05 | 使用可能。  icon/@id属性省略時および、明示的にデフォルト値(16777471)が指定された場合、属性値として16777248が採用される。  ただし、ptext要素は無視される。 |
| 07 | 使用可能。  icon/@id属性省略時および、明示的にデフォルト値(16777471)が指定された場合、属性値として16777248が採用される。  ただし、ptext要素は無視される。 |
| 09 | 使用可能。  icon/@id属性省略時および、明示的にデフォルト値(16777471)が指定された場合、属性値として16777248が採用される。  ただし、ptext要素は無視される。 |
| 11 | 使用可能。  icon/@id属性省略時および、明示的にデフォルト値(16777471)が指定された場合、属性値として16777248が採用される。  ただし、ptext要素は無視される。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  icon/@id属性省略時および、明示的にデフォルト値(16777471)が指定された場合、属性値として16777248が採用される。  ただし、ptext要素は無視される。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 使用可能。Gメモリ地点情報をセンター側に保存のみ行う。 |
| ケイタイ | － | 使用可能。Gメモリ地点情報をセンター側に保存のみ行う。 |
| M-Mode | － | 使用可能。Gメモリ地点情報をセンター側に保存のみ行う。 |

【注意事項】

* format/@typeおよび、icon/@idは各要素省略時のみ省略可能。また、pinfo/link要素は、親要素省略時のみ省略可能
* pos要素に対してデータを省略した場合(緯度・経度の指定)は、latおよびlonの各要素は省略不可
* 位置の指定(point要素)の指定数は、必ず1回
* 車載端末の場合は、与えられた地点情報をセンターに登録するとともに、車載端末に対して情報を保存。その他のデバイスでは、センターへの登録のみ行う
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、link要素は無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* ptext要素は必須だが、05、07、09および11車載端末の場合は指定しても無視されます。
* 05、07、09および11車載端末で住所を指定したい場合、addressinfo要素を指定します。

【使用例】

* 画面表示向けG-BOOK MLでの呼び出し指定の例．

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>Gメモリ地点を保存</text>  <link url=”http://domain\_name/poi\_mem.asp”>  <func name=”poi\_mem” />  </link>  </object>  ・・・ |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>　・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_mem>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_mem>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：緯度・経度および地点情報URL指定の時例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_mem>  <format type=”ltln” />  <poi>  <point>  <pos>  <lat>+35.12.34.56</lat>  <lon>+135.12.34.56</lon>  </pos>  <pname>松坂屋</pname>  <pinfo>  <link url=”http://*domain\_name*/matsuzakaya.asp” />  <ptext>バーゲンセール開催中</ptext>  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_mem>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 読み上げ

【説明】

コンテンツより読み上げ情報を渡すことで、クライアントでの読み上げを可能とする。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| voice |  | 読み上げを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | priority | 読上げ優先度を示す要素 | × | 1回 | normalの場合  通常  highの場合  高い  省略時はnormal |
| vitem |  | 個々の読み上げ情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
|  | type | 音声タイプ | × | 1回 | tts :音声合成  recv :録音音声 |
| vtitle |  | オンスクリーン表示するタイトル文字を指定 | × | 1回 | タイトル文字を指定。 |
| vtext |  | 読み上げ文字列を指定 | ○ | 1回  以上 | voice/@conv属性値によって異なる。  voice/@convがonの場合  変換する読み上げ文字列を指定  voice/@convがoffの場合  読み上げデータを半角カナで指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素は無視される。  priorityは無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、vtitle要素は無視される。  priorityは無視される。 |
| 03 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。  priorityは無視される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 07 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 09 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 11 | 使用可能。ただし、window要素内での記述、vitem/@ type要素値recvは無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。  呼び出し元として、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。ただし、window要素内での記述、vitem/@ type要素値recvは無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。  呼び出し元として、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* vtitle要素に指定するオンスクリーンのタイトル文字は、最大で全角14文字とする。それ以降は表示されません。
* conv要素を複数指定する場合、全て同じ指定値を設定してください。複数のconv要素に違う指定値が設定された場合、最初のconv要素に指定された指定値が全てのvoice要素に反映されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <voice>  <vitem conv=”off”>  <vtitle>第一ホテル</vtitle>  <vtext>ﾀﾞｲｲﾁﾎﾃﾙﾊ,xxﾓﾄﾏｯﾀｺﾉｱﾙﾒｲｼｭｸ,ｸﾂﾛｷﾞﾉｸｳｶﾝｦ,ｴﾝｼｭﾂｼﾏｽ</vtext>  </vitem>  </voice>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

## リンク付き読み上げ

【説明】

コンテンツより読み上げ情報を渡すことで、クライアントでの読み上げを可能とし、読み上げ後、指定されたURLへ遷移する。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| voice\_link |  | リンク付き読み上げを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 読み上げ後の遷移先に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 読み上げ後の遷移先のURL | ○ | 1回 | 読み上げ後の遷移先のURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| vitem |  | 個々の読み上げ情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
|  | type | 音声タイプ | × | 1回 | tts :音声合成  recv :録音音声 |
| vtitle |  | オンスクリーン表示するタイトル文字を指定 | × | 1回 | タイトル文字を指定。  全角15文字以内 |
| vtext |  | 読み上げ文字列を指定 | ○ | 1回以上 | voice\_link/@conv属性値によって異なる。  voice\_link/@convがonの場合  変換する読み上げ文字列を指定  voice\_link/@convがoffの場合  読み上げデータを半角カナで指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素は無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、vtitle要素は無視される。 |
| 03 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 05 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 07 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 09 | 使用可能。ただし、window要素内での記述は無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、window要素内での記述、vitem/@ type要素値recvは無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。  呼び出し元として、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、window要素内での記述、vitem/@ type要素値recvは無視。  また、vtitle要素の省略時は、「G-BOOK情報」を表示。  呼び出し元として、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* vtitle要素に指定するオンスクリーンのタイトル文字は、最大で全角14文字とする。それ以降は無視される。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、「読み上げ」として動作します。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <voice\_link>  <vitem conv=”off”>  <link url=”http://domain\_name/daiichi\_hotel.asp” />  <vtitle>第一ホテル</vtitle>  <vtext>ﾀﾞｲｲﾁﾎﾃﾙﾊ,xxﾓﾄﾏｯﾀｺﾉｱﾙﾒｲｼｭｸ,ｸﾂﾛｷﾞﾉｸｳｶﾝｦ,ｴﾝｼｭﾂｼﾏｽ</vtext>  </vitem>  </voice\_link>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## 音声認識辞書の登録(コンテンツ)

【説明】

コンテンツで表示したページ内でのみ有効な音声認識辞書を登録します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| vrec\_con |  | コンテンツ用音声認識辞書登録を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | 辞書登録完了時の通知先 | × | 1回 | 登録完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| ritem |  | 個々の音声認識情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| rname |  | タイトル表示を示す文字列を指定 | × | 1回 | タイトル文字列を全角8文字、半角16文字以内で指定 |
| link |  | 音声認識時の遷移先に関する情報 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 音声認識時の遷移先のURL | ○ | 1回 | 音声認識時に遷移する先のURLをフルパスで指定。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| rtext |  | 認識文字の指定 | ○ | 1回  以上 | 音声認識のボキャブラリ全角8文字、半角16文字以内 |
| vitem |  | 読み上げ情報を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 読み上げ文字列を指定 | ○ | 1回 | voice/@conv属性値によって異なる。  onの場合:  変換する読み上げ文字列を指定  offの場合:  読み上げデータを半角カナで指定  半角50文字以内 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、音声認識辞書の登録に成功してもres属性に  指定したURLへの通知は行われない。  また、rtext要素は一つのみ有効。複数指定時は、先頭の文字列  のみが有効。  rname、vitemは無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、rtext要素は一つのみ有効。  複数指定時は、先頭の文字列のみが有効。  rname、vitemは無視される。 |
| 03 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。  rname、vitemは無視される。 |
| 05 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 07 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 09 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 11 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 13 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* ritem要素の指定数は、最大で30までとし、それ以降は無視される。
* vrec\_con/@res属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、該当するritem要素が無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* 音声認識時に遷移する先のURLは512文字までとし、それ以降は無視される。
* rtext要素にはコンテンツ名称を入れること。コンテンツ名称を持たない場合は、コンテンツ名に類似する情報を入れること。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <vrec\_con>  <ritem>  <link url=”http://*domain\_name*/daiichi\_hotel.asp” />  <rtext>ｼｮｳｻｲ</rtext>  <vitem>  <vtext>ｼｮｳｻｲ</rtext>  </vitem>  </ritem>  <ritem>  <link url=”http://*domain\_name*/daiichi\_hotel\_map.asp” />  <rtext>ﾁｽﾞ</rtext>  <vitem>  <vtext>ﾁｽﾞ</rtext>  </vitem>  </ritem>  </vrec\_con>  </download>  </extent>  </common>  </gbml> |

## 音声認識辞書の登録(音声リクエスト)

【説明】

音声リクエスト画面内で有効な音声認識辞書を登録します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| vrec\_req |  | 音声リクエスト用音声認識辞書登録を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | 辞書登録完了時の通知先 | × | 1回 | 登録完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| ritem |  | 個々の音声認識情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| rname |  | タイトル表示を示す文字列を指定 | ○ | 1回 | タイトル文字列を全角8文字、半角16文字以内で指定 |
| link |  | 音声認識時の遷移先に関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 音声認識時の遷移先のURL | ○ | 1回 | 音声認識時に遷移する先のURLをフルパスで指定。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| rtext |  | 認識文字の指定 | ○ | 1回  以上 | 音声認識のボキャブラリ  全角8文字、半角16文字以内 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | × | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 05 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 07 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 09 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 11 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| 13 | 使用可能。rtext要素は三つまで有効。四番目以降は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* ritem要素の指定数は、最大で18までとし、それ以降は無視される。
* vrec\_con/@res属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、該当するritem要素が無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <vrec\_req>  <ritem>  <rname>今日のニュース</rname>  <link url=”http://*domain\_name*/news.asp” />  <rtext>ﾆｭｰｽ</rtext>  </ritem>  <ritem>  <rname>今日の天気</rname>  <link url=”http://*domain\_name*/weather.asp” />  <rtext>ﾃﾝｷ</rtext>  </ritem>  </vrec\_req>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## 新着メール通知

【説明】

新着メールがあることをクライアントに通知します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| check\_mail |  | 新着メールの件数 | ○ | 1回 | メール件数 |

【呼び出し時の機能名】

check\_mail

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/check\_mail.asp” >  <func name=”check\_mail” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。サブウィンドウにて新着メールの存在を表示。 |
| 02Vup | 使用可能。サブウィンドウにて新着メールの存在を表示。 |
| 03 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着メールの存在を表示。 |
| 05 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着メールの存在を表示。 |
| 07 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着メールの存在を表示。 |
| 09 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着メールの存在を表示。 |
| 11 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着メールの存在を表示。 |
| 13 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着メールの存在を表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <object>  <command>  <text>メールを確認</text>  <link url=”http://*domain\_name*/check\_mail.asp”>  <func name=”check\_mail“ />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <download>  <check\_mail>5</check\_mail>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 新着情報通知

【説明】

新着情報があることをクライアントに通知します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| check\_info |  | 新着情報の通知を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

【呼び出し時の機能名】

check\_info

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/check\_info.asp” >  <func name=”check\_info” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。サブウィンドウにて新着情報の存在を表示。 |
| 02Vup | 使用可能。サブウィンドウにて新着情報の存在を表示。 |
| 03 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着情報の存在を表示。 |
| 05 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着情報の存在を表示。 |
| 07 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着情報の存在を表示。 |
| 09 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着情報の存在を表示。 |
| 11 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着情報の存在を表示。 |
| 13 | 使用可能。ダイアログボックスにて新着情報の存在を表示。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <object>  <command>  <text>新着情報</text>  <link url=”http://*domain\_name*/check\_info.asp”>  <func name=”check\_info“ />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <download>  <check\_info />  </download>  </extent>  </gbml> |

## サブウィンドウキャラクタ表示

【説明】

サブウィンドウに対して、キャラクタを表示します。キャラクタは、あらかじめ決められたID番号で示される固定のキャラクタとなります。独自のキャラクタを使用する場合は「6.35サブウィンドウ画像表示」を使用してください。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sub\_char |  | サブウィンドウキャラクタ表示を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| charid |  | キャラクタID | ○ | 1回 | キャラクタID |

【呼び出し時の機能名】

sub\_char

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/sub\_char.asp” >  <func name=”sub\_char” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | ○ | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <window>  ・・・  <sub>  <extent>  <download>  <sub\_char>  <charid>01</charid>  </sub\_char>  </download>  </extent>  </sub>  ・・・ |

## 読み上げ付きサブウィンドウキャラクタ表示

【説明】

サブウィンドウに対して、キャラクタを表示すると共に、指定の情報を読み上げます。キャラクタは、あらかじめ決められたID番号で示される固定のキャラクタとなります。独自のキャラクタを使用する場合は、「6.36読み上げ付きサブウィンドウ画像表示」を使用してください。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sub\_vchar |  | 読み上げ付きサブウィンドウキャラクタ表示を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| charid |  | キャラクタID | ○ | 1回 | キャラクタID |
| vitem |  | 読み上げ文字列を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 読み上げるテキストを指定します。 | ○ | 1回以上 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナで指定 |

【呼び出し時の機能名】

sub\_vchar

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/sub\_vchar.asp” >  <func name=”sub\_vchar” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | ○ | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* 画面表示向けG-BOOK MLでの呼び出し指定の例．

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <window>  ・・・  <sub>  <extent>  <download>  <sub\_vchar>  <charid>01</charid>  <vitem>  <vtext>ｺﾝﾆﾁﾊ</vtext>  </vtext>  </sub\_vchar>  </download>  </extent>  </sub>  ・・・ |

## サブウィンドウ画像表示

【説明】

サブウィンドウに対して、画像を表示します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sub\_img |  | サブウィンドウ画像表示を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| image |  | 表示する画像を指定 | ○ | 1回  以上 | 表示する画像へのURLをフルパスで指定 |
|  | type | キャラクタ画像の画像タイプを指定 | × | 1回 | swf :Flashファイル  jpeg :jpeg画像  gif :gif画像  省略時は、jpeg/gif |

【呼び出し時の機能名】

sub\_img

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/sub\_img.asp” >  <func name=”sub\_img” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | ○ | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 02イメージ | window要素内では、該当ボタンは非表示。 |
| 03イメージ | 無視される。 |
| 05イメージ | 無視される。 |
| 07イメージ | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 複数のデバイスに対応するため、画像を複数指定する必要があります。指定された画像の中から、デバイスに適した形式の画像が自動的に選択されます。選択する画像は、以下の表にしたがって選択されます。表中の番号は、優先順位を示します。

| デバイス種別 | | 画像種別 | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 大分類 | モデル | jpegファイル | gifファイル | Flashファイル |
| 車載端末 | 02 | - | - | 1 |
| 02Vup | 2 | - | 1 |
| Pocket G-BOOK | － | - | - | 1 |
| PC | 02イメージ | 2 | 3 | 1 |

【使用例】

* 画面表示向けG-BOOK MLでの呼び出し指定の例．

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <sub>  <extent>  <download>  <sub\_img>  <image type=”swf”>http://*domain\_name*/character.swf</image>  <image type=”jpeg”>http://*domain\_name*/character.jpeg</image>  </sub\_img>  </download>  </extent>  </sub>  ・・・ |

## 読み上げ付きサブウィンドウ画像表示

【説明】

サブウィンドウに対して、画像を表示すると共に、指定の情報を読み上げます。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sub\_vimg |  | 読み上げ付きサブウィンドウ画像表示を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| image |  | 表示するキャラクタを指定 | ○ | 1回  以上 | 表示する画像へのURLをフルパスで指定 |
|  | type | キャラクタ画像の画像タイプを指定 | × | 1回 | swf :Flashファイル  jpeg :jpeg画像  省略時は、jpeg |
| vitem |  | 読み上げ文字列を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 読み上げるテキストを指定します。 | ○ | 1回以上 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナで指定 |

【呼び出し時の機能名】

sub\_vimg

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/sub\_vimg.asp” >  <func name=”sub\_vimg” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | ○ | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 02イメージ | 「サブウィンドウ画像表示」として動作。 |
| 03イメージ | 無視される。 |
| 05イメージ | 無視される。 |
| 07イメージ | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 複数のデバイスに対応するため、画像を複数指定する必要があります。指定された画像の中から、デバイスに適した形式の画像が自動的に選択されます。選択する画像は、以下の表にしたがって選択されます。表中の番号は、優先順位を示します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| デバイス種別 | | 画像種別 | |
| 大分類 | モデル | jpegファイル | Flashファイル |
| 車載端末 | 02 | - | 1 |
| 02Vup | 2 | 1 |
| Pocket G-BOOK | － | - | 1 |
| PC | 02イメージ | 2 | 1 |

【使用例】

* 画面表示向けG-BOOK MLでの呼び出し指定の例．

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <sub>  <extent>  <download>  <sub\_vimg>  <image type=”swf”>http://domain\_name/character.swf</image>  <image type=”jpeg”>http://domain\_name/character.jpeg</image>  <vitem>  <vtext conv=”off”>ｺﾝﾆﾁﾊ</vtext>  </vitem>  </sub\_vimg>  </download>  </extent>  </sub>  </gbml> |

## AUTOLIVE CP情報

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## AUTOLIVE お気に入り曲情報

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## AUTOLIVE ライブチャンネル情報

本機能は、G-BOOK ML 2.0ではサポートいたしません。

## 永続キャッシュ情報の取得

【説明】

クライアントの永続キャッシュ情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| cachevol |  | 永続キャッシュ情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| cachevol |  | 永続キャッシュ情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | 端末ID |
| volume |  | 永続キャッシュの実装容量の取得 | ○ | 1回 | 永続キャッシュの実装容量の取得 |
| resource |  | 永続キャッシュの残容量の取得 | ○ | 1回 | 永続キャッシュの残容量の取得 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| × | × | × | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、リクエスト登録は無視される。 |
| 03 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視される。 |
| 07 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視される。 |
| 09 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視される。 |
| 11 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視される。  呼び出し元として、common要素内、window要素内、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。ただし、CDF登録は無視される。  呼び出し元として、common要素内、window要素内、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 永続キャッシュ情報が取得できない場合、cachevol要素内の各要素は空になります。

【使用例】

* CDF要求時等での拡張機能のG-BOOK ML書式での記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getterminfo.asp>  <cachevol />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <cachevol>  <volume>400000</volume>  <resource>150000<resource>  </cachevol>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 永続キャッシュへの登録

【説明】

クライアントに対して永続キャッシュの登録および永続キャッシュからの削除を行います。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| cachectrl |  | 永続キャッシュの登録を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | 永続キャッシュ登録完了時の通知先 | × | 1回 | 登録完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| cachedata |  | キャッシュする情報を示す要素 | ○ | 1回  以上 | 最大50回まで指定可 |
|  | act | 登録の種別(追加、削除)を指定 | ○ | 1回 | add :追加  del :削除 |
| clink |  | 永続キャッシュに登録する対象を指定 | ○ | 1回  以上 | 対象のURLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

cachectrl

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/cachectrl.asp” >  <func name=”cachectrl” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、common要素内での記載、リクエスト登録は  無視。また、res属性は無視される。  永続キャッシュからの削除はできない。 |
| 02Vup | 使用可能。ただし、common要素内での記載、リクエスト登録は  無視。 |
| 03 | 使用可能。ただし、window要素内では、該当ボタンが非表示。  また、CDF登録は無視される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、window要素内では、該当ボタンが非表示。  また、CDF登録は無視される。 |
| 07 | 使用可能。ただし、window要素内では、該当ボタンが非表示。  また、CDF登録は無視される。 |
| 09 | 使用可能。ただし、window要素内では、該当ボタンが非表示。  また、CDF登録は無視される。 |
| 11 | 使用可能。ただし、window要素内では、該当ボタンが非表示。  また、CDF登録は無視される。  呼び出し元として、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。ただし、window要素内では、該当ボタンが非表示。  また、CDF登録は無視される。  呼び出し元として、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 特になし

【使用例】

* 登録時

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <cachectrl>  <cachedata act=”add”>  <clink>http://*domain\_name*/contents/topmenu.asp</clink>  <clink>http://*domain\_name*/contents/nextmenu.asp</clink>  </cachedata>  </cachectrl>  </download>  </extent>  </gbml> |

* 削除時

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <cachectrl>  <cachedata act=”del”>  <clink>http://*domain\_name*/contents/topmenu.asp</clink>  <clink>http://*domain\_name*/contents/nextmenu.asp</clink>  </cachedata>  </cachectrl>  </download>  </extent>  </gbml> |

## CDFのダウンロード

【説明】

クライアントに対して、CDFファイルをダウンロードします。

CDFに関する詳細については「G-BOOK ML 2.0 機能仕様書 ～　制御機能編」を参照のこと。

## 契約フラグの設定

【説明】

クライアントに対して、契約状態を示す契約フラグを設定します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| contract |  | 契約フラグの設定を示す親要素 | ○ | 1回 | on :契約  off :契約解除 |
|  | res | フラグ設定時の通知先 | × | 1回 | フラグ設定完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| link |  | フラグ設定完了後の遷移先に関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | フラグ設定完了後の遷移先 | ○ | 1回 | フラグ設定完了後の遷移先URLをフルパスで指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。ただし、契約フラグの設定に成功してもres属性に  指定したURLへの通知は行わない。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、window要素内、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、window要素内、CDF登録、リクエスト登録、SMS登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* contract/@res属性については、設定に成功した場合のみ通知される。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <contract>on  <link url=”http://*domain\_name*/contract\_on.asp” />  </contract>  </download>  </extent>  </common>  ・・・</gbml> |

## MYリクエスト

【説明】

G-BOOKのサービス( ニュース、天気予報、周辺施設情報など)をあらかじめ登録し、MYリクエスト画面からのダイレクトな呼び出しを可能とします。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| launcher |  | MYリクエストを示す親要素 | ○ | 1回 |  |
|  | type | MYリクエストの種別を示す属性 | × | 1回 | accon :ACC-ON用  normal :通常用  省略時はnormal |
|  | res | 設定時の通知先 | × | 1回 | 設定完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| mitem |  | 個々のリクエスト内容を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| mname |  | タイトルとして表示される文字列 | ○ | 1回 | タイトル表示文字列を全角24文字、半角12文字以内で指定 |
| link |  | サービスへのアクセス先に関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | サービスへのアクセス先のURL | ○ | 1回 | サービスのアクセス先のURLをフルパスで指定 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| icon |  | 表示するアイコンを示す親要素 | × | 1回 | なし。省略時は、デフォルトのアイコンを表示。 |
|  | id | アイコンをあらわすID | ○ | 1回 | アイコンIDを指定 |
| ritem |  | 個々の音声認識情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし  ※05車載端末の場合は必須 |
| rname |  | タイトル表示を示す文字列を指定 | ○ | 1回 | タイトル文字列を全角8文字、半角16文字以内で指定 |
| rtext |  | 認識文字の指定 | × | 1回  以上 | 音声認識のボキャブラリ  全角8文字、半角16文字以内 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | × | 1回 | なし。  要素省略時、読み上げは行わない |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回  以上 | conv=off時は、読み上げ可能文字列を半角カナ50文字以内 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 使用可能。  launcher/@type、ritemは無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、iconは無視される。  呼び出し元として、window要素内、CDF登録、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、iconは無視される。  呼び出し元として、window要素内、CDF登録、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* mitem要素の指定数は、最大18までであり、それ以降は無視される
* icon要素指定時は、必ずid属性を指定すること
* 指定するアイコンIDの詳細については、ガイドラインを参照のこと
* launcher/@res属性のURLへは設定が成功した場合のみ、通知される
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、該当するmitem要素が無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <launcher>  <mitem>  <mname>渋滞情報(一般道)</mname>  <link url=”http://*domain\_name*/IncJamNormal.asp” />  </mitem>  <mitem>  <mname>渋滞情報(高速道)</mname>  <link url=”http://*domain\_name*/IncJamHighWay.asp” />  </mitem>  <mitem>  <mname>付近の「食べる」</mnane>  <link url=”http://*domain\_name*/IncEat.asp” />  </mitem>  </launcher>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## 動作指定ダイアログオンスクリーン(目的地)

【説明】

ダイアログメッセージを表示し、ユーザの指定に基づいて目的地を設定します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| dialog\_guide |  | 目的地設定のダイアログオンスクリーンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| message |  | メッセージ内容を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | layout | メッセージの表示位置を指定 | × | 1回 | center :中央  left :左  right :右  省略時はcenter |
| mtitle |  | ダイアログ中に表示するメッセージを指定 | ○ | 1回 | メッセージテキストを1行全角15文字以内で、2行までで指定 |
| vitem |  | 読み上げを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | ダイアログ表示時に読み上げるテキストを指定 | ○ | 1回以上 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナで指定 |
| button |  | ダイアログに表示するボタンを表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| bitem |  | 個々のボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | ボタンの意味指定 | ○ | 1回 | 1 :「はい」 |
| poi\_guide |  | 地点情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 地点情報指定時の指定形式を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 地点情報の指定形式を指定 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  format要素省略時は、mc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回以上 | なし |
|  | type | 目的地の地点種別 | × | 1回 | gdst:案内あり目的地  gldst:案内なし目的地  省略時はgdst |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし。 |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| priority |  | 経路の検索条件を指定 | × | 1回 | toll :有料道路優先  free :一般道優先  recommend :推奨設定  省略時は、推奨設定 |
| vitem |  | 読み上げ文字列を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | ボタン押下時の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナ256文字以内で指定 |
| bitem |  | 個々のボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | ボタンの意味指定 | ○ | 1回 | 2 :「いいえ」 |
| vitem |  | 読み上げ文字列を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | ボタン押下時の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナ256文字以内で指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、window要素内も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、window要素内も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* point要素は最大5まで指定可能
* 走行規制の解除につきましては、G-BOOKセンター全体での管理が必要となります。十分な配慮の上、ご使用ください。
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* 地点種別の案内なし目的地は、最大2地点のみ設定できます
* 地点種別の案内なし目的地は、最終地点には設定できません

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <dialog\_guide>  <message>  <mtitle>たこ正を目的地に設定しますか？</mtitle>  <vitem>  <vtext>ﾀｺﾏｻｦﾓｸﾃｷﾁﾆｾｯﾃｲｼﾏｽｶ</vtext>  </vitem>  </message>  <button>  <bitem id=”1”>  <poi\_guide>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  </point>  </poi>  </poi\_guide>  <vitem>  <vtext>ﾀｺﾏｻｦﾓｸﾃｷﾁﾆｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ</vtext>  </vitem>  </bitem>  <bitem id=”2”>  <vitem>  <vtext>ﾓﾄﾉｶﾞﾒﾝﾆﾓﾄﾞﾘﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  </button>  </dialog\_guide>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* CDF要求時等での拡張機能のG-BOOK ML書式での記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <dialog\_guide>  <message>  <mtitle>たこ正を目的地に設定しますか？</mtitle>  <vitem>  <vtext>ﾀｺﾏｻｦﾓｸﾃｷﾁﾆｾｯﾃｲｼﾏｽｶ</vtext>  </vitem>  </message>  <button>  <bitem id=”1”>  <poi\_guide>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  </point>  </poi>  </poi\_guide>  <vitem>  <vtext>ﾀｺﾏｻｦﾓｸﾃｷﾁﾆｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ</vtext>  </vitem>  </bitem>  <bitem id=”2”>  <vitem>  <vtext>ﾓﾄﾉｶﾞﾒﾝﾆﾓﾄﾞﾘﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  </button>  </dialog\_guide>  </download>  </extent>  ・・・  </gbml> |

## 動作指定ダイアログオンスクリーン(情報取得)

【説明】

ダイアログメッセージを表示し、ユーザの指定に基づいて情報取得を行います。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| dialog\_info |  | 情報取得のダイアログオンスクリーンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| message |  | メッセージ内容を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | disptime | 表示時間を指定 | × | 1回 | 表示したい時間を単位：秒で指定  1～60秒まで指定可  省略時は消去しない |
|  | layout | メッセージの表示位置を指定 | × | 1回 | center :中央  left :左  right :右  省略時はcenter |
|  | priority | 読上げ優先度を指定 | × | 1回 | normal :通常  high :高い  省略時はnormal |
| mtitle |  | ダイアログ中に表示するメッセージを指定 | ○ | 1回 | メッセージテキストを1行全角15文字以内で、2行までで指定 |
| vitem |  | 読み上げを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | ダイアログ表示時に読み上げるテキストを指定 | ○ | 1回  以上 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナで指定 |
| button |  | ダイアログに表示するボタンを表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| bitem |  | 個々のボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | ボタンの意味指定 | ○ | 1回 | 1 :「はい」 |
|  | validate | ボタンの非表示指定 | × | 1回 | valid :表示  invalid :非表示 |
| bname |  | ボタンの名称を示す文字列を指定 | × | 1回 | 全角6文字以内  省略時は「はい」 |
| link |  | ボタン押下時の遷移先に関する親要素 | × | 1回 | なし  ※tel要素と同時に指定することは出来ない |
|  | url | ボタン押下時の遷移先のURL | ○ | 1回 | 遷移先URLをフルパスで指定  ローカルURLの指定可能 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| brwsaction |  | ブラウザでコンテンツを表示するかどうかの指定 | × | 1回 | on : ブラウザでコンテンツ表示を行う  off :ブラウザでコンテンツ表示を行わない  省略時はon |
| tel |  | ボタン押下時の電話発呼に関する要素 | × | 1回 | 電話番号を数値で指定  ※link要素と同時に指定することは出来ない |
|  | confirm | 電話をかける際の発呼確認の制御 | × | 1回 | yes :確認を行う  no :確認を行わない  省略時はno |
| vitem |  | 読み上げを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | ボタン押下時の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  conv=”off”の場合：  読み上げテキストを半角カナ256文字以内で指定 |
| bitem |  | 個々のボタンを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | id | ボタンの意味指定 | ○ | 1回 | 2 :「いいえ」 |
|  | validate | ボタンの非表示指定 | × | 1回 | valid :表示  invalid :非表示 |
| bname |  | ボタンの名称を示す文字列を指定 | × | 1回 | 全角6文字以内  省略時は「いいえ」 |
| link |  | ボタン押下字の遷移先に関する親要素 | × | 1回 | なし  ※tel要素と同時に指定することは出来ない |
|  | url | ボタン押下字の遷移先のURL | ○ | 1回 | 遷移先URLをフルパスで指定  ローカルURLの指定可能 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| brwsaction |  | ブラウザでコンテンツを表示するかどうかの指定 | × | 1回 | on : ブラウザでコンテンツ表示を行う  off :ブラウザでコンテンツ表示を行わない  省略時はon |
| tel |  | ボタン押下時の電話発呼に関する要素 | × | 1回 | 電話番号を数値で指定  ※link要素と同時に指定することは出来ない |
|  | confirm | 電話をかける際の発呼確認の制御 | × | 1回 | yes :確認を行う  no :確認を行わない  省略時はno |
| vitem |  | 読み上げを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon |
| vtext |  | ボタン押下時の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | 読み上げる文字列を半角カナ256文字以内で指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | × | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 使用可能。  message/@disptime、message/@priorit、bname、ritem、brwsactionは無視される。 |
| 05 | 使用可能。  message/@priorityは無視される。 |
| 07 | 使用可能。  message/@priorityは無視される。 |
| 09 | 使用可能。  message/@priorityは無視される。 |
| 11 | 使用可能。  ただしmessage/@priority 、tel/@confirmは無視される。  呼び出し元として、window要素内も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  ただしtel/@confirmは無視される。  呼び出し元として、window要素内も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。
* bitemのvaildate属性にて両方validを指定した場合、後に指定した方は無視されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <dialog\_info>  <message>  <mtitle>新着メールがあります。  表示しますか？</mtitle>  <vitem>  <vtext>ｼﾝﾁｬｸﾒｰﾙｶﾞｱﾘﾏｽ｡ﾋｮｳｼﾞｼﾏｽｶ</vtext>  </vitem>  </message>  <button>  <bitem id=”1”>  <link url=”http://*domain\_name*/mail\_new.asp” />  <vitem>  <vtext>ｼﾝﾁｬｸﾒｰﾙｦﾋｮｳｼﾞｼﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  <bitem id=”2”>  <vitem>  <vtext>ﾓﾄﾉｶﾞﾒﾝﾆﾓﾄﾞﾘﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  </button>  </dialog\_info>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* CDF要求時等での拡張機能のG-BOOK ML書式での記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <dialog\_info>  <message>  <mtitle>新着メールがあります。  表示しますか？</mtitle>  <vitem>  <vtext>ｼﾝﾁｬｸﾒｰﾙｶﾞｱﾘﾏｽ｡ﾋｮｳｼﾞｼﾏｽｶ</vtext>  </vitem>  </message>  <button>  <bitem id=”1”>  <link url=”http://*domain\_name*/mail\_new.asp” />  <vitem>  <vtext>ｼﾝﾁｬｸﾒｰﾙｦﾋｮｳｼﾞｼﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  <bitem id=”2”>  <vitem>  <vtext>ﾓﾄﾉｶﾞﾒﾝﾆﾓﾄﾞﾘﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  </button>  </dialog\_info>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 交通情報地点表示

【説明】

センターより配信される交通情報地点表示データをカードナビの地図上に表示する。

センターより配信される交通情報表示データをナビI/Fアプリに引き渡す。交通情報地点表示データ取得後、ナビ画面に遷移する。ナビ画面に遷移した後、各交通情報地点表示データの読み上げデータの読み上げを行う。（ナビ側の設定に従う）

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_traf |  | 交通情報地点情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 交通情報地点の指定形式を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 交通情報地点の指定形式を指定 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  format要素省略時は、mc |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称文字列 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読上げ変換の指定 | × | 1回 | on ：読み上げ変換する  off ：読上げ変換しない  省略時は、on |
| vtext |  | 地点名称の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | 地点名称読上げ文字列 |
| icon |  | アイコンを示す要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | アイコンのid | ○ | 1回 | ポイントに表示するアイコンIDを指定。icon要素省略時は、デフォルトのアイコンを表示 |
| pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報の情報表示に関する親要素 | × | 1回 | なし |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × |  | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 地点情報文字列 | ○ | 1回 | 地点情報の文字列 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読上げ変換の指定 | × |  | on ：読み上げ変換する  off ：読上げ変換しない  省略時は、on |
| vtext |  | 地点情報の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | 地点情報として読上げる文字列を指定する。  conv=”off”時は、読み上げ可能文字列を半角カナで指定 |

【呼び出し時の機能名】

poi\_traf

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/poi\_traf.asp” >  <func name=”poi\_traf” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト |
| × | × | ○ | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* point要素は最大32回とする。
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>交通情報地点表示</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/ poi\_traf.asp” >  <func name=” poi\_traf” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_traf>  <format type=”mc”/>  <poi>  <point>  <pos>1234567891\*12</pos>  <pname>東名高速 下り 名古屋IC付近 渋滞 8.0km</pname>  　　　　 <vitem>  <vtext>東名高速 下り 名古屋インターチェンジ付近 渋滞 8キロ</vtext>  </vitem>  <icon id=”12345678”/>  <pinfo>  <link url=”http://*Domain\_name*/traffic/nagoya/” contentsid=”ABC-001” />  <ptext>東名高速 下り 名古屋IC付近 8キロ 渋滞しています。  事故による渋滞です。ここを通り抜けるのに約30分かかります。</ptext>  <vitem>  <vtext>東名高速 下り 名古屋インターチェンジ付近 8キロ 渋滞しています。事故による渋滞です。ここを通り抜けるのに約30分かかります。</vtext>  </pinfo>  </point>  </poi>  </poi\_traf>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 周辺施設地点表示

【説明】

センターより配信される周辺施設地点表示データをカードナビの地図上に表示する。

センターより配信される周辺施設地点表示データをナビＩ／Ｆアプリに引き渡す。

周辺施設地点表示データ取得後、ナビ画面に遷移する。

ナビ画面に遷移した後、各周辺施設地点表示データの読上げデータの読上げを行う。（ただし、ナビ側の設定に従う。）

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_inst |  | 周辺施設地点を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 周辺施設地点の書式を指定する親要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 周辺施設地点の書式を指定 | ○ | 1回 | mc :マップコード  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  format要素省略時は、mc |
| dicon |  | 周辺種別アイコンを指定する親要素 | ○ | 1回 | なし |
| iconid |  | 施設種別アイコンのID | ○ | 1回 | ポイントに表示する施設種別アイコンのIDを指定 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度の指定 | × | 1回 | 緯度を指定 |
| lon |  | 経度の指定 | × | 1回 | 経度を指定 |
| pname |  | 地点名称を示す文字列 | ○ | 1回 | 地点名称文字列 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on ：読上げ変換する  off ：読上げ変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 周辺施設地点の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | 地点名称読上げ文字列 |
| icon |  | 周辺施設アイコンを示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | 周辺施設アイコンのID | ○ | 1回 | ポイントに表示する周辺施設アイコンIDを指定。 |
| pinfo |  | 地点に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 地点情報へのURL | × | 1回 | なし |
|  | url | 地点情報に関する情報表示のためのURL | ○ | 1回 | 地点情報に関する情報表示のためのURLをフルパスで指定する。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| ptext |  | 周辺施設地点情報文字列 | ○ | 1回 | 地点情報の文字列 |
| vitem |  | 読み上げに関する親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | - | on ：読上げ変換する  off ：読上げ変換しない  省略時はon |
| vtext |  | 地点情報の読み上げ文字列の指定 | ○ | 1回 | 地点情報として読上げる文字列を指定する。  conv=”off”時は、読み上げ可能文字列を半角カナで指定。 |
| phone |  | 電話番号 | × | 1回 | 施設情報に対する電話番号を指定する |

【呼び出し時の機能名】

poi\_inst

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/poi\_inst.asp” >  <func name=”poi\_inst” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト |
| × | × | ○ | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* point要素の出現回数は、最大32回とする。
* 緯度・経度の指定時は、1/100秒まで必ず指定すること。
* contentsid属性は、デバイスによってサポートされないサービスを制御するために使用されます。該当コンテンツが特定デバイスでサポートされない場合は、無視されます。
* contentsid属性が省略された場合、すべてのデバイスでサポートされるコンテンツとみなされます。
* func要素は、デバイスごとに使用の可否を判断する場合に使用されます。該当機能が使用不可の場合、無視されます。
* 拡張機能へのlinkを使用する場合、func要素を必ず指定する必要があります。指定されない場合は、コンテンツ表示機能のタグセットへのリンクと判断され、エラー画面が表示されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>周辺施設地点表示</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/ poi\_inst.asp” >  <func name=” poi\_inst” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <poi\_inst>  <format type=”ltln” />  <dicon>  <iconid>12345678</iconid>  </dicon>  <poi>  <point>  <pos>  <lat>34.59.4.60</lat>  <lon>137.0.18.52</lon>  </pos>  <pname>千種</pname>  　<vitem conv=”off”>  <vtext>ﾁｸｻ</vtext>  </vitem>  <icon id=”12345679”/>  <pinfo>  <link url=”http://*Domain\_name*/chikusa” contentsid=”ABC-123” />  <ptext>都市景観整備地区の今池を中心に、ビジネスの街として発展中</ptext>  <vitem conv=”off”>  <vtext>ﾄｼｹｲｶﾝｾｲﾋﾞﾁｸﾉｲﾏｲｹｦﾁｭｳｼﾝﾆ,ﾋﾞｼﾞﾈｽﾉﾏﾁﾄｼﾃﾊｯﾃﾝﾁｭｳ</vtext>  </vitem>  </pinfo>  <phone>05212345678</phone>  </point>  </poi>  </poi\_inst>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

## キャラクタ情報の取得

【説明】

端末で使用しているキャラクタ（ユーザが選択したキャラクタ）情報をセンター側へアップする機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | - | アップロード先URL |
| charinfo |  | キャラクタ情報を示す親要素 | ○ | 1回 | （空） |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| charinfo |  | キャラクタ要素を示す親要素 | ○ | 1回 | キャラクタ情報 |

【呼び出し時の機能名】

charinfo

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/charinfo.asp” >  <func name=”charinfo” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト |
| × | × | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>キャラクタ情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/charinfo.asp”>  <func name=”charinfo”/>  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://www.g-book.com”>  <charinfo/>  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <charinfo>char01</charinfo>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 永続キャッシュの全データ削除

【説明】

クライアントに対して永続キャッシュの全削除を行います。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| cacheclr |  | 永続キャッシュの全削除を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | 永続キャッシュ全削除完了時の通知先 | × | 1回 | 全削除完了時の通知先URLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

cacheclr

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/cacheclr.asp” >  <func name=”cacheclr” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | Window要素内 | CDF登録 | リクエスト | SMS登録 |
| × | × | ○ | ○ | × | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、common要素内、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、common要素内、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* データが永続キャッシュ内に存在しない場合、処理を実行しない。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>永続キャッシュの全削除</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/ cacheclr.asp” >  <func name=” cacheclr” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <cacheclr res="http://www.g-book.com/menu/\*\*\*" />  </download>  </extent>  </gbml> |

## 地図中心付近地の取得

【説明】

地図中心付近の位置情報をセンター側へアップする機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | アップロード先URL |
| loc\_center |  | 地図中心付近情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 |  |
| format |  | 地図中心付近情報の書式を示す親要素 | × | 1回 | なし  省略時は、マップコードで通知 |
|  | type | 通知される位置情報の書式を指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loc\_center |  | 地図中心付近情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 地図中心付近情報の書式を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 地図中心付近情報の書式を示す | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | １回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | １回 | なし |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | １回 | マップコード指定時のみマップコード。それ以外はなし |
| lat |  | 緯度を示す | × | 1回 | 緯度・経度指定時に緯度を通知 |
| lon |  | 経度を示す | × | 1回 | 緯度・経度指定時に経度を通知 |

【呼び出し時の機能名】

loc\_center

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/loc\_center.asp” >  <func name=”loc\_center” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト | SMS登録 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| × | × | ○ | × | × | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| 13 | 使用可能。  呼び出し元として、common要素内、CDF登録、リクエスト登録も指定可能とする。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>地図中心付近</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/loc\_center.asp”>  <func name=”loc\_center”/>  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://www.g-book.com”>  <loc\_center>  <format type=”mc”/>  </loc\_center>  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_center>  <format type=”mc”/>  <poi>  <point>  <pos>1234567891\*1</pos>  </point>  </poi>  </loc\_center>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 地図バージョン情報の取得

【説明】

地図バージョン(地図フォーマット名称及びバージョン)をセンター側へアップする機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | アップロード先URL |
| mapinfo |  | 地図バージョンを示す親要素 | ○ | 1回 | （空） |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 |  |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 |  |
| mapinfo |  | 地図バージョンを示す親要素 | ○ | 1回 | 地図バージョン |

【呼び出し時の機能名】

mapinfo

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/mapinfo.asp” >  <func name=”mapinfo” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト |
| × | × | ○ | ○ | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>地図バージョン</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/mapinfo.asp”>  <func name=”mapinfo”/>  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://www.g-book.com”>  <mapinfo/>  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <mapinfo>C-Map F010 5300</mapinfo>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## スケジュールの更新

【説明】

スケジュールおよびマインダの情報をクライアントにダウンロードし、情報を更新します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| schedule |  | スケジュール更新を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| sinfo |  | スケジュール情報を示す親要素 | × | 0回以上 | 同じ年月であれば一月分指定出来る |
| sdate |  | 年月日を示す要素 | ○ | 1回 | yymmdd形式で指定  上限は22/12/31 |
| icon |  | アイコンを示す要素 | × | 1回 | なし |
|  | id | アイコンのid | ○ | 1回 | スケジュールに表示するアイコンIDを指定。icon要素省略時は、デフォルトのアイコンを表示 |
| rinfo |  | リマインダ情報を示す親要素 | × | 0回以上 | 最大300回まで |
| rtitle |  | タイトルを示す要素 | ○ | 1回 | 全角15文字以内 |
| starttime |  | 開始時刻を示す要素 | ○ | 1回 | YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00形式で指定 |
| endtime |  | 終了時刻を示す要素 | ○ | 1回 | YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00形式で指定 |
| pinfo |  | スケジュール更新に関する情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | リンク先を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | リンク先のURL | ○ | 1回 | リンク先のURLをフルパスで指定 |
|  | contentsid | コンテンツID | × |  | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* sinfo要素またはrinfo要素のどちらかが必ず存在することとする。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <schedule>  <sinfo>  <sdate>030929</sdate>  <icon id=”550135” />  </sinfo>  <sinfo>  <sdate>030930</sdate>  </sinfo>  <rinfo>  <stitle>お知らせ</stitle>  <starttime>2003-10-01T00:00:00+09:00</starttime>  <endtime>2003-10-02T23:59:59+09:00</endtime>  <link url=”http://*domain\_name*/schedule.html”>  <func name=”schedule”>  </link>  </rinfo>  <rinfo>  <stitle>通知</stitle>  <starttime>2003-10-11T00:00:00+09:00</starttime>  <endtime>2003-10-12T23:59:59+09:00</endtime>  <link url=”http://*domain\_name*/schedule.html”>  <func name=”schedule”>  </link>  </rinfo>  </schedule>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

## 休日情報の設定

【説明】

休日の年月日情報をクライアントに登録します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| holiday |  | 休日情報の設定を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| sdate |  | 休日を示す要素 | ○ | 1回以上 | yymmdd形式で指定  最大400回まで指定可 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <holiday>  <sdate>030901</sdate>  <sdate>030910</sdate>  <sdate>030930</sdate>  </holiday>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

## ナビ設定車両情報の取得

【説明】

クライアントのナビが保有している車両情報（全長、全幅、車高、ナンバー種別）と、

到着予想時刻の算出に利用する平均時速情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| navi\_carinfo |  | ナビ設定車両情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| navi\_carinfo |  | ナビ設定車両情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| cartype |  | ナビ設定車両情報を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| length |  | 全長(mm)を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |
| width |  | 全幅(mm)を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |
| height |  | 車高(mm)を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |
| number |  | ナンバー種別を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |
| speed |  | ナビ設定平均速度情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| nroad |  | 一般道の平均速度  (km/h)を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |
| troad |  | 有料道の平均速度  (km/h)を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |
| eroad |  | 高速道の平均速度  (km/h)を示す要素 | ○ | 1回 | 情報が取得出来なかった場合は空 |

【呼び出し時の機能名】

navi\_carinfo

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/navi\_carinfo.asp” >  <func name=”navi\_carinfo” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/navi\_carinfo.asp”>  <navi\_carinfo />  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>ナビ設定車両情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/navi\_carinfo.asp” >  <func name=”navi\_carinfo” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getHFnum.asp”>  <navi\_carinfo />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <navi\_carinfo>  <cartype>  <length>4445</length>  <width>1780</width>  <height>1680</height>  <number>33</number>  </cartype>  <speed>  <nroad>30</nroad>  <troad>60</troad>  <eroad>80</eroad>  </speed>  </navi\_carinfo>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 閲覧履歴の消去

【説明】

クライアントの閲覧履歴を消去します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| historyclear |  | 履歴クリアを示す要素 | ○ | 1回 | なし |

【呼び出し時の機能名】

historyclear

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/historyclear.asp” >  <func name=”historyclear” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、CDF登録、SMS登録での記述は無視。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、CDF登録、SMS登録での記述は無視。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <historyclear />  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>履歴クリア</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/historyclear.asp” >  <func name=”historyclear” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <historyclear />  </download>  </extent>  </gbml> |

## メニュー画面ボタンの登録

【説明】

クライアントのメニュー画面の釦を追加／削除します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
| mbutton\_set |  | メニュー釦追加/削除を示す要素 | ○ | 1回 | なし | |
|  | res | 応答先を示す属性 | × | 1回 | センターURLを指定 | |
| link |  | 遷移先画面を示す親要素 | ○ | 1回 |  | |
|  | url | 遷移先画面のURL | ○ | 1回 | 遷移先画面のURLをフルパスで指定 | |
| menu |  | メニューを示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
|  | type | メニュー種別を示す属性 | ~~○~~  × | 1回 | g-book：Gメニュー  top：トップメニュー  ※05～11車載端末は必須 | |
|  | act | 追加/削除を示す属性 | ○ | 1回 | add：追加  del：削除 | |
| mbutton |  | 釦情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 |  | |
|  | id | 釦IDを示す属性 | ○ | 1回 | 半角英数字10桁以内 | |
|  | position | 追加位置を示す属性 | ~~△~~  × | 1回 | JPでは情報Gメニューの場合… "1"、"2"  メインメニューの場合… "1"～"16"  13車載端末の場合…  ”1”～”32”  削除時は指定しない  ※05～11車載端末は必須。  ※13車載端末は省略時、末尾に追加する | |
| link |  | リンク先を示す親要素 | △ | 1回 | 削除時は指定しない | |
|  | url | リンク先のURL | ○ | 1回 | リンク先のURLをフルパスで指定 | |
| vitem |  | 読み上げ文字列を示す親要素 | △ | 1回 | 削除時は指定しない | |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon | |
|  | type | 音声タイプを示す属性 | × | 1回 | tts …音声合成  recv …録音音声  省略時は、tts |
| vtext |  | 読み上げるテキストを指定します。 | ○ | 1回  以上 | @type=recvの場合：  録音音声番号を数値および記号で指定します。  @type=ttsの場合：  @conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  @conv=”off”の場合：  読み上げテキスト  半角カナ50文字以内 | |
| ritem |  | 個々の音声認識情報を示す親要素 | △ | 1回 | 削除時は指定しない | |
| rtext |  | 認識文字の指定 | ○ | 1回  以上 | 音声認識のボキャブラリ全角8文字、半角16文字以内 | |
| bimage |  | ボタンイメージを示す親要素 | △ | 1回 | 削除時は指定しない | |
|  | addcaption | キャプション取得種別を示す属性 | ~~○~~  × | 1回 | "yes"…キャプションを  センタより  取得する  "no"…ローカルの  キャプションを  使用する場合  ※05～11車載端末は必須 | |
|  | design | デザイン番号を示す属性 | ○ | 1回 | デザイン番号を指定 | |
| caption |  | キャプション番号を示す要素 | × | 1回 | addcaption要素が"no"の場合は指定しない | |
|  | no | キャプション番号を示す属性 | ○ | 1回 | キャプション番号を10進数で指定 | |
| image |  | キャプションイメージを示す要素 | × | 1回 | 表示する画像へのURLをフルパスで指定  addcaption要素が"yes"の場合のみ指定 | |
|  | type | 表示画像の形式 | × | 1回 | gif :gif形式  jpeg :jpeg形式  bmp :BMP形式  省略時はjpeg形式 | |
| vreconsmessage |  | 音声認識時の認識語ONS（タイトルONS）に表示される内容を示す要素 | ○ | 1回 | タイトルONS  全角14文字以内 | |
|  | layout | 文言のレイアウトを示す要素 | × | 1回 | left …左寄せ  center …中央寄せ  right …右寄せ  省略時は、left | |
| guideonsmessage |  | 音声認識時のガイドONSに表示される内容を示す要素 | ○ | 1回 | ガイドONS  1行全角18文字以内で2行まで | |
|  | layout | 文言のレイアウトを示す要素 | × | 1回 | left …左寄せ  center …中央寄せ  right …右寄せ  省略時は、left | |

【呼び出し時の機能名】

mbutton\_set

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/mbuttoninfo.asp” >  <func name=”mbutton\_set” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。  vreconsmessage要素およびguideonsmessage要素の属性値layoutは無視される。 |
| 09 | 使用可能。  vreconsmessage要素およびguideonsmessage要素の属性値layoutは無視される。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。  menu要素の属性値type、bimage要素の属性値addcaptionは無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 05車載端末で登録する場合、vitem要素、ritem要素、vreconsmessage要素、guideonsmessage要素を必ず指定する。
* 07車載端末で登録する場合、ritem要素を省略した場合に限りvitem要素、vreconsmessage要素、  
  guideonsmessage要素を省略できる。
* 削除する場合は、vitem要素、ritem要素、vreconsmessage要素、guideonsmessage要素を指定しない。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <mbutton\_set res=”http://*domain\_name*/Res.asp”>  <link url=”local://G-BOOK/xxx” />  <menu type=”g-book” act=”add” position=”top” number=”1”>  <mbutton bid=”1” runregsupport=”on” contractsupport=”on”>  <bname>お得情報ボタン</bname>  <link url=”http://*domain\_name*/aaa.asp” />  <vitem conv=”on”>  <vtext>読上げ文字列</vtext>  </vitem>  <ritem>  <rtext>ｵﾄｸ</rtext>  <rtext>ｵﾄｸｼﾞｮｳﾎｳ</rtext>  </ritem>  <message>  <mtext>「お得情報」のボタンを追加しました。</mtext>  </message>  <normal>  <image type=”jpeg”>http://*domain\_name*/normal.jpg</image>  </normal>  <touched>  <image type=”jpeg”>http://*domain\_name*/touched.jpg</image>  </touched>  <tonedown>  <image type=”jpeg”>http://*domain\_name*/tonedown.jpg</image>  </tonedown>  </mbutton>  </menu>  </mbutton\_set>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## ファイル転送（ダウンロード）

【説明】

クライアントに指定したファイルを転送します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| file\_download |  | ファイル転送示す要素 | ○ | 1回以上 | なし |
|  | apppath | ファイル転送完了時のアプリへの通知先を示す属性 | × | 1回 | 登録完了時のアプリ通知先URLを指定  ローカルURLの指定可能 |
|  | trans | 転送状態通知フラグを示す属性 | × | 1回 | yes … 通知あり  no … 通知なし  省略時はno |
|  | res | ファイル転送完了時の通知先を示す属性 | × | 1回 | 登録完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| link |  | 遷移先画面を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先画面のURL | ○ | 1回 | 遷移先画面のURLをフルパスで指定 |
| frompath |  | ダウンロード元を示す要素 | ○ | 1回 | ダウンロード元URLをフルパスで指定 |
| topath |  | ダウンロード先を示す要素 | ○ | 1回 | ダウンロード先URLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

file\_download

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/filedlsend.asp” >  <func name=”file\_download” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* apppath属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。
* res属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。
* file\_download要素が複数指定され、link要素がそれぞれ指定された場合、先頭に記述されたlink要素を有効とする。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <file\_download apppath=”local:G-BOOK/aaa/aaa.cgi?file=xxxx”>  <frompath>http://domain\_name/temp/image.jpg</frompath>  <topath>file://d:/temp/image.jpg</topath>  </file\_download>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>ファイル転送</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/filedlsend.asp” >  <func name=”file\_download” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <file\_download apppath=”local:G-BOOK/aaa/aaa.cgi?file=xxxx”>  <frompath>http://domain\_name/temp/image.jpg</frompath>  <topath>file://d:/temp/image.jpg</topath>  </file\_download>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：更新完了の通知を受けとる場合の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <download>  <file\_download apppath=”local:G-BOOK/aaa/aaa.cgi?file=xxxx”  res=”http://domain\_name/res.asp”>  <frompath>http://domain\_name/temp/image.jpg</frompath>  <topath>file://d:/temp/image.jpg</topath>  </file\_download>  </download>  </extent>  </gbml> |

## ファイル転送（アップロード）

【説明】

クライアントのファイルをコンテンツに転送するします。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| file\_upload |  | ファイル転送示す要素 | ○ | 1回以上 | なし |
|  | apppath | ファイル転送完了時のアプリへの通知先を示す属性 | × | 1回 | 登録完了時のアプリ通知先URLを指定  ローカルURLの指定可能 |
|  | trans | 転送状態通知フラグを示す属性 | × | 1回 | yes … 通知あり  no … 通知なし  省略時はno |
|  | res | ファイル転送完了時の通知先を示す属性 | × | 1回 | 登録完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| link |  | 遷移先画面を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先画面のURL | ○ | 1回 | 遷移先画面のURLをフルパスで指定 |
| frompath |  | アップロード元を示す要素 | ○ | 1回 | アップロード元URLをフルパスで指定 |
| topath |  | アップロード先を示す要素 | ○ | 1回 | アップロード先URLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

file\_upload

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/filedlsend.asp” >  <func name=”file\_upload” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* apppath属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。
* res属性には、更新が成功した場合のみ、通知が行われる。
* file\_upload要素が複数指定され、link要素がそれぞれ指定された場合、先頭に記述されたlink要素を有効とする。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <file\_upload apppath=”local:G-BOOK/aaa/aaa.cgi?file=xxxx”>  <frompath>file://d:/temp/image.jpg</frompath>  <topath>http://domain\_name/temp/image.jpg</topath>  </file\_upload>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>ファイル転送</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/filedlsend.asp” >  <func name=”file\_upload” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </window>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <file\_upload apppath=”local:G-BOOK/aaa/aaa.cgi?file=xxxx”>  <frompath>file://d:/temp/image.jpg</frompath>  <topath>http://domain\_name/temp/image.jpg</topath>  </file\_upload>  </download>  </extent>  </gbml> |

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載：更新完了の通知を受けとる場合の例≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <download>  <file\_upload apppath=”local:G-BOOK/aaa/aaa.cgi?file=xxxx”  res=”http://domain\_name/res.asp”>  <frompath>file://d:/temp/image.jpg</frompath>  <topath>http://domain\_name/temp/image.jpg</topath>  </file\_upload>  </download>  </extent>  </gbml> |

## サービスの設定

【説明】

サービスの設定に関する情報をクライアントにダウンロードします。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| service\_set |  | サービスの設定を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | 応答先を示す属性 | × | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先画面を示す親要素 | × | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先画面のURL | ○ | 1回 | 遷移先画面のURLをフルパスで指定  ローカルURLの指定可能 |
| sinfo |  | サービスの設定を示す要素 | ○ | 1回  以上 | on … サービスの実施  off … ユーザによる  サービスの停止  none … センターによる  サービスの停止 |
|  | type | サービス種別を示す属性 | ○ | 1回 | stoppoint …  車両停止位置UP  alarm …  アラーム通報  rmtdiag …  リモートダイアグ  rmtcustom …  リモートカスタマイズ  rmtwarning …  リモートウォーニング  rmtimmobi …  リモートイモビ  expdatekey …  有効期限付キー  rmtconf …  リモート確認  carstate …  操作忘れ通知  rmtctrl …  リモートコントロール  cddb …  CDDB  11車載端末の場合はGracenoteサービス  autolivekara…  カラオケ(AUTOLIVE)  autolivebgm…  BGM(AUTOLIVE)  drm …DRM  drmlog …再生ログ収集  サービス(DRM)  traffic …渋滞予測~~表示~~  traveltime …渋滞予測  （所要時間）  g-search …目的地設定  （Gで探す）  drgscc …DRGSCC  helpnet …ヘルプネット  dcmsupport …DCM 音声通話  diagtrigger …ダイアグトリガ機能  ffd …FFD機能  mapupdate …地図差分配信  probe …プローブ  myrequest …Myリクエスト  gpoi …センターPOI  dcmosstelcall…DCMOSS 通話  espo　　　　 …エコ＆セーフティ  etc …ETC料金表示  rmtmonitor …リモートモニタリング  rmtdiagreccmd…リモートダイアグレコーダ  gtrafficinfo …G交通情報自動取得サービス  searchweb …ローカルサーチ  actioninfo …ナビプローブ  browser …ブラウザ  centerroute …センタールート |
|  | filename | サービス種別に対応するファイル名を示す属性 | × | 1回 | サービス種別に対応するファイル名を指定 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性の指定値にdiagtrigger、ffd、mapupdate、probe、myrequest、gpoi、dcmosstelca、espo、etc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfo、browser、centerrouteを指定した場合、無視される。 |
| 07 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性の指定値にautolivekara、autolivebgm 、rmtcustom、espo、etc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfo、browser、centerrouteを指定した場合、無視される。 |
| 09 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性の指定値にautolivekar、autolivebgm 、rmtcustom、etc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfo、browser、centerrouteを指定した場合、無視される。 |
| 11 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性の指定値にautolivekara、autolivebgm 、rmtcustom、drm、drmlog、expdatekey、gpoi、browser、centerrouteを指定した場合、無視される。 |
| 13 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性の指定値にautolivekara、autolivebgm 、rmtcustom、drm、drmlog、expdatekey、gpoiを指定した場合、無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <service\_set res=”http://*domain\_name*/res.asp”>  <link url=”http://*domain\_name* /aaaaa.asp” />  <sinfo type=”stoppoint”>on</sinfo>  <sinfo type=”rmtcustom”>off</sinfo>  <sinfo type=”rmtimmobi”>on</sinfo>  <sinfo type=”carstate” filename=”default.asp”>off</sinfo>  </service\_set>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

## サービス設定情報の取得

【説明】

クライアントのサービス設定情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| service\_get |  | サービス設定情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| service\_get |  | サービス設定情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| sinfo |  | サービスの設定を示す要素 | ○ | 1回  以上 | on … サービスの実施  off … ユーザによる  サービスの停止  none … センターによる  サービスの停止 |
|  | type | サービス種別を示す属性 | ○ | 1回 | stoppoint …  車両停止位置UP  alarm …  アラーム通報  rmtdiag …  リモートダイアグ  rmtcustom …  リモートカスタマイズ  rmtwarning …  リモートウォーニング  rmtimmobi …  リモートイモビ  expdatekey …  有効期限付キー  rmtconf …  リモート確認  carstate …  操作忘れ通知  rmtctrl …  リモートコントロール  cddb …  CDDB  11車載端末の場合はGracenoteサービス  autolivekara…  カラオケ(AUTOLIVE)  autolivebgm…  BGM(AUTOLIVE)  drm …DRM  drmlog …再生ログ収集  サービス(DRM)  traffic …渋滞予測~~表示~~  traveltime …渋滞予測  （所要時間）  g-search …目的地設定  （Gで探す）  drgscc …DRGSCC  helpnet …ヘルプネット  dcmsupport …DCM 音声通話  diagtrigger …ダイアグトリガ機能  ffd …FFD機能  mapupdate …地図差分配信  probe …プローブ  myrequest …Myリクエスト  gpoi …センターPOI  dcmosstelcall…DCMOSS通話  espo …エコ＆セーフティ  etc …ETC料金表示  rmtmonitor…リモートモニタリング  rmtdiagreccmd…リモートダイアグレコーダ  gtrafficinfo…G交通情報自動取得サービス  searchweb…ローカルサーチ  actioninfo …ナビプローブ  browser …ブラウザ  centerroute …センタールート |
|  | termfunc | 端末機能有無を示す属性 | ○ | 1回 | yes … 対応  no … 非対応 |

【呼び出し時の機能名】

service\_get

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/service\_get.asp”>  <func name=”service\_get” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性のdiagtrigger、ffd、mapupdate、probe、myrequest、gpoi、dcmosstelcall、espo、etc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfo、browser、centerrouteは通知されない。 |
| 07 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性のautolivekara、autolivebgm、rmtcustom、espo、etc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfo、browser、centerrouteは通知されない。 |
| 09 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性のautolivekara、autolivebgm、rmtcustom、etc、rmtmonitor、rmtdiagreccmd、gtrafficinfo、searchweb、actioninfo、browser、centerrouteは通知されない。 |
| 11 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性のautolivekara、autolivebgm、rmtcustom、drm、drmlog、expdatekey、gpoi、browser、centerrouteは通知されない。 |
| 13 | 使用可能。ただし、sinfo/@type属性のautolivekara、autolivebgm、rmtcustom、drm、drmlog、expdatekey、gpoiは通知されない。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>サービス設定情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/service\_get.asp”>  <func name=”service\_get” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getinfo.asp”>  <service\_get />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <service\_get>  <sinfo type=”stoppoint” termfunc=”yes”>on</sinfo>  <sinfo type=”alarm” termfunc=”no”>off</sinfo>  <sinfo type=”rmtdiag” termfunc=”yes”>off</sinfo>  <sinfo type=”rmtcustom” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”rmtwarning” termfunc=”yes”>off</sinfo>  <sinfo type=”rmtimmobi” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”rmtconf” termfunc=”yes”>off</sinfo>  <sinfo type=”carstate” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”rmtctrl” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”cddb” termfunc=”yes”>off</sinfo>  <sinfo type=”autolivekara” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”autolivebgm” termfunc=”yes”>none</sinfo>  <sinfo type=”drm” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”drmlog” termfunc=”yes”>none</sinfo>  <sinfo type=”traffic” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”g-search” termfunc=”yes”>none</sinfo>  <sinfo type=”drgscc” termfunc=”no”>on</sinfo>  <sinfo type=”helpnet” termfunc=”yes”>none</sinfo>  </service\_get>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## リモートセキュリティ状態の取得

【説明】

クライアントのリモートセキュリティ状態を取得します。

【タグ構成】

以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| rmtsecurity\_get |  | リモートセキュリティ状態の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcodelock |  | 有効期限暗証番号ロック状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … ロック中  off … 非ロック中 |
| rmtimmobilock |  | リモートイモビ暗証番号ロック状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … ロック中  off … 非ロック中 |
| rmtimmobi |  | リモートイモビ状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … 動作中  off … 非動作中 |
| rmtimmobiflag |  | rmtimmobi フラグ状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … サービス中  off … 非サービス中 |
| expserv |  | 有効期限サービス状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … サービス中  off … 非サービス中 |
| supportable |  | 対応車種フラグを示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … 対応車種  off … 非対応車種 |

【呼び出し時の機能名】

rmtsecurity\_get

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”rmtsecurity\_get” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <rmtsecurity\_get>  <expcodelock rstatus="on" />  <rmtimmobilock rstatus="off" />  <rmtimmobi rstatus="on" />  <rmtimmobiflag rstatus="off" />  <expserv rstatus="on" />  <supportable rstatus="off" />  </rmtsecurity\_get>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## リモートセキュリティ状態の設定

【説明】

リモートセキュリティ状態をクライアントにダウンロードします。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| rmtsecurity\_set |  | リモートセキュリティ状態の設定を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcodelock |  | 有効期限暗証番号ロック状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … ロック中  off … 非ロック中 |
| rmtimmobilock |  | リモートイモビ暗証番号ロック状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … ロック中  off … 非ロック中 |
| rmtimmobi |  | リモートイモビ状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … 動作中  off … 非動作中 |
| rmtimmobiflag |  | rmtimmobi フラグ状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … サービス中  off … 非サービス中 |
| expserv |  | 有効期限サービス状態を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … サービス中  off … 非サービス中 |
| supportable |  | 対応車種フラグを示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | rstatus | 状態を示す属性 | ○ | 1回 | on … 対応車種  off … 非対応車種 |

【呼び出し時の機能名】

rmtsecurity\_set

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”rmtsecurity\_set” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、リクエスト登録での記述は無視される。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、リクエスト登録での記述は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <rmtsecurity\_set>  <expcodelock rstatus="on" />  <rmtimmobilock rstatus="off" />  <rmtimmobi rstatus="on" />  <rmtimmobiflag rstatus="off" />  <expserv rstatus="on" />  <supportable rstatus="off" />  </rmtsecurity\_set>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>リモートセキュリティ状態の設定</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <func name=”rmtsecurity\_set” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <rmtsecurity\_set>  <expcodelock rstatus="on" />  <rmtimmobilock rstatus="off" />  <rmtimmobi rstatus="on" />  <rmtimmobiflag rstatus="off" />  <expserv rstatus="on" />  <supportable rstatus="off" />  </rmtsecurity\_set>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 有効期限暗証番号の取得

【説明】

クライアントの有効期限暗証番号を取得します。

【タグ構成】

以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcode\_get |  | 有効期限暗証番号の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcode |  | 有効期限暗証番号を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | cnumber | 暗証番号を示す属性 | ○ | 1回 | なし |

【呼び出し時の機能名】

expcode\_get

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”expcode\_get” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <expcode\_get>  <expcode cnumber="111111" />  </expcode\_get>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 有効期限暗証番号の取得結果通知

【説明】

クライアントの有効期限暗証番号を取得した結果を、クライアントへ通知します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcode\_res |  | 有効期限暗証番号の設定を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcode |  | 有効期限暗証番号を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | result | 有効期限暗証番号アップロード結果を示す属性 | ○ | 1回 | ok … 暗証番号アップロード  成功  ng … 暗証番号アップロード  失敗 |

【呼び出し時の機能名】

expcode\_res

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”expcode\_res” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <expcode\_res>  <expcode result="ok" />  </expcode\_res>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>有効期限暗証番号の取得結果通知</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <func name=”expcode\_res” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <expcode\_res>  <expcode result="ng" />  </expcode\_res>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 有効期限暗証番号の設定

【説明】

有効期限暗証番号をクライアントにダウンロードします。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcode\_set |  | 有効期限暗証番号の設定を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| expcode |  | 有効期限暗証番号を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | cnumber | 暗証番号を示す属性 | ○ | 1回 | なし |

【呼び出し時の機能名】

expcode\_set

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”expcode\_set” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 無視される。 |
| 13 | 無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <expcode\_set>  <expcode cnumber="111111" />  </expcode\_set>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>有効期限暗証番号の設定</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <func name=”expcode\_set” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <expcode\_set>  <expcode cnumber="111111" />  </expcode\_set>  </download>  </extent>  </gbml> |

## 自宅位置の取得

【説明】

クライアントの自宅位置を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| loc\_myhome |  | 自宅位置の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | type | 書式の指定 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84  JPでの省略時はmc |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| loc\_myhome |  | 自宅位置の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| format |  | 取得した情報の書式を通知する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 書式の通知 | ○ | 1回 | mc :マップコードHR  ltln :東京測地系  wgs84 :WGS84 |
| poi |  | ポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| point |  | 個々のポイントを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| pos |  | 位置を示す親要素 | ○ | 1回 | マップコードの場合のみ、マップコード。  それ以外はなし。 |
| lat |  | 緯度の通知 | × | 1回 | 緯度を通知 |
| lon |  | 経度の通知 | × | 1回 | 経度を通知 |

【呼び出し時の機能名】

loc\_myhome

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”loc\_myhome” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <loc\_myhome />  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>自宅位置の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”loc\_myhome” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <loc\_myhome />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例（マップコードの場合）】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_myhome>  <format type=”mc”/>  <poi>  <point>  <pos>12345678\*99</pos>  </point>  </poi>  </loc\_myhome>  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例（緯度・経度の場合）】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <loc\_myhome>  <format type=”ltln”/>  <poi>  <point>  <pos>  <lat>34.34.00.00</lat>  <lon>135.20.00.00</lon>  </pos>  </point>  </poi>  </loc\_myhome>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## DCM電話番号の消去

【説明】

クライアントのDCM電話番号を消去します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| dcmnum\_clear |  | DCM電話番号の消去を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | DCM電話番号消去の種類を示す属性 | ○ | 1回 | telnumdel … 電話番号消去 |

【呼び出し時の機能名】

dcmnum\_clear

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”dcmnum\_clear” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <dcmnum\_clear type=”telnumdel” />  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>DCM電話番号の消去</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <func name=”dcmnum\_clear” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <dcmnum\_clear type=”telnumdel” />  </download>  </extent>  </gbml> |

## メニュー画面ボタン情報の取得

【説明】

クライアントのメニュー画面のボタン情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| Extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| mbutton\_get |  | メニュー画面ボタン情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| menu |  | メニューを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | メニュー種類を示す属性 | ~~○~~  × | 1回 | g-book：Gメニュー  top：トップメニュー  ※05～11車載端末は必須 |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| Extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| mbutton\_get |  | メニュー画面ボタン情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| menu |  | メニューを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | メニュー種類を示す属性 | ~~○~~  × | 1回 | g-book：Gメニュー  top：トップメニュー  ※05～11車載端末は必須 |
|  | number | ボタンの数を示す属性 | ○ | 1回 |  |
| mbutton |  | ボタン情報を示す要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
|  | id | ボタンIDを示す属性 | ○ | 1回 | なし |

【呼び出し時の機能名】

mbutton\_get

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”mbutton\_get” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。  menu要素の属性値typeは無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <mbutton\_get>  <menu type=”top” />  </mbutton\_get>  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>メニュー画面ボタン情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”mbutton\_get” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp”>  <mbutton\_get>  <menu type=”g-book” />  </mbutton\_get>  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <mbutton\_get>  <menu type=”g-book” number=”3”>  <mbutton id=”abcd” />  <mbutton id=”1234abcd” />  <mbutton id=”33043304” />  </menu>  </mbutton\_get>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## メニュー画面ボタンの一括更新

【説明】

クライアントのメニュー画面のボタン情報を一括更新します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
| mbutton\_update |  | メニュー画面ボタンの一括更新を示す要素 | ○ | 1回 | なし | |
|  | res | 応答先を示す属性 | × | 1回 | センターURLを指定 | |
| link |  | 遷移先画面を示す親要素 | ○ | 1回 |  | |
|  | url | 遷移先画面のURL | ○ | 1回 | 遷移先画面のURLをフルパスで指定  センターURLを指定 | |
| menu |  | メニューを示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
|  | type | メニュー種別を示す属性 | ~~○~~  × | 1回 | g-book：Gメニュー  top：トップメニュー  ※05～11車載端末は必須 | |
| mbutton |  | 釦情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 |  | |
|  | id | 釦IDを示す属性 | ○ | 1回 | 半角英数字10桁以内 | |
|  | position | 追加位置を示す属性 | ~~△~~  × | 1回 | JPでは情報Gメニューの場合… "1"、"2"  メインメニューの場合… "1"～"16"  13車載端末の場合…  ”1”～”32”  削除時は指定しない  ※05～11車載端末は必須。  ※13車載端末は省略時、末尾に追加する | |
| link |  | リンク先を示す親要素 | △ | 1回 | 削除時は指定しない | |
|  | url | リンク先のURL | ○ | 1回 | リンク先のURLをフルパスで指定  ローカルURLの指定可能 | |
| vitem |  | 読み上げ文字列を示す親要素 | △ | 1回 |  | |
|  | conv | 読み上げ変換の指定 | × | 1回 | on :変換する  off :変換しない  省略時はon | |
|  | type | 音声タイプを示す属性 | × | 1回 | tts …音声合成  recv …録音音声  省略時は、tts |
| vtext |  | 読み上げるテキストを指定します。 | ○ | 1回  以上 | @type=recvの場合：  録音音声番号を数値および記号で指定します。  @type=ttsの場合：  @conv=”on”の場合：  変換する読み上げテキストを指定  @conv=”off”の場合：  読み上げテキスト  半角カナ50文字以内 | |
| ritem |  | 個々の音声認識情報を示す親要素 | △ | 1回 |  | |
| rtext |  | 認識文字の指定 | ○ | 1回  以上 | 音声認識のボキャブラリ全角8文字、半角16文字以内 | |
| bimage |  | ボタンイメージを示す親要素 | ○ | 1回 | なし | |
|  | addcaption | キャプション取得種別を示す属性 | ~~○~~  × | 1回 | "yes"…キャプションを  センタより  取得する  "no"…ローカルの  キャプションを  使用する場合  ※05～11車載端末は必須 | |
|  | design | デザイン番号を示す属性 | ○ | 1回 | デザイン番号を指定 | |
| caption |  | キャプション番号を示す要素 | × | 1回 | addcaption要素が"no"の場合は指定しない | |
|  | no | キャプション番号を示す属性 | ○ | 1回 | キャプション番号を10進数で指定 | |
| image |  | キャプションイメージを示す要素 | × | 1回 | 表示する画像へのURLをフルパスで指定  addcaption要素が"yes"の場合のみ指定 | |
|  | type | 表示画像の形式 | × | 1回 | gif :gif形式  jpeg :jpeg形式  bmp :BMP形式  省略時はjpeg形式 | |
| vreconsmessage |  | 音声認識時の認識語ONS（タイトルONS）に表示される内容を示す要素 | △ | 1回 | タイトルONS  全角14文字以内 | |
|  | layout | 文言のレイアウトを示す要素 | × | 1回 | left …左寄せ  center …中央寄せ  right …右寄せ  省略時は、left | |
| guideonsmessage |  | 音声認識時のガイドONSに表示される内容を示す要素 | △ | 1回 | ガイドONS  1行全角18文字以内で2行まで | |
|  | layout | 文言のレイアウトを示す要素 | × | 1回 | left …左寄せ  center …中央寄せ  right …右寄せ  省略時は、left | |

【呼び出し時の機能名】

mbutton\_update

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” >  <func name=”mbutton\_update” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。  vreconsmessage要素およびguideonsmessage要素の属性値layoutは無視される。 |
| 09 | 使用可能。  vreconsmessage要素およびguideonsmessage要素の属性値layoutは無視される。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。  menu要素の属性値type、bimage要素の属性値addcaptionは無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 05車載端末で登録する場合、vitem要素、ritem要素、vreconsmessage要素、guideonsmessage要素を必ず指定する。
* 07、09、11、13車載端末で登録する場合、ritem要素を省略した場合に限りvitem要素、vreconsmessage要素、guideonsmessage要素を省略できる。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <mbutton\_update res=”http://*domain\_name*/Res.asp” lres=”local://G-BOOK/xxx”>  <link url=”http://*domain\_name*/xxxxxx.asp” />  <menu type=”g-book”>  <mbutton bid=”1” position=”1”>  <link url=”http://*domain\_name*/aaaaaa.asp” />  <vitem conv=”on”>  <vtext>お得情報を表示します</vtext>  </vitem>  <ritem>  <rtext>ｵﾄｸ</rtext>  <rtext>ｵﾄｸｼﾞｮｳﾎｳ</rtext>  </ritem>  <bimage addcaption=”yes” design=”1”>  <image type=”jpeg”>http://*domain\_name*/aaaaaa.jpg</image>  </bimage>  </mbutton>  <mbutton bid=”2” position=”2”>  <link url=”http://*domain\_name*/bbbbbb.asp” />  <vitem conv=”off”>  <vtext>ｼﾞｰﾌﾞｯｸ</vtext>  </vitem>  <ritem>  <rtext>ｼﾞｰﾌﾞｯｸﾒﾆｭｰ</rtext>  </ritem>  <bimage addcaption=”no” design=”3”>  <caption no=”4” />  </bimage>  </mbutton>  </menu>  </mbutton\_update>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## Gメモリ地点地図削除

【説明】

車載端末の地図上に登録されているGメモリ地点情報を削除します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| poi\_del |  | Gメモリ地点地図削除を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 削除種別を示す属性 | ○ | 1回 | del …削除  alldel …全削除 |
| sid |  | サービスID（POIカテゴリ識別用ID）を示す要素 | × | 1回 | 0000～9998  省略時は、0000  typeがalldelの場合、  指定しない |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* poi\_del/@typeがalldelで指定された場合、sidは指定出来ません。指定された場合は、無視されます。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <poi\_del type=”del”>  <sid>1001</sid>  </poi\_del>  </download>  </extent>  </common> |

* Gメモリ地点地図を全削除する場合

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <poi\_del type=”alldel” />  </download>  </extent>  </common> |

## ESW押下によるサービス起動

【説明】

本機能は削除されました。

## ヘルプネットの起動

【説明】

クライアントのヘルプネットを起動します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| helpnet\_set |  | ヘルプネットの起動を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | type | 起動モードを示す属性 | ○ | 1回 | manualinspect …保守点検(手動) |

【呼び出し時の機能名】

helpnet\_set

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/ helpnet\_set.asp” >  <func name=” helpnet\_set” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | × |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <helpnet\_set type=”dispatch” />  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## ヘルプネット状態の取得

【説明】

クライアントのヘルプネット状態を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| helpnet\_get |  | ヘルプネット状態の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| helpnet\_get |  | ヘルプネット状態の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| useful |  | ヘルプネット開通状態を示す要素 | ○ | 1回 | on …会員登録済状態である  off … 会員登録済状態でない  none …不定値 |

【呼び出し時の機能名】

helpnet \_get

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/ helpnet\_get.asp” >  <func name=”helpnet\_get” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/gethelpnet.asp”>  <helpnet\_get />  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>状態確認</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/helpnet\_get.asp” >  <func name=”helpnet\_get” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/gethelpnet.asp”>  <helpnet\_get />  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <helpnet\_get>  <useful>on</useful>  </helpnet\_get>  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 地図差分更新ライセンス情報の通知

【説明】

本機能は削除されました。

## 地図差分更新サービス可否結果の通知

【説明】

本機能は削除されました。

## 地図差分更新ライセンス情報の取得

【説明】

本機能は削除されました。

## 地図配信サービス利用契約(アップロード)

【説明】

車載端末地図管理に車載機情報を登録する機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| mapupdate\_set |  | 地図配信サービス利用契約情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| mapbaseversion |  | 車載機の地図のベース地図バージョン | ○ | 1回 | なし |
| expirationdate |  | 車載機側で設定したサービス | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| mapupdate\_set |  | 地図差分更新ライセンス情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| mapbaseversion |  | 車載機の地図のベース地図バージョン | ○ | 1回 | 年月日を指定。以下の形式とする。  YYYY-MM-DD-XX  ※ XXには連番が入り、数値のみ許可する |
| expirationdate |  | 車載機側で設定したサービス | ○ | 1回 | 年月日を指定。以下の形式とする。  YYYY-MM-DD |

【呼び出し時の機能名】

mapupdate\_set

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/mapupdate\_get.asp” >  <func name=”mapupdate\_set” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getmapupdate.asp”>  <mapupdate\_set >  <mapbaseversion />  <expirationdate />  </mapupdate\_set >  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>利用契約の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/mapupdate\_set.asp” >  <func name=”mapupdate\_set” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/mapupdate\_set.asp”>  <mapupdate\_set >  <mapbaseversion />  <expirationdate />  </mapupdate\_set >  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <mapupdate\_set >  <mapbaseversion>2006-01-01-01< mapbaseversion />  <expirationdate>2007-01-01< expirationdate />  </mapupdate\_set >  </upload>  </extent>  </gbml> |

## 地図配信サービス実施判定結果(ダウンロード)

【説明】

車載端末地図管理からの処理結果を車載機に通知する機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| mapupdate\_res |  | 地図配信サービス実施判定結果情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| registrationresult |  | サービス利用契約の結果 | ○ | 1回 | OK…利用可能  NG…利用不可 |

【呼び出し時の機能名】

mapupdate\_res

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/mapupdate\_res.asp” >  <func name=”mapupdate\_res” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | × | × | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、SMS登録での記述は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <mapupdate\_res >  < registrationresult> OK < registrationresult />  </mapupdate\_res >  </download >  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>サービス実施判定の設定</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/mapupdate\_res.asp” >  <func name=”mapupdate\_res” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <mapupdate\_res >  < registrationresult>OK< registrationresult />  </mapupdate\_res >  </download >  </extent>  </gbml> |

## 地図配信起動(ダウンロード)【市販のみ】

【説明】

地図配信アプリを呼び出す機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| mapupdate\_on |  | 地図配信起動を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| mapexec |  | 地図配信起動を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | maptype | 地図配信起動種類 | ○ | 1回 | home : 自宅周辺  dst : 目的地周辺 |
|  | mapstatus | 地図配信起動状態 | ○ | 1回 | require : 配信要  none : 不要  downloading :ダウンロード中  precomplete : 更新完了通知待ち |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | × | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
|  | res | 地図配信起動の更新完了時の通知先 | × | 1回 | 更新完了時の通知先URLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

mapupdate\_on

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/mapupdate\_on.asp” >  <func name=”mapupdate\_on” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | × | × |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 使用可能。ただし、mapexec/@maptype=”dst”は車載端末が反応しないため、指定した場合無視される。 |
| 09 | 使用可能。ただし、mapexec/@maptype=”dst”は車載端末が反応しないため、指定した場合無視される。 |
| 11 | 使用可能。  ただし、mapexec/@maptype=”dst”は車載端末が反応しないため、指定した場合無視される。  呼び出し元として、common要素内、window要素内での記述は無視される。 |
| 13 | 使用可能。  ただし、mapexec/@maptype=”dst”は車載端末が反応しないため、指定した場合無視される。  呼び出し元として、common要素内、window要素内での記述は無視される。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <mapupdate\_on >  <mapexec　maptype=”home”  mapstatus=”require”  res=”http://*domain\_name*/mapupdate\_on\_res.asp”  ref=”http://*domain\_name*/mapupdate\_on\_ref.asp”/>  </mapupdate\_on >  </download >  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>地図配信起動</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/mapupdate\_on.asp” >  <func name=”mapupdate\_on” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <mapupdate\_on>  <mapexec　maptype=”home”  mapstatus=”require”  res=”http://*domain\_name*/mapupdate\_on\_res.asp”  ref=”http://*domain\_name*/mapupdate\_on\_ref.asp”/>  </mapupdate\_on>  </download >  </extent>  </gbml> |

## 共通機能

### 拡張機能タイトルの指定

【説明】

拡張機能に対して、タイトルを指定します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| title |  | タイトルを示す要素 | × | 1回 | タイトル表示文字列。省略した場合、タイトルは表示されない。 |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | Pocket G-BOOK仕様に準ずる。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <title>履歴の消去</title>  <download>  <historyclear />  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪リンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <title>履歴の消去</title>  <download>  <historyclear />  </download>  </extent>  </gbml> |

## リモートモニタリングコマンドの設定

【説明】

本機能は削除されました。

## ダイアグレコードコマンドの設定

【説明】

本機能は削除されました。

## 地図メディアバージョンの取得

【説明】

本機能は削除されました。

## 注意喚起POIの設定

【説明】

本機能は削除されました。

## センターからのアプリケーション起動通知

【説明】

センターからアプリケーションを起動する機能。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| appexe |  | アプリケーションの起動を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | apppath | ローカルURL | ○ | 1回 | ローカルURLをフルパスで指定 |
|  | ref | 遷移先URL | × | 1回 | URLをフルパスで指定 |

【呼び出し時の機能名】

appexe

例.

|  |
| --- |
| <link url=”http://domain\_name/appexe.asp” >  <func name=”appexe” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

特になし。

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id="1">  <center>  <object>  <text>センターからのアプリケーション起動通知</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/appexe.asp” >  <func name=”appexe” />  </link>  </command>  </object>  ・・・  </center>  <f\_key>・・・</f\_key>  </template>  </main>  <sub>・・・</sub>  </window>  </gbml> |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <extent>  <download>  <appexe apppath=”local://G-BOOK/etc/” />  </download >  </extent>  </gbml> |

## 汎用通信スケジューラーの設定

【説明】

走行中に起こる契機をもとにセンタアクセスを実施する機能。

詳細については「G-BOOK ML 2.0 機能仕様書 ～　制御機能編」を参照のこと。

## 車両情報の取得

【説明】

本機能は削除されました。

## 汎用通信スケジューラー(EV情報)の設定

【説明】

走行中に起こる契機(EV情報)をもとにセンタアクセスを実施する機能。

詳細については「G-BOOK ML 2.0 機能仕様書 ～　制御機能編」を参照のこと。

## EV情報の取得

【説明】

クライアントのEV情報を取得します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | ref | 情報の取得先を示すURL | ○ | 1回 | 取得先URLをフルパスで指定 |
| evinfo |  | EV情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |

結果として、upload/@refに指定されたURLに対して、以下の通知用G-BOOK MLが通知されます。

| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 設定値 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| upload |  | 情報の取得を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| evinfo |  | EV情報の取得を示す要素 | ○ | 1回 | なし |
| pievdh |  | HighWAY走行時の残EV距離の通知を示す要素 | × | 1回 | 最大値 :1638.3  最小値 :0.0  単位 :km |
| pievdc |  | City走行時の残EV距離の通知を示す要素 | × | 1回 | 最大値 :1638.3  最小値 :0.0  単位 :km |
| socdisp |  | 表示用SOC通知を示す要素 | × | 1回 | 最大値 :127  最小値 :0  単位 :% |
| pievd |  | プラグインEV走行可能距離の通知を示す要素 | × | 1回 | 最大値 :409.5  最小値 :0.0  単位 :km |
| socmond |  | 高圧バッテリ残存量の通知を示す要素 | × | 1回 | 最大値 :15  最小値 :0 |
| mip |  | エアコン入力電力の通知を示す要素 | × | 1回 | 最大値 :10350  最小値 :0  単位 :W |

【呼び出し時の機能名】

evinfo

例．

|  |
| --- |
| <link url=”http://*domain\_name*/evinfo.asp” >  <func name=”evinfo” />  </link> |

【呼び出し元の指定方法】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| common要素内 | sub要素内 | window要素内 | CDF登録 | リクエスト登録 | SMS登録 |
| ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

【対応デバイス】

| デバイス | バージョン | 動作 |
| --- | --- | --- |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 無視される。 |
| 07 | 無視される。 |
| 09 | 無視される。 |
| 11 | 使用可能。ただし、EV、PHV対応車載機のみ。 |
| 13 | 使用可能。ただし、EV、PHV対応車載機のみ。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | 共通 | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

* 情報が取得できない場合、各要素は空になります

【使用例】

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのcommon要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getevinfo.asp”>  <evinfo/>  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

* コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでのwindow要素内への記載方法

≪コンテンツ表示機能のG-BOOK MLでの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>・・・</common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>EV情報の取得</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/evinfo.asp” >  <func name=”evinfo” />  </link>  </command>  </object>  ・・・ |

≪上記のリンク先での拡張機能のG-BOOK MLの記載≫

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getEVInfo.asp”>  <evinfo/>  </upload>  </extent>  </gbml> |

【通知用G-BOOK MLの例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <extent>  <upload>  <evinfo>  <pievdh>1638</pievdh>  <pievdc>1638</pievdc>  <socdisp>127</socdisp>  <pievd>409</pievd>  <socmond>15</socmond>  <mip>10350</mip>  </evinfo>  </upload>  </extent>  </gbml> |

# 限定機能

## パススルー機能

G-BOOK.comに提供されるコンテンツは、必ずG-BOOKセンターを経由するようセンター内のコンテンツ変換機能のインターフェース(URL)への変更処理が行われます。このため、コンテンツは必ずG-BOOK MLに従った形式で記述する必要があります。また、この場合、G-BOOKセンターの用意する特定のテンプレート画面に従った画面のみ表示することが可能です。

パススルー機能では、テンプレート画面に依存しない独自の画面を表示したいコンテンツに向けて、G-BOOKセンターのコンテンツ変換機能のインタフェースを通過せず、クライアントとの直接的な通信を可能にします。

|  |
| --- |
| 【重要】  パススルー機能は、コンテンツがクライアントと直接、通信を行うため、G-BOOKセンターのコンテンツ変換機能が提供するサービスは使用できなくなります。このため、パススルー機能の使用に当たっては、十分な検討を行ったうえで、使用の可否を決定してください。 |

パススルー機能には、以下の種類があります。

* 標準インタフェース
* 基本契約画面遷移向けインタフェース
* @Navi機能向けインタフェース
* 音声認識向けインタフェース

【注意事項】

* G-BOOKセンターのコンテンツ変換機能を通過しないため、G-BOOKセンターとして提供されるサービスは受けられません。
* クライアントと直接、通信を行うため各クライアントに応じた画面の提供が必要になります。
* クライアントの種別をコンテンツ側で判断する必要があります。
* G-BOOK.comでサポートするクライアントの種別が増加した場合(たとえば、新規、車載端末のサポートなど)、コンテンツを改修する必要があります。

### 標準インタフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  G-BOOKセンターとして、許可されたコンテンツのみ、本機能の使用を許可します。 |

【説明】

標準インタフェースとしてボタン操作によるパススルーを行います。

通常は、center要素やf\_key要素で指定するリンク先は、G-BOOKセンター内のコンテンツ変換機能のインタフェースに置き換えられますが、本指定を行うことによりインタフェースの置き換えが行われなくなり、ボタン操作後に直接、コンテンツが呼び出されます。

【タグ構成】

center/object/command要素および、f\_key/button/command要素中のlink要素に対して、属性により指定します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | ○ | 1回 |  |
|  | rewind | 標準インタフェースでのパススルー | × | 1回 | yes :パススルーしない  no :パススルーする  省略時はyes |

【対象テンプレート】

object要素内のcommandでは、テンプレート1、3、12、13および14

button要素内のcommandでは全テンプレート

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 指定可能。 |
| PC | － | タイムアウト後、センター通信に戻った場合、認証画面が表示される。 |
| ケイタイ | － | タイムアウト後、センター通信に戻った場合、認証画面が表示される。 |
| M-Mode | － | タイムアウト後、センター通信に戻った場合、認証画面が表示される。 |

【パススルー先コンテンツとのインタフェース】

パススルー先のコンテンツに対して、GETの引数で、以下が通知されます。

| 変数名 | 設定内容 |
| --- | --- |
| uniqid | ユニークIDです。以下の形式です。  GAZOO会員シーケンシャル番号,セッション識別情報 |
| if | コンテンツ変換機能のインタフェースとしてURLが通知されます。パススルー先のコンテンツから、G-BOOKセンター経由での任意のコンテンツへ戻る際のリンクとして使用します。本パラメータ値にコンテンツへのURLをBase64でエンコードしたものを付加することで、リンク先として使用可能となります。 |
| cur | 呼び出し元のURL。パススルー先のコンテンツ中から、パススルー元の画面に戻る際のリンクとして指定します。ifパラメータで渡されるコンテンツ変換機能のインタフェースに本パラメータ値を付加することで、パススルー元の画面へのリンクとして使用可能となります。 |
| top | トップページのURL。パススルー先のコンテンツ中から、G-BOOK.comのトップメニューに戻る際のリンクとして指定します。ifパラメータで渡されるコンテンツ変換機能のインタフェースに本パラメータ値を付加することで、パススルー元の画面へのリンクとして使用可能となります。 |
| view | G-BOOK ビューアで、現在表示中のviewを通知します。以下の値が通知されます。  02 :02イメージ  03 :03イメージ   1. :05イメージ 2. :07イメージ   本パラメータは、デバイスがPCの場合のみ通知されます。 |

【注意事項】

* パススルー先のコンテンツでは、クライアントの機種判断を独自に行う必要があります。
* link要素のurl属性として拡張機能を指定することはできません。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  ・・・  <center>  <object>  <text>xxコンテンツ</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/pass.asp” rewind=”no” />  </command>  </object>  ・・・  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>GO</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/pass.asp” rewind=”no” />  </command>  </button>  ・・・  </gbml> |

### 基本契約画面遷移向けインタフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  本機能は、基本契約画面遷移向けの特殊インタフェースです。その他のコンテンツでの使用は許可しません。使用した場合の動作は保証されません。 |

【説明】

基本契約画面遷移向けインタフェースとして拡張機能書式によるパススルーを行います。

拡張機能として指定されたタグを受け取った時点で、指定のURLへ自動的に遷移します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| rewind |  | パススルーを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | パススルー先を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | パススルー先を指定 | ○ | 1回 | パススルー先のURLをフルパスで指定 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【パススルー先コンテンツとのインタフェース】

パススルー先のコンテンツに対して、GETの引数で、以下が通知されます。

|  |  |
| --- | --- |
| 変数名 | 設定内容 |
| gbookid | 車載端末から通知されるG-BOOK会員番号です。 |
| gbookpw | 車載端末から通知されるG-BOOKパスワードです。 |
| gazooid | G-BOOK会員番号に対応するGAZOO IDです。 |
| gazoopw | GAZOO IDに対するパスワードです。 |
| uniqid | ユニークIDです。以下の形式です。  GAZOO会員シーケンシャル番号,セッション識別情報 |
| Usr | DCM接続の場合のみ、車載端末から通知されるUsr引数です。 |
| TCON | DCM接続の場合のみ、車載端末から通知されるTCON引数です。 |
| Pno | 携帯接続の場合のみ、車載端末から通知される携帯電話番号 |
| Tid | 携帯接続の場合のみ、車載端末から通知される車載端末のシリアル番号 |
| if | G-BOOKセンターのインタフェースURL。パススルー先のコンテンツから、G-BOOKセンター経由での任意のコンテンツへ戻る際のリンクとして使用します。  本パラメータ値にコンテンツへのURLをBase64でエンコードしたものを付加することで、リンク先として使用可能となります。 |

【注意事項】

* パススルー先のコンテンツでは、クライアントの機種判断を独自に行う必要があります。
* 以下の情報は、通知されない場合があります。
  + gazooid(取得前は通知されません)
  + gazoopw(取得前は通知されません)
  + uniqid(取得前は通知されません)
  + Usr(車載端末からの通知があった場合のみ、通知されます)
  + TCON(車載端末から通知があった場合のみ、通知されます)
  + Pno(車載端末からの通知があった場合のみ、通知されます)
  + Tid(車載端末から通知があった場合のみ、通知されます)
* 車載端末とセンター間の通信がセキュアであることを前提に、ユーザ情報を渡します。
* 車載端末以外はセキュリティの観点(会員情報の漏洩)から、使用を許可しません。

【補足説明】

ログイン後の初期ページとして、以下のコンテンツが使用されます。

http://localhost/distribute/default.asp

本ページにて、未契約の車載端末であることを判断し、必要に応じて基本契約画面に遷移する場合のみ、本機能によるパススルーを許可します。

基本契約画面では契約完了の際に、G-BOOK MLのuniqid要素にて、key\_mとgazooidをカンマ区切りにて通知するインタフェースとなっておりますので、戻り先に指定するURL(ifパラメータに付加するURL)から出力されるG-BOOK MLでは、必ず、uniqid要素にてkey\_mとgazooidをカンマ区切りにて通知する必要があります。

基本契約画面終了後、再度、契約形態(ベーシック契約など)の画面をパルスルーで使用することは許可されます。この場合、基本契約画面の契約完了の際に出力するG-BOOK MLは、再度、パススルーを使用するように、本節で説明した拡張機能の特殊インタフェース書式のG-BOOK MLを出力する必要があります。前述の記述どおり、本拡張機能書式のG-BOOK MLにおいて、information要素中のuniqid要素に対して、key\_mおよびgazooidをカンマ区切りでお渡しください。

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <extent>  <rewind>  <link url=”http://*domain\_name*/pass.asp” />  </rewind>  </extent>  </gbml> |

### @Navi機能向けインタフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  本機能は、Pocket G-BOOKからの@Navi画面への遷移のための特殊インタフェースです。その他のコンテンツでの使用は許可しません。使用した場合の動作は保証されません。 |

【説明】

@Naviへの画面遷移向けインタフェースとして拡張機能書式によるパススルーを行います。

拡張機能として指定されたタグを受け取った時点で、指定のURLへ自動的に遷移します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| rewind |  | パススルーを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | パススルー先を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | パススルー先を指定 | ○ | 1回 | パススルー先のURLをフルパスで指定 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 使用不可。 |
| 05 | 使用不可。 |
| 07 | 使用不可。 |
| 09 | 使用不可。 |
| 11 | 使用不可。 |
| 13 | 使用不可。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用可能。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【パススルー先コンテンツとのインタフェース】

パススルー先のコンテンツに対して、GETの引数で、以下が通知されます。

|  |  |
| --- | --- |
| 変数名 | 設定内容 |
| uniqid | ユニークIDです。以下の形式です。  GAZOO会員シーケンシャル番号,セッション識別情報 |
| if | コンテンツ変換機能のインタフェースです。パススルー先のコンテンツから、G-BOOKセンター経由での任意のコンテンツへ戻る際のリンクとして使用します。本パラメータ値にコンテンツへのURLをBase64でエンコードしたものを付加することで、リンク先として使用可能となります。 |
| top | トップページのURL。パススルー先のコンテンツ中から、G-BOOK.comのトップメニューに戻る際のリンクとして指定します。ifパラメータで渡されるコンテンツ変換機能のインタフェースに本パラメータ値を付加することで、パススルー元の画面へのリンクとして使用可能となります。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <extent>  <rewind>  <link url=” http://*domain\_name*/@navi.asp” />  </rewind>  </extent>  </gbml> |

### 音声認識向けインタフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  G-BOOKセンターとして、許可されたコンテンツのみ、本機能の使用を許可します。 |

【説明】

音声認識にて認識後のリンク先に対してパススルーを行います。

音声による認識後、指定のURLへ直接、遷移します。音声認識辞書の登録時に指定します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。通常の音声認識辞書の登録(コンテンツ)に対する機能拡張となります。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| download |  | 情報の通知を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| vrec\_con |  | コンテンツ用音声認識辞書登録を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | res | 辞書登録完了時の通知先 | × | 1回 | 登録完了時の通知先URLをフルパスで指定 |
| ritem |  | 個々の音声認識情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
| link |  | 音声認識時の遷移先に関する情報 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 音声認識時の遷移先のURL | ○ | 1回 | 音声認識時に遷移する先のURLをフルパスで指定。 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
|  | rewind | パススルーの指定 | × | 1回 | yes :パススルーしない  no :パススルーする  省略時はyes |
| func |  | 遷移先の機能に関する情報を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | name | 機能名の指定 | ○ | 1回 | 拡張機能への遷移時に、遷移先の拡張機能で指定する機能名を指定 |
| rtext |  | 認識文字の指定 | ○ | 1回  以上 | 音声認識のボキャブラリを半角カナで指定 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用可能。 |
| 02Vup | 使用可能。 |
| 03 | 使用可能。 |
| 05 | 使用可能。 |
| 07 | 使用可能。 |
| 09 | 使用可能。 |
| 11 | 使用可能。 |
| 13 | 使用可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【パススルー先コンテンツとのインタフェース】

パススルー先のコンテンツに対して、GETの引数で、以下が通知されます。

|  |  |
| --- | --- |
| 変数名 | 設定内容 |
| uniqid | ユニークIDです。以下の形式です。  GAZOO会員シーケンシャル番号,セッション識別情報 |
| if | コンテンツ変換機能のインタフェースです。パススルー先のコンテンツから、G-BOOKセンター経由での任意のコンテンツへ戻る際のリンクとして使用します。本パラメータ値にコンテンツへのURLをBase64でエンコードしたものを付加することで、リンク先として使用可能となります。 |
| cur | 呼び出し元のURL。パススルー先のコンテンツ中から、パススルー元の画面に戻る際のリンクとして指定します。ifパラメータで渡されるコンテンツ変換機能のインタフェースに本パラメータ値を付加することで、パススルー元の画面へのリンクとして使用可能となります。 |
| top | トップページのURL。パススルー先のコンテンツ中から、G-BOOK.comのトップメニューに戻る際のリンクとして指定します。ifパラメータで渡されるコンテンツ変換機能のインタフェースに本パラメータ値を付加することで、パススルー元の画面へのリンクとして使用可能となります。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <extent>  <download>  <vrec\_con>  <ritem>  <link url=”http://*domain\_name*/daiichi\_hotel.asp” rewind=”no”/>  <rtext>ｼｮｳｻｲ</vtext>  </ritem>  <ritem>  <link url=”http://*domain\_name*/daiichi\_hotel\_map.asp” />  <rtext>ﾁｽﾞ</vtext>  </ritem>  </vrec\_con>  </download>  </extent>  </common>  ・・・  </gbml> |

## アクセス履歴制御インターフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  本機能は、基本契約画面遷移向けの特殊インタフェースです。その他のコンテンツでの使用は許可しません。使用した場合の動作は保証されません。 |

【説明】

通常の画面遷移においては、車載端末の履歴機能に閲覧履歴が残りますが、閲覧履歴に残すことが望ましくない契約/解約関連のコンテンツ表示において、履歴に残さないページの制御を行います。

本機能は、車載端末の”保存対象外URL”の機能を使用します。

以下の、二つの機能を提供します。

1. 基本契約画面遷移向けインタフェースとして、G-BOOK.comボタンの押下後、基本契約画面を表示する際に、この画面をアクセス履歴に残さない機能を提供します。基本契約画面を表示する前に、拡張機能書式により基本契約画面の遷移先のURLを“nohistory”要素として指定することで、車載端末のアクセス履歴に残さない制御を行います。

2. テンプレートにより表示するページ中の特定のボタンに対して、そのボタン押下による画面遷移時に閲覧履歴に残さなくする機能を提供します。コンテンツ表示機能における、link要素やacion要素に、”history”属性を指定し、指定値に”no”が指定された場合、その画面は履歴に残りません。link要素は全テンプレートの”window”要素配下で利用可能です。action要素は入力系のテンプレートのwindow要素配下のf\_key要素内で利用可能です。

【タグ構成】

基本契約画面の初期画面表示のための拡張機能として、以下の情報を通知します。本G-BOOK MLに記載されたURLに遷移しますが、遷移時は、閲覧履歴に残らないように制御し、指定のURLからG-BOOK MLを取得します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| nohistory |  | 閲覧履歴に残さないURL置き換えを示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先を指定 | ○ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |

テンプレート表示中の画面のリンクに対して、閲覧履歴に記録されない遷移先URLの指定方法に関するタグ構成として、window要素配下のobject要素およびf\_key要素内のcommand/link要素に対して、history属性を追加します。以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | △ | 1回 | なし |
|  | url | 遷移先のURL | △ | 1回 | 遷移先のURLをフルパスで指定 |
|  | page | 特定ページへの遷移の指定 | △ | 1回 | 5.24.7　節を参照 |
|  | contentsid | コンテンツID | × | 1回 | 遷移先のコンテンツのコンテンツIDを指定 |
|  | history | 保存対象外URL指定 | × | 1回 | yes または　省略  ：保存対象URLとして巻き換え  no  ：保存対象外URLとして巻き換え |

テンプレート7、テンプレート8、テンプレート9およびテンプレート11では、window要素配下のf\_key要素内のcommand/action要素に対して、history属性指定が可能です。以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| command |  | 動作を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| action |  | 遷移先の情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | POST情報の送信先のURL | ○ | 1回 | POST情報の送信先のURLをフルパスで指定 |
|  | type | 送信の操作 | ○ | 1回 | submit :送信操作 |
|  | history | 保存対象外URL指定 | × | 1回 | yes または　省略  ：保存対象URLとして巻き換え  no  ：保存対象外URLとして巻き換え |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* command/link要素については、本節の機能に絞った記述をしている関係上、必須の要素と記載していますが、各テンプレートの説明に従いmailto, telなど各要素とは排他関係となります。詳しくは、各テンプレートの説明を参照願います。

【補足説明】

ログイン後の初期ページとして、以下のコンテンツが使用されます。

http://localhost/distribute/default.asp

本ページにて、未契約の車載端末であることを判断し、必要に応じて基本契約画面に遷移する場合のみ、本機能の使用を許可します。

基本契約画面では契約完了の際に、G-BOOK MLのuniqid要素にて、key\_mとgazooidをカンマ区切りにて通知するインタフェースとなっておりますので、契約終了時に出力されるG-BOOK MLでは、必ず、uniqid要素にてkey\_mとgazooidをカンマ区切りにて通知する必要があります。

【使用例】

拡張機能による閲覧履歴制御のためのタグ構成

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <extent>  <nohistory url=” http://*domain\_name*/registration.asp “>  </extent>  </gbml> |

画面中の特定遷移先をアクセス履歴制御するための指定方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>履歴に残る画面遷移 パターン1</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list1.asp” history=”yes”/>  </command>  </object>  <object>  <text>履歴に残る画面遷移 パターン2</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list2.asp”/>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>No履歴</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button1.asp” history=”no”/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

テンプレート7による送信先の履歴なしの制御

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id="7">  <center>  <object>  <text>お名前</text>  <command>  <input>  <name>name</name>  <mode>  <style>double</style>  </mode>  </input>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id="1">  <text>送信</text>  <command>  <action url=”http://*domain\_name*/send.asp” type="submit" history=”no”/>  </command>  </button>  <button id="2">  <text>クリア</text>  <command>  <action type="reset"/>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </template>  </main>  </window>  </bgml> |

## 解約処理向けインターフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  本機能は、基本契約・解約画面遷移向けの特殊インタフェースです。その他のコンテンツでの使用は許可しません。使用した場合の動作は保証されません。 |

【説明】

- 解約処理が正常に完了した場合、UIサーバ上のアカウント情報(セション情報)を完全に破棄するためのインターフェースです。uniqid要素内に特定の文字列を指定することで、コンテンツからUIサーバに通知することができます。

- UIサーバ上では、メモリ上に保持している全てのアカウント情報を破棄し、解約処理終了後、一切のアクセスを拒否します。

【タグ構成】

解約処理に関するタグ構成として、以下の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| information |  | 拡張機能を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| uniqid |  | ユーザを識別するユニークなID | ○ | 1回 | “release”  ※全て半角小文字 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* 全テンプレートにて利用可能です。画面データ送信後に、本機能に該当するメモリ上からアカウント情報を破棄します。

## 個人情報保護機能向けインターフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  本機能は、Ｇ暗証入力画面遷移向けの特殊インタフェースです。その他のコンテンツでの使用は許可しません。使用した場合の動作は保証されません。 |

【説明】

- 対象のコンテンツURLにアクセスするためのインターフェースです。G暗証コンテンツの認証結果として渡されたG-BOOK ML内に、redirect要素のurl属性にコンテンツのURLを指定することで、該当のG-BOOK ML取得直後にアクセスを実施します。

【タグ構成】

個人情報保護機能に関するタグ構成として、以下の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| redirect |  | G-BOOK ML取得直後のアクセスを指定する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | G-BOOK ML取得直後のアクセス先のURLを指定する属性 | ○ | 1回 | アクセスさせるコンテンツのURL  ・URLエンコードは不要 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* この機能はページ取得のアクセス(車載機へ画面(HTML)を返すルート)を想定しています。アクセス先のコンテンツが拡張機能のみのG-BOOK ML(AUTO-ML)、バイナリデータを返した場合の動作は保障されません。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <redirect url=”http://XXXContents.com/Contents/UserInfo/showinfomation.asp“ />  </common>  　　…  </gbml> |

## 課金コンテンツ向けインターフェース

|  |
| --- |
| 【重要】  本機能は、課金コンテンツ画面遷移向けの特殊インタフェースです。その他のコンテンツでの使用は許可しません。使用した場合の動作は保証されません。 |

【説明】

- 対象のコンテンツURLにアクセスするためのインターフェースです。課金コンテンツの遷移先として渡されたG-BOOK ML内に、redirect\_service要素のurl属性にコンテンツのURLを指定することで、該当のG-BOOK ML取得直後にアクセスを実施します。

【タグ構成】

課金コンテンツ向けインターフェースに関するタグ構成として、以下の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| redirect\_service |  | G-BOOK ML取得直後のアクセスを指定する要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | G-BOOK ML取得直後のアクセス先のURLを指定する属性 | ○ | 1回 | アクセスさせるコンテンツのURL  ・URLエンコードは不要 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 使用不可。 |
| 02Vup | 使用不可。 |
| 03 | 使用不可。 |
| 05 | 使用不可。 |
| 07 | 使用不可。 |
| 09 | 使用不可。 |
| 11 | 使用不可。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* この機能はページ取得のアクセス(車載機へ画面(HTML)を返すルート)を想定しています。アクセス先のコンテンツが拡張機能のみのG-BOOK ML(AUTO-ML)、バイナリデータを返した場合の動作は保障されません。

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <redirect\_service url=”http://XXXContents.com/Contents/UserInfo/showinfomation.asp“ />  </common>  　　…  </gbml> |

## 拡張機能インライン指定

G-BOOK MLで指定出来る拡張機能は、コンテンツ表示やユーザ操作を契機に、クライアント－G-BOOKセンター間で通信を発生させて実現しています。

拡張機能インライン指定を行うことにより、クライアント－G-BOOKセンター間で通信を発生させず、拡張機能を実現出来るため、クライアントに対し画面と拡張機能を同時に出力することができます。

拡張機能インライン指定は、以下で指定される拡張機能に指定出来ます。

* 即時実行
* ユーザ操作契機、拡張機能

【注意事項】

* インライン指定した拡張機能内に、更にインライン指定をすることは出来ません。

【シーケンス図】

* インライン指定しない場合

CP

G-BOOKセンター

CL

クリックまたは、

自動的な拡張機能の要求

G-BOOK ML要求

G-BOOK ML

コンテンツ変換

HTMLの出力

HTML

G-BOOK ML要求

G-BOOK ML

コンテンツ変換

拡張機能の出力

拡張機能

画面と拡張機能を

別々に出力する

* インライン指定した場合

クリックまたは、

自動的な拡張機能の要求

CP

G-BOOKセンター

CL

G-BOOK ML要求

G-BOOK ML

コンテンツ変換

HTMLと 拡張機能の出力

HTMLと

拡張機能

画面と拡張機能を

同時に出力する

### 即時実行指定

【説明】

インライン指定を行う拡張機能を指定します。

common要素内で拡張機能を指定することにより、即時実行型インライン機能として、指定の拡張機能が動作します。既存の即時実行の拡張機能を含むコンテンツは変更なしでインライン化が行われます。

拡張機能についての詳細および、指定可能な拡張機能については、「6拡張機能」を参照のこと。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| common |  | 共通情報を表す親要素 | ○ | 1回 | なし |
| extent |  | 拡張機能を示す親要素 | × | 1回  以上 | なし |
|  | inline | インラインを示す属性 | × | 1回 | yes … インラインする  no … インラインしない  省略時はyes |
| 拡張機能 |  | 拡張機能を示すタグセット | ○ | 1回  以上 | 拡張機能を参照 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |
| 02Vup | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |
| 03 | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |
| PC | － | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |
| ケイタイ | － | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |
| M-Mode | － | 指定可能。ただし、インライン機能にはならない。inline属性は無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <extent>  <download>  <voice>  <vitem>  <vtitle>ようこそ</vtitle>  <vtext>G-BOOK.comへようこそ。G-BOOK.comでは…</vtext>  </vitem>  </voice>  </download>  </extent>  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

【05車載端末にてインラインしない場合の使用例】

|  |
| --- |
| <?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8”?>  <gbml>  <information> ・・・ </information>  <common>  <title>G-BOOK .com へようこそ!!</title>  <extent inline=”no”>  <download>  <voice>  <vitem>  <vtitle>ようこそ</vtitle>  <vtext>G-BOOK.comへようこそ。G-BOOK.comでは…</vtext>  </vitem>  </voice>  </download>  </extent>  </common>  <window>  <main>  ・・・  </window>  </gbml> |

### ユーザー操作契機、拡張機能指定

【説明】

インライン指定を行う拡張機能を指定します。

link要素内で拡張機能を指定することにより、ボタンクリック型インライン機能として、指定の拡張機能が動作します。拡張機能の中ではインライン指定による拡張機能を一回のみ指定することが出来ます。

拡張機能についての詳細および、指定可能な拡張機能については、「6拡張機能」を参照のこと。

コンテンツ表示機能（第5章を参照）の指定において使用可能です。

【タグ構成】

object要素内およびbutton要素内の各command要素内で以下の指定を行います。

また、各拡張機能内で以下の指定を行います。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| link |  | 遷移先の情報を示す親要素 | ○ | 1回 | なし |
|  | url | 情報表示のためのURL | ○ | 1回 | URLをフルパスで指定する。 |
| extent |  | 拡張機能を示すタグセット | × | 1回 | 拡張機能を参照 |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 無視される。 |
| 02Vup | 無視される。 |
| 03 | 無視される。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 無視される。 |
| PC | － | 無視される。 |
| ケイタイ | － | 無視される。 |
| M-Mode | － | 無視される。 |

【注意事項】

【使用例】

* object要素内およびbutton要素内でのcommand要素への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> … </information>  <common> … </common>  <window>  <main>  <template id=”1”>  <center>  <object>  <text>リスト１</text>  <command>  <link url=”http://domain\_name/contents/list1.asp”>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getcur\_location.asp”>  <loc\_cur />  </upload>  </extent>  </link>  </command>  </object>  </center>  <f\_key>  <button id=”1”>  <text>１</text>  <command>  <link url=”http://*domain\_name*/contents/button1.asp”>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getcur\_location.asp”>  <loc\_cur />  </upload>  </extent>  </link>  </command>  </button>  </f\_key>  </template>  </main>  </window>  </gbml> |

* 拡張機能への記載方法

|  |
| --- |
| <gbml>  <information> ・・・ </information>  <extent>  <download>  <dialog\_guide>  <message>  <mtitle>たこ正を目的地に設定しますか？</mtitle>  <vitem>  <vtext>ﾀｺﾏｻｦﾓｸﾃｷﾁﾆｾｯﾃｲｼﾏｽｶ</vtext>  </vitem>  </message>  <button>  <bitem id=”1”>  <extent>  <poi\_guide>  ・  ・  ・  </poi\_guide>  </extent>  <vitem>  <vtext>ﾀｺﾏｻｦﾓｸﾃｷﾁﾆｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ</vtext>  </vitem>  </bitem>  <bitem id=”2”>  <vitem>  <vtext>ﾓﾄﾉｶﾞﾒﾝﾆﾓﾄﾞﾘﾏｽ</vtext>  </vitem>  </bitem>  </button>  </dialog\_guide>  </download>  </extent>  ・・・  </gbml> |

## 変換制御指定

G-BOOK MLにて指定できる変換機能の実行有無を制御します。

制御対象機能は以下となります。

* 位置情報変換（アップロード）
* 読み上げ変換

本機能は、主にDevice G/Wにて実現している各種変換処理を実施しない際に指定します。これにより、Device G/Wにて実施している各種変換処理が実行されなくなるため、処理速度が向上します。

本指定は、コンテンツ、Device G/W、車載機の仕様を十分に理解した上で、指定して下さい。

### 位置情報下位互換指定（アップロード）

【説明】

位置情報下位互換処理の実施有無を指定します。

位置情報取得（アップロード）時に、Device G/Wにて実装されている下位互換用処理（AUTO-ML02のアップロード）を実施せず、G-BOOK ML2.0のみをコンテンツへ通知します。

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| format |  | 取得する情報の書式を指定する要素 | × | 1回 | なし |
|  | dcomp | 位置情報下位互換の指定 | × | 1回 | on :下位互換あり  off :下位互換なし  省略時はon |

※dcompは、downward compatibility（下位互換）の省略形です。

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* 本指定は、下位互換不要の場合のみ指定して下さい

【使用例】

* G-BOOK MLでの記載方法（現在地の取得の場合）

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <upload ref=”http://*domain\_name*/getcur\_location.asp”>  <loc\_cur>  <format type=”wgs84” dcomp=”off” />  </loc\_cur>  </upload>  </extent>  </common>  ・・・ |

### 読み上げチェック指定

【説明】

読み上げチェック処理の実施有無を指定します。

本機能が指定された場合、Device G/Wにて以下の処理を実施しません。

* リンク付き読上げ読上げブロック統合処理
* 読上げ区切り文字チェック処理
* 読上げ文字数チェック処理

【タグ構成】

以下のタグ構成の情報を通知します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 属性 | 説明 | 必須 | 回数 | 指定値 |
| vitem |  | 個々の読み上げ情報を示す親要素 | ○ | 1回  以上 | なし |
|  | check | 読み上げチェック有無の指定 | × | 1回 | on :チェックする  off :チェックしない  省略時はon |

【対象デバイス】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| デバイス | バージョン | 動作 |
| 車載端末 | 02 | 指定可能。 |
| 02Vup | 指定可能。 |
| 03 | 指定可能。 |
| 05 | 指定可能。 |
| 07 | 指定可能。 |
| 09 | 指定可能。 |
| 11 | 指定可能。 |
| 13 | 指定可能。 |
| Pocket G-BOOK | － | 使用不可。 |
| PC | － | 使用不可。 |
| ケイタイ | － | 使用不可。 |
| M-Mode | － | 使用不可。 |

【注意事項】

* 本指定は、読み上げチェック不要の場合のみ指定して下さい
* 本指定は、読み上げ変換を実施しない場合のみ指定して下さい

【使用例】

* G-BOOK MLでの記載方法（読み上げの場合）

|  |
| --- |
| <gbml>  <information>・・・</information>  <common>  <extent>  <download>  <voice>  <vitem conv=”off” check=”off”>  <vtitle>第一ホテル</vtitle>  <vtext>ﾀﾞｲｲﾁﾎﾃﾙﾊ,xxﾓﾄﾏｯﾀｺﾄﾉｱﾙﾒｲｼｭｸ,ｸﾂﾛｷﾞﾉｸｳｶﾝｦ,ｴﾝｼｭﾂｼﾏｽ</vtext>  </vitem>  </voice>  </download>  </extent>  </common>  ・・・ |

# 注意事項

コンテンツ作成時の注意事項を以下に示します。

## 禁則処理

画面表示においては、ブラウザ側で禁則処理が行われます。このため、コンテンツ作成者の意図しない個所で改行などが行われることがあり、注意が必要です。

禁則処理について、以下に説明します。

### 禁則処理とは

禁則処理の対象となる文字には、行頭にきてはいけないもの（行頭禁止文字）、行末にきてはいけないもの（行末禁止文字）、そして2行にまたがってはいけないもの（分離禁止文字）の3種類がありそれぞれやってはいけないことを避けて処理することです。

禁則処理は、ブラウザが自動的に処理するものであり、機能詳細はブラウザの仕様に依存します。これにより、テンプレート3の最大文字数が表示できない場合や、テンプレート4の１画面最大文字数が表示できない場合があります。

### 禁則処理の対象となる文字

(1) 行頭禁止文字

* 句読点類 ：　, 、。.・･；：？?！!
* つなぎ記号：　ー(長音)
* くり返し記号： 々ヽヾゝゞ
* 受けカッコ類：　)｣」]］}】』〕〉》
* 促音・拗音類：　 ぁァぃィぅゥぇェぉォヵヶっッゃャゅュょョゎヮ

例.マイカーサーチへGO

マイカーサーチへGO

マイカー

サーチへGO

禁則処理

例. あいうえおゞんがく村

あいうえお

ゞんがく村

あいうえ

おゞんがく

ゞんがく

禁則処理

(2) 行末禁止文字

* 始まりカッコ類：　（(「｢［[{【『《〈〔

例.マイカー（ヴィッツ）

マイカー（

ヴィッツ）

マイカー

（ヴィッツ

禁則処理

(3) 分離禁止文字

* 連数字 1,000円　42.195 km　2000年　平成12年500坪などの2つ以上の数字の重なり、数字についた単位を表す記号類： ￥　$　￠　￡　％　℃　°　＠　kg　g　mg　km　m　cm　mm など。

例. マイカー1000kmへＧＯ

マイカー10

00KmへGO

マイカー

1000KmへG

禁則処理

## 特殊文字の扱い

('/','\','<','>',クォーテーション,半角カナ等の文字の使用が可能です。ただし、記載時はXMLの規則(&lt;, &gt;など)にしたがって記載する必要があります。

# 運用定義

コンテンツを運用するにあたって、G-BOOKセンターのコンテンツ変換機能に定義を追加することで以下が可能になります。

* 内部/外部コンテンツ定義
* 通信タイムアウト/リトライ定義
* サービスフィルタ定義
* サイト停止定義

## 内部/外部コンテンツ定義

G-BOOKセンター内に配置されるコンテンツ(内部コンテンツ)については、外部のコンテンツ(外部コンテンツ)には通知されない情報(ユーザのアカウント情報など)を取得することで、G-BOOKセンター内のAP機能を利用することが可能となります。内部コンテンツか外部コンテンツかは、G-BOOKセンターのコンテンツ変換機能で、定義に基づいて判断します。

このため、内部コンテンツとして運用するコンテンツは、システム運用者に対して、該当コンテンツのURLを申請し、登録する必要があります。

内部/外部コンテンツの判断は、URLによって行われます。URLの指定は、前方からの部分一致により判断されます。途中までのパスを申請することで、その配下のコンテンツ全てが内部コンテンツとして動作します。

## 通信タイムアウト/リトライ定義

G-BOOKセンターのコンテンツ変換機能では、コンテンツの取得を行う際、一定の時間までに応答がない場合、通信を終了し、エラー画面を表示します。

コンテンツによっては、HTTPリクエストを受け付けてから、HTTPレスポンスを返すまでに時間がかかる場合があり、これらに対応するため、コンテンツごとに、通信時のタイムアウト時間と、リトライ回数を指定することが可能です。

個別の定義が必要なコンテンツは、システム運用者に対して、以下の情報を申請し、登録する必要があります。

* 該当コンテンツのURL

該当コンテンツへのURLです。URLの指定は、前方からの部分一致により判断されます。途中までのパスを申請することで、その配下のコンテンツ全てが対象となります。

* 送信時のタイムアウト(ミリ秒)

送信時のタイムアウト時間をミリ秒で指定します。

* 受信時のタイムアウト(ミリ秒)

受信時のタイムアウト時間をミリ秒で指定します。

* リトライ回数

タイムアウト発生時のリトライ回数です。最大10回までで、それ以上は無視されます。

## サービスフィルタ定義

G-BOOK に提供されるコンテンツは、基本的には全てのデバイスで表示することが可能となりますが、コンテンツによっては、特定のデバイスのみに対して提供するサービスが考えられます。コンテンツ提供者は、こららのコンテンツを申請することで、コンテンツ変換機能での自動的な制御が可能となります。

申請された情報に基づいて、対象外のデバイスでは、コンテンツへのボタンの非表示化がコンテンツ変換機能で自動的に行われます。

個別の定義が必要なコンテンツは、システム運用者に対して、以下の情報を申請し、登録する必要があります。

* 対象のコンテンツのコンテンツID

制御の対象とするコンテンツのコンテンツIDを指定します。

* 例外とするデバイス

サービス対象外とするデバイスを申請します。

## サイト停止定義

コンテンツの保守などの際に、一時的にクライアントからのアクセスを停止することができます。サイト停止として申請されたコンテンツにクライアントからアクセスされた場合、コンテンツ変換機能により、自動的に停止中を示す画面が表示されます。

サイト停止を行う場合、システム運用者に対して、以下の情報を申請し、登録する必要があります。

* 該当コンテンツのURL

該当コンテンツへのURLです。URLの指定は、前方からの部分一致により判断されます。途中までのパスを申請することで、その配下のコンテンツ全てが対象となります。

* メッセージタイトル

サービス停止中にアクセスされた際に表示する画面のタイトルです。省略時は、デフォルトのタイトルとなります。

* メッセージ本文

サービス停止中にアクセスされた際に表示する画面のメッセージ本文です。デフォルトのメッセージテキストとなります。

メッセージタイトル、メッセージテキストが省略された場合、以下のメッセージが自動的に表示されます。

タイトル ：お知らせ

メッセージ本文 ：ただいまメンテナンス中です。しばらくたってから、御利用ください。